

VALUESTAR

活用ガイド

本機に添付されているマニュアルを、目的にあわせてご利用ください

本機を安全に使うための情報、添付品の確認、本機の接続、Windows Meのセットアップ、インターネットへの接続について

→ 『はじめにお読みください』



Windows Meの基礎知識、基本的な操作方法

→ 『Microsoft Windows Meクイックスタートガイド』、またはWindows Meの「ヘルプとサポート」

このマニュアルです

本機の各部の名称・機能、増設方法、システム設定、本機にインストール/添付されているアプリケーションのご利用にあたってのご注意、再セットアップ、トラブル解決方法

→ 『活用ガイド』



ディスプレイのマニュアル

→ 利用方法が記載されたマニュアルが、ディスプレイに添付されています。

アプリケーションの利用方法

→ Office 2000モデルにはMicrosoft Office 2000 Personalのマニュアルが添付されています。

NECのパソコンに関する相談窓口や受講施設、故障時のお問い合わせ先等、パソコンライフをサポートするNECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」のご案内

→ 『121wareガイドブック』



この他にも、本機には『NEC電子マニュアル』というパソコンの画面上で見えるマニュアル(電子マニュアル)が登録されています。電子マニュアルでは、次の内容について説明されています。目的にあわせてご利用ください。

- ・ 「トラブル解決Q&A」
- ・ 「アプリケーションの追加と削除」
- ・ 「BIOS設定」
- ・ 「ATコマンド一覧」
- ・ 「追加情報」

この電子マニュアルの起動方法については本書の「NEC電子マニュアル」をご覧ください。

はじめに

本書では、パソコンの基本的な機能の説明やアプリケーションの使い方、別売の周辺機器の接続のしかたなどを説明しています。

また、パソコンを使っていて「おかしいな?!」と感じたときに問題を解決するための情報も記載しています。

このパソコンを正しくお使いいただくために、本書をご活用ください。

このパソコンを利用するために必要な準備作業や、添付品の中身については『はじめにお読みください』をご覧ください。

2000年 9月 初版

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



注意

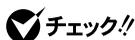
人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。



感電注意

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左記の記号の場合は、感電の可能性が想定されることを示します。感電注意の他に、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれのマークとともに記載しています。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



チェック!!

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



用語

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。

参照

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

メモ

利用の参考となる補足的な情報をまとめています。

このマニュアルで使用している表記の意味

本体	ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まない、本機を指します。
「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」	「スタート」ボタンをクリックし、表示されたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に表示されるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。
【 】	【 】で囲んである文字はキーボードのキーを指します。
『 』	『 』で囲んである文字はマニュアルの名称を指します。

このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています。

DVD-RAMモデル	DVD-RAMドライブが標準で搭載されているモデルです。
CD-R/RW with DVD-ROMモデル	CD-R/RW with DVD-ROMドライブが標準で搭載されているモデルです。
DVD-ROMモデル	DVD-ROMドライブが標準で搭載されているモデルです。
CD-R/RWモデル	CD-R/RWドライブが標準で搭載されているモデルです。
CD-ROMモデル	CD-ROMドライブが標準で搭載されているモデルです。
Office 2000モデル	Office 2000 Personalがインストールされているモデルです。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、 Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal (Microsoft Word 2000、Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft / Shogakukan Bookshelf® Basic)
MS-IME2000	Microsoft® IME 2000
Easy CD Creator	Easy CD Creator™4 Standard
Direct CD	Direct CD™3

このマニュアルで使用しているイラストと画面

このマニュアルに記載のイラストおよび画面は、実際のものとは異なることがあります。

技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第72条の2第1項の規定に基づく端末機器の設計についての認証を受けています。申請回線と認証番号は次の通りです。なお、専用回線等との接続は、一般のお客様には行えませんので、必ずご購入元にご相談ください。

認証機器名:SF-DJP-ST

認証番号

電話回線:A99-0794JP

導入にあたっては、「MDMNDJP.INF」のファイルを含む専用ドライバを必ず使用してください。使用されない場合は、この技術基準を遵守できない場合がありますので、十分にご注意ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン基準(PC-11-1988)に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準(JIS-C-6802、IEC825)クラス1適合のDVD-RAMドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブまたはDVD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブまたはCD-ROMドライブが搭載されています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows Meおよび本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、NetMeeting、Outlook、FrontPage、BookshelfおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

AMD、AMDロゴ、AMD Athlon、3DNow!、ならびにその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。

Photo CD portions copyright Eastman Kodak Company 1995

AdaptecおよびAdaptec社のロゴはAdaptec, Inc.の登録商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe System Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

Easy CD Creator、Direct CDは、Adaptec, Inc.の商標です。

nVIDIAおよびVantaは、nVIDIA社の登録商標です。

@niftyはニフティ(株)の商標です。

アメリカ・オンラインおよびAOLはAOLの登録商標です。

ODN(Open Data Network)は日本テレコム(株)の登録商標です。

DIONは株式会社ディーディーアイ(KDDI)の登録商標です。

VirusScanは、米国法人Network Associates, Inc. またはその関係会社の本国またはその他の国における登録商標です。

Hayesは、米国Hayes Microcomputer Corporationの登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

K56flexは、Lucent TechnologiesとCONEXANT SYSTEMSの商標です。

Sound BlasterはCreative Technology Ltd. の登録商標です。

BIGLOBE、PCポータルは、日本電気株式会社の商標です。

InstantWriteはドイツVOD社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 2000

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて通商産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

Notes on export

These products (including software) are designed under Japanese domestic specifications and do not conform to overseas standards. NEC will not be held responsible for any consequences resulting from use of these products outside of Japan.

Export of these products (including carrying them as personal baggage) may require a permit from the local government authorities. Please inquire NEC sales offices if permits are required for export.

このマニュアルの構成

このマニュアルは次のような内容で構成されています。

PART1 本体の構成各部

本体各部の名称やキーボード、マウスの使い方など、本機の機能全般について説明しています。

PART2 周辺機器を利用する

周辺機器を取り付ける際の注意点、周辺機器の概要とメモリやハードディスクドライブ、PCIボードなどの別売りの周辺機器を増設する方法について説明しています。

PART3 本機の設定を変更する

ここでは、BIOSセットアップメニューで変更した設定を購入時の設定に戻す方法と設定したパスワードの解除方法について説明しています。

BIOSセットアップメニューによる、その他各種設定方法については、電子マニュアルをご覧ください。

PART4 アプリケーションご利用時のご注意

本機に標準でインストールまたは添付されているアプリケーションをご利用になるにあたってのご注意を説明しています。

PART5 再セットアップするには

本機に添付されている「システムインストールディスク」や「バックアップCD-ROM」を使って、本機のシステムやアプリケーションを購入時の状態に復元する方法を説明しています。

PART6 トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていて、何かトラブルが起きたとき、何か疑問があるときはここを読んでください。

PART7 付録

本機の機能に関連した補足情報を記載しております。

はじめに	i
このマニュアルの表記について	ii
ご注意	v
このマニュアルの構成	vii
目次(このページです).....	viii
本体の構成各部	1
各部の名称	2
本体正面	2
本体背面	6
電源	9
電源の状態と操作方法	9
電源の入れ方/切り方	12
休止状態および休止状態からの復帰	15
スタンバイおよびスタンバイからの復帰	16
スタンバイ機能または休止機能を使用するときの注意	17
電源の管理について	21
キーボード	22
キーの名称と使い方	22
ワンタッチスタートボタンについて	25
アプリケーションキーとWindowsキーについて	27
日本語入力	28
使用上の注意	29
マウス	31
マウスの基本操作	31
スクロールボタンの使い方	31
ディスプレイ	32
表示できる解像度と表示色について	32
別売のディスプレイを使う	33
使用上の注意	33
ハードディスクドライブ	34
ドライブ番号の割り当て	34
システムツールについて	35
取り扱い上の注意	35

フロッピーディスクドライブ	38
使用できるフロッピーディスクについて	38
フロッピーディスクの内容の保護	39
フロッピーディスクのフォーマット	39
DVD-RAM ドライブ	41
利用できるディスクについて	41
ヘッドホン端子について	42
DVD-RAMディスクの取り扱いについて	43
DVD-RAMディスクのフォーマット	44
DVD-RAMディスクのファイナライズ	46
DVD-RAMディスクのデフラグ	47
InstantWriteご利用上の注意	47
非常時のディスクの取り出し	48
CD-R/RW with DVD-ROM ドライブ	49
再生できるディスクについて	49
CD-R/RW with DVD-ROMドライブの特長	50
CD-RやCD-RWに書き込む	50
ヘッドホン端子について	50
DVD VIDEOディスクを再生する	51
非常時のディスクの取り出し方	51
サウンド機能	52
スピーカ	52
FAXモデムボード	54
FAXモデムボードの機能	54
FAXモデムボードを使用するときの注意	55
ヘルプとサポートについて	59
ヘルプとサポートを起動する	59
情報の検索方法について	59
ヘルプとサポートから『NEC電子マニュアル』を起動する	59
NEC電子マニュアル	60
NEC電子マニュアルの概要	60
NEC電子マニュアルの起動方法	60

周辺機器を利用する 61

接続にともなう注意点	62
接続前の確認	62
プラグ&プレイ セットアップについて	62
デバイスドライバの追加について	63
接続時に注意すること	63
接続がうまくできない場合	64
リソースの競合が起これば	65
周辺機器の取り外しと再接続	66
接続できる周辺機器	68
本体カバー類の取り外し	70
レフトカバーの取り外し	70
レフトカバーの取り付け	71
フロントマスクの取り外し	73
ファイルベイカバーの取り外し	74
増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け	75
取り付け前の確認	75
増設RAMサブボードの取り扱い上の注意	77
増設RAMサブボードの取り外し	77
メモリ容量の確認方法	79
PCIボードの取り付け	80
取り付け前の確認	80
PCIボードの取り付け	81
ファイルベイ用内蔵機器の増設	83
増設する前の確認	83
内蔵3.5インチベイ	85
5インチベイ	88

本機の設定を変更する 95

購入時の設定に戻すには	96
購入時の設定に戻す方法	96
パスワードの解除	97

パスワードを忘れた場合の手順 97

アプリケーションご利用時のご注意 99

知っておきたい便利な機能とアプリケーション	100
コンピュータウイルスに備える(VirusScan).....	101
概要	101
NEC Soft MPEG1.0	103
概要	103
PCポータル.....	104
概要	104
バックアップ-NX	107
概要	107
インストーラ-NX	108
概要	108
プレーヤ-NX	109
ご利用時のご注意	109
DVDプレーヤ	110
概要	110
ご利用時のご注意	110
Easy CD Creator	112
概要	112
Easy CD Creator 使用時の注意	112
DirectCD	114
概要	114
DirectCDを利用するときのご注意	114
DirectCDを利用する	115
DirectCDで作成したメディアを他のパソコンで見られるようにする	115

再セットアップするには 117

再セットアップについて	118
再セットアップが必要になるとき	118
再セットアップする前の注意	119
再セットアップの準備	120

再セットアップ	122
購入時と同じ状態にする - 標準再セットアップモード	123
標準再セットアップの手順	123
データを保護して再セットアップする	
- データ保護再セットアップモード	133
データ保護再セットアップを行う際の注意	133
データ保護再セットアップの手順	133
全領域を1パーティションにして再セットアップする	
- カスタムモード	137
「全領域を1パーティションにして再セットアップする」の手順	137
Cドライブのみ再セットアップする - カスタムモード	140
「Cドライブのみを再セットアップする」の手順	140
ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする	
- カスタムモード	143
ユーザ設定の手順	143
再セットアップ前に知っておきたいこと	145
トラブル解決 Q&A	165
トラブル解決4つのポイント	166
トラブル予防のポイント	167
お問い合わせの前に(トラブルチェックシート).....	170
はじめて電源を入れたら...	172
電源を入れたが...	173
電源を切ろうとしたが...	181
省電力機能を使おうとしたら...	183
パソコンがこわれそう...	186
画面がおかしい...	188
マウスを動かしても...	189
キーボードを使っていたら...	190
周辺機器を取り付けようとしたら...	191
アプリケーションを使っていたら...	196
その他	199
アフターケアについて	202

付 録	205
機能一覧	206
仕様一覧	206
割り込みレベルとDMAチャンネル	210
割り込みレベル一覧	210
DMAチャンネルの割り当て	210
本機のお手入れ	211
マウスのクリーニング	212
データ保護再セットアップを行う際の注意	214
索引	216

本体の構成各部

本機の外観上に見えるものから、内蔵されている機器まで、ハードウェア全般の機能と取り扱いについて説明します。

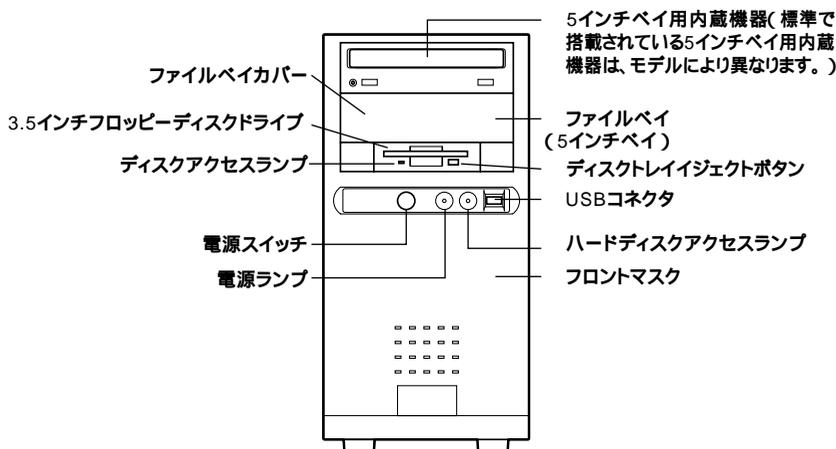
この章の内容

各部の名称	2
電源	9
キーボード	22
マウス	31
ディスプレイ	32
ハードディスクドライブ	34
フロッピーディスクドライブ	38
DVD-RAMドライブ	41
CD-R/RW with DVD-ROMドライブ	49
サウンド機能	52
FAXモデムボード	54
ヘルプとサポートについて	59
NEC電子マニュアル	60

各部の名称

ここでは、本体の各部の名称とその役割について説明しています。各部の取り扱い方法や詳しい操作方法については、各項目にある参照ページをご覧ください。

本体正面



ファイルベイカバー

ファイルベイに別売の5インチベイ用内蔵機器を取り付けるときは、このファイルベイカバーを取り外します。

3.5インチフロッピーディスクドライブ

3.5インチのフロッピーディスクにデータを読み書きする装置です。
「フロッピーディスクドライブ」(P.38)

ディスクアクセスランプ

フロッピーディスクドライブがデータを読み書きしているときに点灯します。



チェック!!

ディスクアクセスランプ点灯中は電源スイッチを押したり、フロッピーディスクを取り出したりしないでください。ディスクの内容がこわれることがあります。

電源スイッチ(⏻)

本体の電源を入れたり、休止状態から復帰させるスイッチです。



チェック!!

- ・ 電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切られてしまいます。「電源」(P.9)をご覧ください、正しい方法で操作してください。
- ・ 電源のプロパティで設定を変更すると電源スイッチでスタンバイ状態または休止状態にすることもできます。
- ・ 電源を入れたり、スタンバイ状態や休止状態にする操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも5秒以上の間隔を空けてください。「電源」(P.9)

電源ランプ(Ⓛ)

電源の状態を表示するランプです。電源が入ると緑色に点灯します。また、本機の作業を一時中断する際に、電力消費の少ないスタンバイ状態に切り替えるとオレンジ色に点灯します。

5インチベイ用内蔵機器

DVD-RAMモデルの場合

DVD-RAMドライブが搭載されています。

DVD-RAMディスクにデータを記録できる装置です。「DVD-RAMドライブ」(P.41)

CD-R/RW with DVD-ROMモデルの場合

CD-R/RW with DVD-ROMドライブが搭載されています。

CD-RまたはCD-RWにデータを記録したりDVD-ROMを再生できる装置です。「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」(P.49)

DVD-ROMモデルの場合

DVD-ROMドライブが搭載されています。

DVD-ROMを再生できる装置です。

CD-R/RWモデルの場合

CD-R/RWドライブが搭載されています。

CD-RやCD-RWにデータを記録できる装置です。

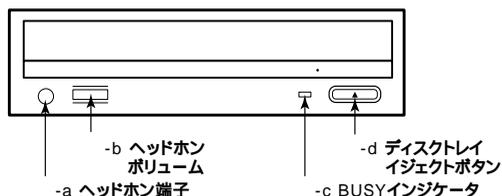
CD-ROMモデルの場合

CD-ROMドライブが搭載されています。

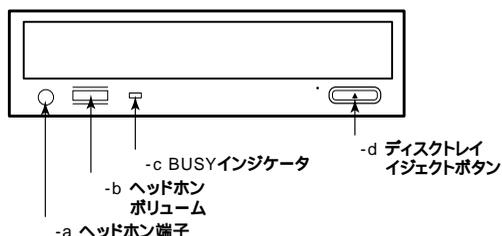
CD-ROMを再生できる装置です。

また、すべてのモデルでCD-ROMや音楽CDを利用できます。

DVD-RAMドライブ拡大図



CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-ROMドライブ拡大図



標準で内蔵されている5インチベイ用内蔵機器を取り外して、他のファイルベイ用内蔵機器に交換することができます。「PART2 周辺機器を利用する」の「ファイルベイ用内蔵機器の増設 (P.83)

-a ヘッドホン端子()

ミニプラグのステレオヘッドホンを接続します。ヘッドホン端子にヘッドホンを接続してCDの音声を聞く場合は、設定が必要です。『NEC電子マニュアル』の「追加情報」にある「6.その他...」の「CD-ROMドライブのヘッドホン端子にヘッドホンを接続してもCDの音声が聞こえない」に記載されている方法を参照の上、設定を変更してください。

-b ヘッドホンボリューム

CD用ヘッドホン端子に接続したヘッドホンの音量を調節します。

-c BUSYインジケータ

DVD-RAMやCD-R、CD-RWにデータを記録中のときや、DVD-ROM、CD-ROMなどからデータを読み出しているときに点灯します。



チェック!!

点灯中は電源スイッチを押したり、ディスクトレイイジェクトボタンを押したりしないでください。DVD-RAMドライブ、DVD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-ROMドライブの故障の原因となります。

-d ディスクトレイジェクトボタン

ディスクトレイを出し入れするときに使います。

ファイルベイ(5インチベイ)

別売の5インチベイ用内蔵機器を取り付けます。



本機の機能を拡張するためのさまざまな機器の取り付け/取り外しについては、「PART2 周辺機器を利用する」をご覧ください。

ディスクイジェクトボタン

フロッピーディスクを取り出すときに使います。

USBコネクタ()

USB機器を接続します。



チェック!! USBコネクタに接続する周辺機器が本機で使用できるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。

ハードディスクアクセスランプ()

ハードディスクドライブが動作しているときに点灯します。

「ハードディスクドライブ」(P.34)

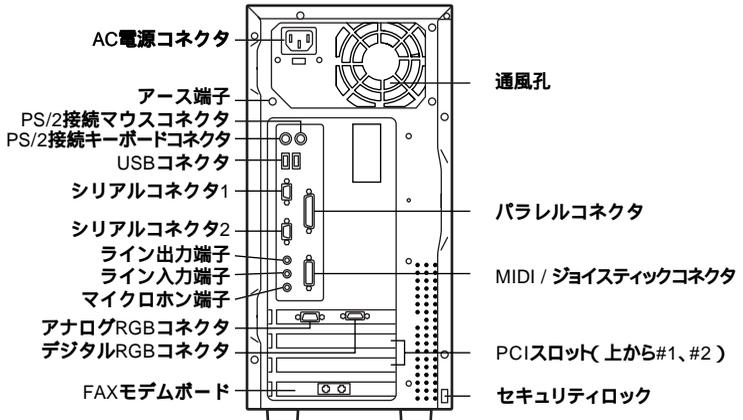


チェック!! 点灯中は電源スイッチを押さないでください。ハードディスクの内容がこわれることがあります。

フロントマスク

本体前面のカバーです。

本体背面



AC電源コネクタ

ACコンセントから本体に100Vの電源を供給するためのコネクタです。
添付の電源ケーブルを接続します。

アース端子(⊕)

アース線を接続します。

PS/2接続マウスコネクタ(Ⓜ)

別売のマウス(ミニDIN6ピン)を接続します。「マウス」(P.31)

PS/2接続キーボードコネクタ(Ⓚ)

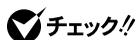
別売のPS/2 109キーボード(ミニDIN6ピン)を接続します。
「キーボード」(P.22)

USBコネクタ(Ⓛ)

USB機器を接続します。

シリアルコネクタ1,2(1 [Ⓜ] 2 [Ⓜ])

モデムやISDN TAなどの機器を接続します。



チェック!!

- ・ PC-9800シリーズ用の機器を接続する場合は、別売のRS-232C変換アダプタ(PK-CA102)が必要です。
- ・ 周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。また、隣り合ったコネクタに同時に変換アダプタを接続すると、変換アダプタ同士がぶつかり合い、接続できない場合があります。

ライン出力端子(ミニジャック)

市販のオーディオ機器へ音声信号を出力します。

ライン入力端子(ミニジャック)

市販のオーディオ機器から音声信号を入力します。

マイクロホン端子(ミニジャック)

市販のマイクロホンを接続します。

アナログRGBコネクタ

アナログインターフェイスのディスプレイを接続します。

「ディスプレイ」(P.32)

デジタルRGBコネクタ

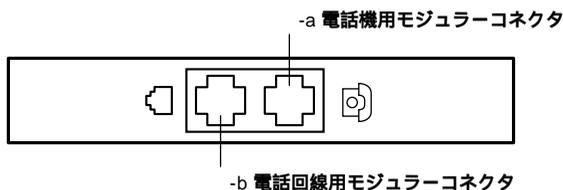
デジタルインターフェイスのディスプレイを接続します。

FAXモデムボード

FAXモデムボードが内蔵されています。

電話回線に接続することで、インターネットを利用したり、FAXの送受信などを行うことができます。「FAXモデムボード」(P.54)

FAXモデムボード拡大図



-a 電話機用モジュラーコネクタ

電話機を接続します。

-b 電話回線用モジュラーコネクタ()

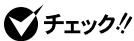
電話回線を接続します。

通風孔

本体内部の熱を逃がすための通風孔です。内部には電源ファンが内蔵されています。壁などでふさがないように注意してください。

パラレルコネクタ()

プリンタなどの機器を接続します。



チェック!!

- ・ PC-9800シリーズ用のプリンタケーブルを接続する場合は、別売のプリンタインターフェイス変換アダプタ(PK-CA101)が必要です。
- ・ パラレルコネクタには、D-Sub25ピンのシリアル機器を接続しないでください。

MIDI/ジョイスティックコネクタ

MIDI楽器やジョイスティックなどの機器を接続します。このコネクタにはディスプレイは接続しないでください。



チェック!!

MIDI/ジョイスティックコネクタには絶対にディスプレイを接続しないでください。発煙または発火の原因となります。

PCIスロット

本体の機能を強化したり拡張したりするための、各種ボードを挿入するスロットです。上から#1、#2と数えます。

参照

本機の機能を拡張するためのさまざまな機器の取り付け/取り外しについては、「PART2 周辺機器を利用する」をご覧ください。

セキュリティロック()

盗難防止用のワイヤーやチェーン、錠を取り付けます。

筐体ロックを使用することで、本体カバーをロックし、本体のハードウェア構成の変更や内蔵機器の盗難防止、パスワードの解除防止に役立てることができます。また、市販のロック付き盗難防止ケーブルを使用することで、本体の開閉や盗難防止にも役立てることができます。

電源

ここでは電源の入れ方と切り方や、電力を節約する省電力機能について説明します。電源の切り方を間違えるとデータやプログラム、本機がこわれてしまうことがあるので、特に注意してください。

電源の状態と操作方法

電源の状態

本体の電源の状態には次のように「電源が切れている状態」「電源が入っている状態」「スタンバイ状態」「休止状態」の4つの状態があります。



電源が切れている状態

Windowsを終了するなどして本体の使用を終了している状態です。

電源が入っている状態

通常、本体を使用している状態です。

休止状態(ハイバネーション)

休止状態に移行すると、メモリ内にある作業中のデータがハードディスクに保存された後、電源を切った状態になります。そのため、消費する電力がほとんどなくなります。休止状態から電源を入ると、保存したデータがハードディスクからメモリに読み込まれ、休止状態にする前と同じ状態に復元されます。長時間作業を中断し、休止前の状態から再開したい場合に向いています。なお、休止状態からの復帰は、スタンバイ状態からの復帰より時間がかかります。

なお、このパソコンでは、ご購入時の状態で約20分間マウスやキーボードからの入力がないと、自動的に休止状態になるように設定されています。

スタンバイ状態(サスペンド)

作業中のデータを一時的にメモリに保存し、ハードディスクドライブなどのモータを停止する、ディスプレイを省電力の状態にするなどして消費電力を抑えますが、メモリ内のデータを保持するための電力は供給されている状態です。作業中の内容がメモリ内に保存されているため、スタンバイ状態から復帰するときは素早く元の状態に戻ります。

電源の状態により、電源ランプとセットのディスプレイの表示は、次のようになります。

電源の状態	電源ランプ	ディスプレイの表示	ディスプレイの電源ランプ
入っている	緑色に点灯する	表示される	緑色に点灯する
切れている	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯する
スタンバイ	オレンジ色に点灯する	表示されない	オレンジ色に点灯する
休止状態	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯する

使用するディスプレイによっては、黄色に見える場合があります。

電源の操作方法

電源を操作するには次の方法があります。

電源を入れる

電源の操作方法
電源スイッチを押す

電源を切る

電源の操作方法
Windowsの終了メニューから「終了」を選択し、「OK」ボタンをクリック

休止状態にする

電源の操作方法
Windowsの終了メニューから「休止状態」を選択し、「OK」ボタンをクリック
「コントロールパネル」の「電源の管理」の「システム休止状態」で設定する

休止状態から復帰させる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
FAXモデムによるリング機能を利用する

スタンバイ状態にする

電源の操作方法
キーボードの[スリープ]ボタンを押す
Windowsの終了メニューから「スタンバイ」を選択し、「OK」ボタンをクリック
「コントロールパネル」「電源の管理」の「システムスタンバイ」で設定する

スタンバイ状態から復帰させる

電源の操作方法
次のいずれかの方法を行う
・ マウスを動かす
・ キーボードのキーを押す
一度の操作で画面が真っ暗の場合は、もう一度操作してください
FAXモデムによるリング機能を利用する
電源スイッチを押す



チェック!

- ・ 購入時の状態では、マウスやキーボードからの入力がない状態が約20分以上続いた場合に、自動的に休止状態になるように設定されています。休止状態から復帰させるには、電源スイッチを押してください。設定を変更するには、「自動的にスタンバイ状態や休止状態にならないように設定する」(P.20)または、Windowsのヘルプをご覧ください。
- ・ モデムを使用して通信中のときにスタンバイ状態になると、通話は自動では切れません。電話料金が加算されることがありますのでご注意ください。
- ・ 電源が入っている状態のときやスタンバイ状態のときに電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れます(この場合スタンバイ状態にする前の内容も失われます)。
- ・ ご購入時の状態では電源スイッチを押してもスタンバイ状態または休止状態になりません。設定はコントロールパネルの「電源の管理」の「詳細」タブで変更します。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

電源の入れ方/切り方

ここでは、パソコン本体の電源の入れ方と切り方について説明します。周辺機器を取り付けているときは、パソコン本体より先に周辺機器の電源を入れる必要があります。

電源を入れる

- 1 フロッピーディスクドライブに何もセットされていないことを確認する
- 2 ステレオスピーカや、ディスプレイなど、周辺機器の電源を入れる

✔ **チェック!** 周辺機器によっては、本体より先に電源を入れないと正しく認識されないことがあります。

- 3 本体の電源スイッチを押す

✔ **チェック!** メモリを増設した場合、初期化のため、電源スイッチを押した後ディスプレイの画面が表示されるまで時間がかかることがあります。

電源を切る

電源は、「Windowsの終了」ウィンドウから切ります。
電源スイッチは押さないでください。



チェック! Windows Meの起動中やアプリケーションの起動中には、電源を切らないでください。マウスポインタが砂時計表示されていないこと、およびハードディスクアクセスランプやフロッピーディスクアクセスランプが点灯していないことを確認してから電源を切るようにしてください。

- 1 作業中のデータを保存してアプリケーションをすべて終了する
- 2 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリック



- 3 ▾をクリックし、「終了」を選択する



4 「OK」ボタンをクリック
本体の電源は自動的に切れます。

5 本体の電源が切れたことを確認したら、ステレオスピーカやディスプレイおよび周辺機器の電源を切る

メモ

アプリケーションに異常が起きている場合など、Windowsの操作ができなくなってしまった場合は、まず【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押してアプリケーションの強制終了ができるかどうかを試してください。

この方法でアプリケーションを強制終了できない場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けることによって、強制的に電源を切ることができます。

なお、強制的に電源を切った場合は、本機の電源を入れ直してWindowsを起動し、「Windowsの終了」ウィンドウから電源を切ってください。

休止状態および休止状態からの復帰

本機での作業を一時中断する場合に休止状態にすると、いったん電源を切っているにもかかわらず、休止状態から復帰したときには、休止状態にする直前の状態から作業を再開できます。

△注意

電源スイッチを押して休止状態、および休止状態から復帰する場合は、電源スイッチを4秒以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的に電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

休止状態にする

電源が入っている状態から休止状態にするには、次の方法があります。休止状態になると、本体の電源ランプが消えます。

「Windowsの終了」ウィンドウで「休止状態」を選択する

- 1 「スタート」ボタン「Windowsの終了」をクリック
- 2 「休止状態」を選択して「OK」ボタンをクリック

一定時間後に自動的に休止状態にする

「コントロールパネル」の「電源の管理」で時間を設定しておく、マウスやキーボードからの入力およびハードディスクへのアクセスがなく、一定の時間が経つと、自動的に休止状態になります。購入時には、約20分で休止状態になるように設定されています。

休止状態から復帰する

休止状態から復帰するには、次の方法があります。



チェック!!

休止状態から元の状態に復帰するときは、本機に負担がかかることを避けるため、電源ランプが消えてから少なくとも5秒以上待ってから、操作してください。

電源スイッチを使う

- 1 電源スイッチを押す

FAXモデムによるリング機能を使う

電話やFAXを受信したときに、自動的に電源が入っている状態に復帰します。

スタンバイおよびスタンバイからの復帰

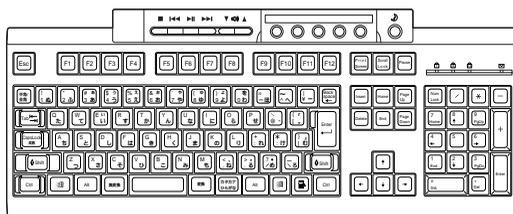
本機での作業を一時中断する場合は、スタンバイ状態にすることによって電力の消費を節約することができます。

スタンバイ状態にする

電源が入っている状態からスタンバイ状態にするには、次の方法があります。スタンバイ状態になると、本体の電源ランプがオレンジ色に点灯します。

キーボードの【スリープ】ボタンを使う

1 キーボードの【スリープ】ボタンを押す



「Windowsの終了」ウィンドウで「スタンバイ」を選択する

1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリック

2 「スタンバイ」を選択して「OK」ボタンをクリック

一定時間後に自動的にスタンバイ状態にする

「コントロールパネル」の「電源の管理」で時間を設定しておく、マウスやキーボードからの入力およびハードディスクへのアクセスがなく、一定の時間が経つと、自動的にスタンバイ状態になります。

スタンバイ状態から復帰する

スタンバイ状態から復帰するには、次の方法があります。

- ✓ **チェック!!** スタンバイ状態から、元の状態に復帰するときは、本機に負担がかかることを避けるため、電源ランプがオレンジ色に点灯してから少なくとも5秒以上待ってから操作してください。

1 マウスを動かすか、キーボードのキーを押す

一度の操作で画面が真っ暗の場合は、もう一度操作してください。

FAXモデムによるリング機能を使う

電話やFAXを受信したときに、自動的に電源が入っている状態に復帰します。

スタンバイ機能または休止機能を使用するときの注意

スタンバイ機能または休止機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを怠ると、保存された作業中のデータが失われたり、元通りに復帰できないこともあります。

スタンバイ機能または休止機能が使用できないとき

- 使用するアプリケーションによっては、スタンバイ状態や休止状態にできなかつたり、スタンバイ状態または休止状態からの復帰ができなかつたり、アプリケーションが正常に動作しないことがあります。このようなアプリケーションの使用時には、スタンバイ機能または休止機能を使用しないでください。
- 使用する周辺機器によっては、スタンバイ状態または休止状態からの復帰ができないことがあります。
- システム変更作業（ドライバの設定や、プリンタの追加など）の途中でスタンバイ状態または休止状態になった場合には、スタンバイ状態または休止状態から復帰しても正常に動作しないことがあります。デバイスマネージャ表示中やハードウェアウィザード実行中などのシステム変更の途中でスタンバイ状態または休止状態にならないようご注意ください。
- FAXモデムを使って通信中のときは、スタンバイ機能または休止機能が使用できない場合があります。この場合は、通信ソフトを終了してからスタンバイ状態または休止状態にしてください。

スタンバイ内容が失われるとき

スタンバイ状態のときに次のことが起きると、スタンバイ状態にするときに保存された作業中のデータは失われます。

- ・ 電源ケーブルが本体やACコンセントから外れたとき
- ・ 停電が起きたとき

・ 電源スイッチを4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき
このような場合は、次に電源を入れたときに、「Windowsが正しく終了できませんでした...」と表示されますので、画面の指示に従ってください。

スタンバイ状態または休止状態からの復帰が保証されない場合

次のような場合は、スタンバイ状態または休止状態にするときに保存された作業中のデータは保証されません。

- ・ スタンバイ状態または休止状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、またはスタンバイ状態または休止状態からの復帰中にフロッピーディスク、CD-ROMなどを取り出したり、交換したとき
- ・ スタンバイ状態または休止状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、またはスタンバイ状態または休止状態からの復帰中にPCカードの抜き差しをするなど、本機の環境を変更したとき
- ・ スタンバイ状態または休止状態のときに本機の機器構成を変更したとき

また、次のような状態では、休止状態やスタンバイ状態にできなかったり、休止状態やスタンバイ状態にできても、作業前の内容が復元できなかったり、パソコンが正しく動作しなかったりします。

- ・ プリンタへ出力中のとき
- ・ 音声または動画を再生しているとき
- ・ フロッピーディスク、ハードディスク、CD-ROMなどを読み書き中のとき
- ・ スタンバイ機能または休止機能に対応していないアプリケーションを使用中のとき
- ・ スタンバイ機能または休止機能に対応していない周辺機器を使用中のとき
- ・ 通信用アプリケーションを実行中のとき
- ・ モデムなどを使って通信中のとき
- ・ 本機にNEC製キーボード以外のキーボードを接続しているとき

スタンバイ状態または休止状態からの復帰が正しく実行されない場合次のような場合には、スタンバイ状態または休止状態からの復帰が正しく実行されなかったことを表しています。

- ・ アプリケーションが動作しない
- ・ スタンバイ内容または休止内容を復元できない
- ・ マウスを動かすか、キーボードのキーを押してもスタンバイ状態から復帰しない
- ・ 電源スイッチを押しても、休止状態から復帰しない

このような状態になるアプリケーションを使用中には、スタンバイ機能または休止機能は使わないでください。スタンバイ状態から万一、復帰できなかったときには、電源スイッチを4秒以上押し続けてください。電源ランプが消え、電源が強制的に切れます。この場合、BIOSセットアップメニューの内容が、購入時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

その他の注意

- ・ Windows起動時、「コンピュータは、何度か待機状態になり、応答を停止しました。今後、待機状態にならないようにしますか？」というメッセージが表示された場合は、「いいえ」を選択してください。
- ・ 通信ソフトやモデムなどを使ってインターネットに接続しているときは、必ず通信を終了させてから、スタンバイ状態にしてください。通信状態のままスタンバイ状態にすると、回線が接続されたままになり、電話料金が加算される場合があります。また、通信状態のまま休止状態にすると、強制的に通信が切断されます。休止状態にする前に必ず通信を終了させてください。
- ・ 本機でフォトCDを利用しているときにスタンバイ状態または休止状態にした場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。
- ・ CDの再生中にスタンバイ状態にした場合、CDは再生され続ける場合があります。スタンバイ状態にする前にCDの再生を止めてください。
- ・ スタンバイ状態になると電源ファンの回転は止まります。

自動的にスタンバイ状態や休止状態にならないように設定する

このパソコンは、指定された時間内にキーボードやマウスなどからの入力がない場合、自動的にスタンバイ状態や休止状態にする機能があります。ご購入時には、20分間で休止状態になるように設定されています。アプリケーションや周辺機器によっては自動的にスタンバイ状態または休止状態にならないように設定の変更が必要な場合があります。そのときは、次の手順で自動的にスタンバイ状態または休止状態にならないように設定してください。

1 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」の順にクリックして「コントロールパネル」を開く

2 「電源の管理」アイコンをダブルクリックする

 **チェック!** コントロールパネルに「電源」アイコンがない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックしてください。

「電源の管理プロパティ」ウィンドウが表示されます。

3 スタンバイ状態にたくない場合、「電源設定」タブの「システムスタンバイ」で「なし」を設定する

休止状態にたくない場合、「電源設定」タブの「システム休止状態」で「なし」を設定するか、または「休止状態」タブの「休止状態をサポートする」のチェックボックスをオフにする

4 「OK」ボタンをクリックする

 **メモ**

「休止状態」タブで「休止状態をサポートする」のチェックボックスをオフにして「適用」をクリックすると、「電源設定」タブの「システム休止状態」の項目が表示されなくなります。

電源の管理について

Windows Meでの電力を節約する機能を使うための電源管理のモードは、ACPIモードです。APMモードは使用できません。

用語 ACPIモード

ACPI(Advanced Configuration and Power Interface)を使って電源の管理を行うモードです。ACPIとは、パソコンや周辺機器の電源の管理をOSで行うためのしくみです。

用語 APMモード

APM(Advanced Power Management)を使って電源の管理を行うモードです。APMとはパソコンや周辺機器の電源の管理をBIOSやデバイスドライバなどのソフトウェアで行うためのしくみです。

-  **チェック!!** このパソコンで省電力の機能を使用する場合は、MS-DOSプロンプトが一番手前に表示されているときにスタンバイ状態にすると、スタンバイ状態から復帰させても画面が正常に表示されない場合があります。その場合には、【Alt】+【Tab】を押してタスクを切り替えることにより正常に動作ようになります。

キーボード

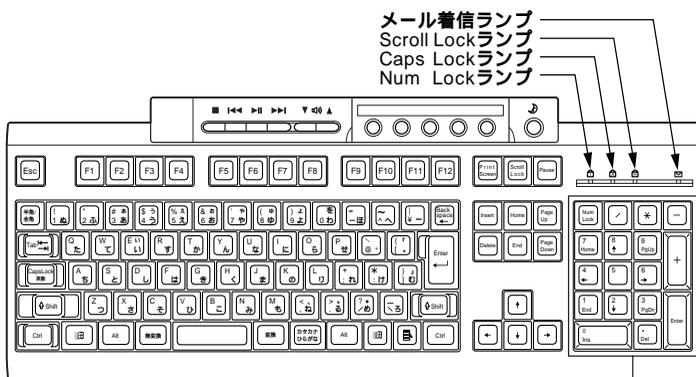
ここでは、各キーの名称と役割、日本語入力、キーボードの使用上の注意について説明します。キーボードの設定については、「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」の「キーボード」で行ってください。

参照 Windowsのヘルプ

キーの名称と使い方

キーの名称

キーボード上には、文字を入力するキーの他に、プログラムの操作に使う特殊なキーがあります。これらのキーの機能は使用するプログラムによって異なります。



テンキー

Esc : エスケープキー

F1 ~ F12 : ファンクションキー

Print Screen SysRq : プリントスクリーンキー

Scroll Lock : スクロールロックキー

一度押すと、Scroll Lock

ランプが点灯します。

「キーをロックする」

(P.24)

Pause Break : ポーズ/ブレイクキー

半角/全角漢字 : 半角/全角/漢字キー

Tab : タブキー

Caps Lock 英数 : キャプスロック/英数キー

【Shift】を押しながら【Caps

Lock/英数】を押すとキャプ

スロックし、Caps Lockラン

プが点灯します。「キーを

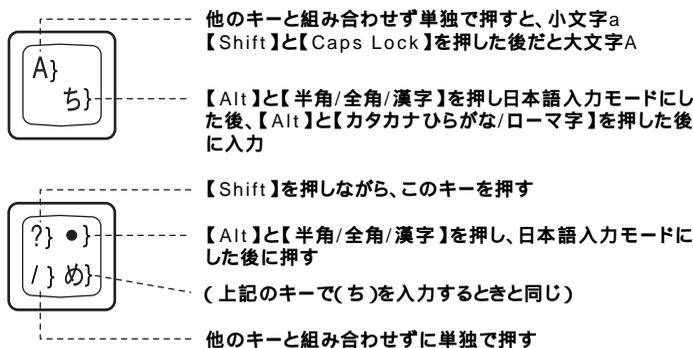
ロックする (P.24)

-  : シフトキー
-  : コントロールキー
-  : Windowsキー
「Windowsキー」(P.27)
-  : アプリケーションキー
「アプリケーションキー」
(P.27)
-  : オルトキー
-  : 無変換キー
-  : スペースキー
-  : 変換キー
-  : カタカナひらがな/ローマ字キー
-  : エンターキー
-  : バックスペースキー
-  : インサートキー
-  : デリートキー
-  : ホームキー
-  : エンドキー
-  : ページアップキー
-  : ページダウンキー
-  : カーソル移動キー
-  : ニューメリックロックキー
一度押すとニューメリック
ロックし、Num Lockラン
プが点灯します。「キーを
ロックする」(P.24)
-  : ニューメリックロックキーランプ
-  : キャップスロックキーランプ
-  : スクロールロックキーランプ
-  : メール着信ランプ

キーの使い方

1つのキーにいくつかの文字や記号が印字されているキーがあります。これらの文字や記号は、【Shift】や、日本語入力モードと組み合わせることで入力することができます。これらの操作方法は、使用する日本語入力プログラムによって異なります。

(例)【A ち】と【?/・め】のキーに割り当てられた個々の文字や記号を打ち分けるには



以上の手順は、日本語入力モードの設定がすべてデフォルト(ローマ字入力)の状態からの操作方法です。

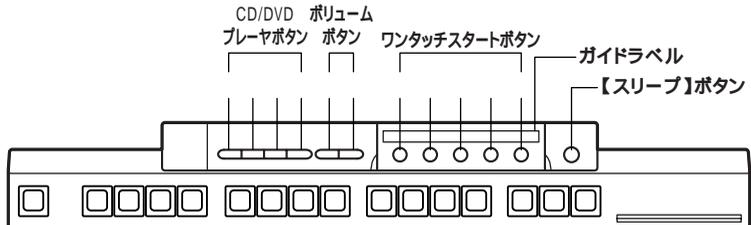
キーをロックする

【Caps Lock】【Num Lock】【Scroll Lock】は、ロックされているときと、ロックされていないときでキーの機能が異なります。それぞれのキーがロックされているときは、キーボード上部のランプが点灯します。

	ロックされているとき	ロックされていないとき
【Caps Lock】	英字が大文字で入力されます。	英字が小文字で入力されます。
【Num Lock】	テンキーから数字が入力されます。	テンキーの数字の下に表示されている機能が使えます。
【Scroll Lock】	アプリケーションによって機能が異なります。	

ワンタッチスタートボタンについて

ボタンを押すだけでアプリケーションを起動することができるボタンを「ワンタッチスタートボタン」といいます。「ワンタッチスタートボタン」はキーボードの上部に並んでいます。また、「ワンタッチスタートボタン」の左側には「CD/DVDプレーヤボタン」と「ボリュームボタン」、右側には【スリープ】ボタンがあります。



CD/DVDプレーヤボタン

音楽CDやフォトCD、カラオケCD、ビデオCDなどの再生をコントロールしたり、音量の調節ができます。

各ボタンの役割は以下のとおりです。

- 【■】：停止
- 【◀】：前のトラック/巻き戻し
- 【▶】：再生/一時停止
- 【▶▶】：次のトラック/早送り

ボリュームボタン

音楽CDやDVD VIDEOディスクなどを再生するときは、このボタンで音量の調節ができます。

- 【▼】：ボリュームダウン
- 【▲】：ボリュームアップ

ワンタッチスタートボタン

【メール】ボタン

このボタンを押すと「Outlook Express」が起動します。

【インターネット】ボタン

このボタンを押すとインターネットエクスプローラが起動します。

～ は、自由に設定することができます。

ワンタッチスタートボタンの設定は、「ワンタッチスタートボタンの設定」で変更することができます。「スタート」ボタン「プログラム」「ワンタッチスタートボタンの設定」「ワンタッチスタートボタンの設定」で起動します。

参照 ▶ ワンタッチスタートボタンの設定方法 「ワンタッチスタートボタンの設定」のヘルプ

メモ

「ワンタッチスタートボタンの設定」画面の「ヘルプ」ボタンをクリックするとヘルプが表示されます。

ガイドラベル

ワンタッチスタートボタンにどんなアプリケーションが割り当てられているかを示すラベルです。アプリケーションの割り当てを変えたときには新しいラベルを作ることもできます。使い方は、「ワンタッチスタートボタンの設定」ユーティリティのヘルプをご覧ください。

【スリープ】ボタン

パソコン本体をスタンバイ状態にします。

チェック! Windowsのセーフモードで、Windowsのキーボードドライバが動作しない状態では、CD/DVDプレーヤボタン、ワンタッチスタートボタン、【スリープ】ボタンの機能は使えません。

アプリケーションキーとWindowsキーについて

アプリケーションキーとWindowsキーは、Windowsで使用できるキーです。アプリケーションによってどのように利用するかは異なりますが、標準で次のような機能が割り当てられています。

アプリケーションキー()

アプリケーションキーを押すと、マウスで右クリックしたときと同じ状態になります。

Windowsキー()

Windowsキーだけを押すと、「スタート」メニューを表示します。Windowsキーを押しながら次のキーを押すと、次のような機能を利用することができます。

-  + **R** 「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを表示する
-  + **M** 現在起動しているウィンドウをすべてアイコン化する
-  +  + **M**  + **M** でアイコン化しているウィンドウを元に戻す
-  + **F1** Windowsのヘルプを起動する
-  + **F** ファイルやフォルダを検索するウィンドウを表示する
- Ctrl** +  + **F** コンピュータを検索するウィンドウを表示する
-  + **Tab**  タスクバーに表示されているボタンを順番に切り替える

日本語入力

漢字やひらがななどの日本語を入力するには、日本語入力プログラムを使います。本機で購入時に標準で使用できる日本語入力プログラムは、MS-IME2000です。

日本語入力のオン/オフ

日本語入力のオン/オフを切り替えるには2つの方法があります。

- ・ キーボードの【Alt】を押しながら【半角/全角/漢字】を押す
- ・ タスクバーの右下のをクリックし、表示されるメニューから選択する

日本語変換の手順

日本語の変換にはさまざまな方法があります。ここでは、MS-IME2000の最も簡単な手順を示します。詳しくは、MS-IME2000のヘルプをご覧ください。

- 1 ツールバーの一番左のアイコンをクリックして入力する文字の種類をクリック
- 2 文字を入力する(この段階では未確定の仮の状態)
- 3 【スペース】を押す(変換の結果が正しくない場合は、正しく変換されるまで繰り返す)
- 4 【Enter】を押す(この段階で確定し、文字が入力される)

メモ

ヘルプを表示するには、ツールバーのヘルプアイコンをクリックしてください。



ヘルプを見るにはここをクリック

使用上の注意

Nキーロールオーバー

Nキーロールオーバーとは、複数のキーを同時に押した場合に、最後に入力したキーが有効となる機能です。ただし、本機のキーボードは疑似Nキーロールオーバーのため、複数のキーを同時に押した場合には、正常に表示されないことや有効にならないことがあります。

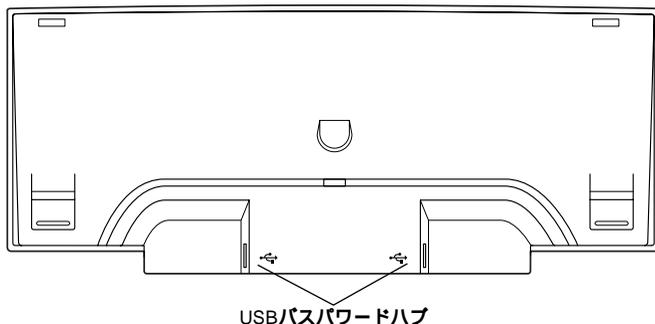
USB接続のキーボードの抜き差し

電源が入った状態で本機に添付されたUSB接続キーボードを抜き差しする場合、USB接続キーボードが取り外されたことや取り付けられたことを、本体が認識するためには数秒～10秒程度が必要です。瞬間的な抜き差しを繰り返すとキーボード入力ができなくなることがあります。

キーボード入力ができなくなってしまった場合は、USB接続キーボードを正しく接続した後に、電源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電源を切り、Windowsを再起動してください。

電源容量による接続の制限

本機に添付されたUSB接続キーボードの裏面には、USB機器を接続するためのハブが2つ装備されています。そのうち1つは標準添付のスクロールボタン付きマウスが接続されます。残りの1つには別売のUSB機器を接続できますが、電源容量による接続の制限があります。



USB機器には、接続先に要求する電源の容量によって、「ハイパワーデバイス」と「ローパワーデバイス」の2種類に分類されます。USB接続キーボードに接続できるUSB機器は「ローパワーデバイス」のものに限られません。

メモ

ハイパワーデバイス: 接続先に500mA以下の電源を要求するUSB機器。

例) PK-UP001(フルカラーイメージスキャナ)

PK-MC201(デジタルビデオカメラ)

PK-MC202(デジタルビデオカメラ)

ローパワーデバイス: 接続先に100mA以下の電源を要求するUSB機器。

例) PK-KB009(マウス)

PK-UP004(バーコードリーダ)

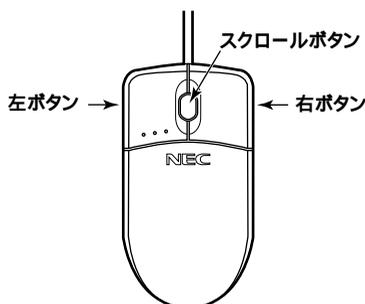
- USB接続キーボードのUSBハブは、バスパワーハブと呼ばれるハブで、電源が接続先から供給されて動作するハブです。
- USBの仕様では、USB機器は最大5段まで縦列接続が可能ですが、実際のシステム運用上では2段までの縦列接続でご使用になっください。

マウス

ここでは、マウスの使用方法について説明します。マウスの設定については、「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」の「マウス」で行ってください。

参照 Windowsのヘルプ

マウスの基本操作



クリック	マウスの左ボタンを1回押す
右クリック	マウスの右ボタンを1回押す
ダブルクリック	マウスの左ボタンを続けて2回押す
ドラッグ	ボタンを押したままマウスを動かし、 適当な位置まできたら、ボタンから指を離す

スクロールボタンの使い方

スクロールボタンを使うと、画面を上下左右にスクロールできます。

上下方向にスクロールする	スクロールボタンを前方または手前に引く
上下、左右方向にスクロールする	スクロールボタンを真下に押す。マウスポインタの形状が  や  に変わったら、スクロールしたい方向にマウスを動かす。スクロールボタンをもう一度押すと、マウスポインタの形状が元に戻る。



チェック!

- ・ スクロールボタンはアプリケーションによっては使用できない場合があります。
- ・ 動きが悪くなってきたら、ボールとローラーの汚れを掃除する 「PART7 付録」の「本機のお手入れ」

ディスプレイ

本機には、グラフィックアクセラレータ機能が標準で搭載されています。
お使用の用途に応じた解像度や表示色に切り換えて使用できます。

表示できる解像度と表示色について

本機では、表示する解像度と表示色は、以下の水平走査周波数・垂直走査周波数で表示可能となります。

解像度 [ドット]	表示色	水平走査 周波数 [KHz]	垂直走査 周波数 [Hz]	15インチCRT ディスプレイ (DV15A3)	17インチCRT ディスプレイ (DV17A2)
640×480	16色	43.3	85.0		
	256色	37.5	75.0		
	65,536色 1,677万色	31.5	60.0		
800×600	256色	53.7	85.0		
	65,536色	46.9	75.0		
	1,677万色	37.9	60.0		
1,024×768	256色	68.7	85.0		
	65,536色	60.0	75.0		
	1,677万色	48.4	60.0		
1,280×1,024	256色				
	65,536色	64.0	60.0	×	
	1,677万色				

16色時は、解像度640×480、水平走査周波数31.3KHz、垂直走査周波数59.6Hz固定となります。

画面の調整が必要な場合は、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

別売のディスプレイを使う

別売のディスプレイについて

本機には別売のディスプレイも接続することができます。別売のディスプレイを使用する場合は、以下のことに注意してください。

- Windows Meを使用する場合は、640×480ドット以上の解像度に対応したディスプレイを使用してください。
別売のディスプレイを使用する場合は、ディスプレイに合わせて本体の設定を変更する必要があります。正しく設定されていないと、ディスプレイに何も表示されないことがあります。
- 別売のディスプレイを使用する場合は、「表示できる解像度と表示色について」(P.32)を参考に、解像度、走査周波数の条件を満たしているディスプレイを使用してください。
- ディスプレイによっては、特定の表示ができなかったり、ディスプレイ側の微調整が必要な場合もあります。
- 次の別売のディスプレイは使用できません。
 - PC-KM212
 - PC-KM174

使用上の注意

- リフレッシュレート(垂直走査周波数)の設定値は、セットアップが完了したときに、本体とモニタの組み合わせで最も適した値に自動的に設定されます。リフレッシュレート(垂直走査周波数)の設定は機種によっては「画面プロパティ」で変更できる場合がありますが、ディスプレイがサポートしていないリフレッシュレートを設定すると画面が乱れます。通常ご使用になるときは設定を変更しないでください。
- マルチモニタ機能を利用する場合、本体内蔵のアクセラレータは、Primary固定となります。
- 本体内蔵のアクセラレータを利用せず、別売のアクセラレータボードを利用する場合は、「PART2 周辺機器を利用する」の「PCIボードの取り付け」(P.80)をご覧ください。



ハードディスクドライブ

ハードディスクドライブは、プログラムやデータを保存する非常に精密な装置です。コンピュータの使用中にハードディスクドライブで障害が発生することもあります。軽い障害であればスキャンディスクを使って修復することができる場合があります。また、大切なデータを保護するため、定期的にデータのバックアップをとるようおすすめします。

ドライブ番号の割り当て

ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブなどには、それぞれ呼び名が割り当てられています。これを「ドライブ番号」といいます。本機のハードディスクドライブは、購入時には第1パーティション(ドライブ番号:Cドライブ)として下記の領域が確保されており、残りのすべてが第2パーティション(ドライブ番号:Dドライブ)として確保されています。

購入時に割り当てられているドライブ番号は次の通りです。

ドライブ番号	ドライブの種類
Aドライブ	フロッピーディスクドライブ
Cドライブ	ハードディスクドライブ(第1パーティション) 約16Gバイト(総容量約20Gバイトの場合) 約26Gバイト(総容量約30Gバイトの場合) 約37Gバイト(総容量約40Gバイトの場合) 約56Gバイト(総容量約60Gバイトの場合)
Dドライブ	ハードディスクドライブ(第2パーティション) 残り容量のすべて
Eドライブ	DVD-RAMドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROM ドライブ

システムツールについて

本機には、さまざまなトラブルからパソコンを守るために、次のようなシステムツールが用意されています。それぞれの使い方について詳しくは、Windows のヘルプをご覧ください。

ツール名	機能
スキャンディスク	ハードディスクそのものやハードディスクに保存されたデータに障害がないかどうかを調べることができます。また、障害がある部分を修復することができます。
デフラグ	ハードディスク内にバラバラに保存された状態(断片化またはフラグメンテーション)のデータを最適な場所に整理することができます。
ディスククリーンアップ	インターネットを利用したときに作成される一時ファイルなど、不要なファイルを削除して、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。
メンテナンスウィザード	「スキャンディスク」、「デフラグ」、「ディスククリーンアップ」を決められた時間に、自動的に実行させることができます。
ヘルプとサポート	Windows Meの「ヘルプとサポート」内にシステムを復元する機能があります。詳しくはヘルプとサポートをご覧ください。

参照 ▶ Windows Meの「ヘルプとサポート」

取り扱い上の注意

振動や衝撃を加えない

ハードディスクドライブは、たいへん精密な機械です。次のことに注意してください。

- ・ 電源が入っているときは、本体に振動や衝撃を加えたり、持ち運んだりしないでください。
- ・ 電源を切って本体を運ぶときでも、できるだけ慎重に扱ってください。

バックアップはこまめにとる

本機に内蔵されているハードディスクは、非常に精密に作られています。毎分数千回転するディスク面と情報を読み取る磁気ヘッドの間は、わずかしき空いていません。このため、データを読み書きしていることを示すハードディスクアクセスランプの点灯中には、少しの衝撃を与えても故障の原因となることがあります。ハードディスクが故障すると、大切なデータが一瞬にして消滅してしまい、復帰できない可能性があります。大切なデータは、バックアップをこまめにとることをおすすめします。

アプリケーションで作成したデータは、アプリケーションによっては自動的に保存場所が決められている場合があるので、バックアップをとる場合は各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

不良セクタ、スキップセクタ

ハードディスクは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所ができることがあります。これを「不良セクタ」または「スキップセクタ」といいます。本機では、このような場所にデータを記録しないようにしています。

ハードディスクに対して、Windows Meの「スキャンディスク」などを実行すると、「不良セクタ」または「スキップセクタ」と表示されることがありますが、これは、不良セクタ、スキップセクタを使わないように予防されていたことを表しており、異常ではありません。

また、「不良セクタ」または「スキップセクタ」が表示された場合でも、「全ディスク領域」または「全ディスク容量」のバイト数が次の表の値であれば不良ではありませんので、正常にお使いいただけます。

内蔵ハードディスク容量	正常値
約20Gバイトの場合	20,000,000,000バイト以上
約30Gバイトの場合	30,000,000,000バイト以上
約40Gバイトの場合	40,000,000,000バイト以上
約60Gバイトの場合	60,000,000,000バイト以上

表の正常値は、領域を分割しない場合の値です。

メモ

- ・ ハードディスクの記憶容量は、1Mバイト=1,000,000バイト、1Gバイト=1,000,000,000バイトで計算したときのM、Gバイト値を示してあります。OSによっては、1Mバイト=1,048,576バイトでMバイト値を、1Gバイト=1,073,741,824バイトでGバイト値を計算していますので、表の値よりも少ない値で表示されます。
- ・ 本機で使用できる内蔵ハードディスクのセクタ長は、512バイトです。

ハードディスクドライブの動作音について

ハードディスクドライブの動作中、本体から小さな音がする場合がありますが、異常ではありません。

フロッピーディスクドライブ

コンピュータに入力したプログラムやデータは、フロッピーディスクに書き込んで保存できます。

使用できるフロッピーディスクについて

フロッピーディスクには2DD、2HDの2種類があります。本機で読み書きまたはフォーマットできるフロッピーディスクは次の通りです。

フロッピーディスクの種類	容量	読み書き	1	フォーマット
2DD	640Kバイト	x		x
	720Kバイト			
2HD	1.2Mバイト	2		x
	1.44Mバイト			

- 1 WindowsまたはMS-DOSでフォーマットされたものが使用できます。
- 2 3モード対応フロッピーディスクドライブのインストールが必要です。アプリケーションCD-ROMからインストールしてください。詳しくは、次のファイルに書かれている説明をご覧ください。

C:\¥Windows¥Option¥other¥3modeFD¥readme.txt

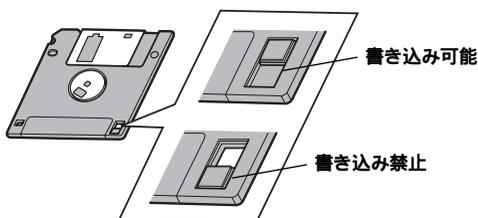


チェック!!

1.2Mバイトのフロッピーディスクは、Windows Meの「ディスクのコピー」でバックアップがとれません。また、「ディスクのコピー」のコピー先で使用するフロッピーディスクは、コピー元のフロッピーディスクと同じ容量でフォーマットされたフロッピーディスクを使用してください。(これはMS-DOSプロンプトのDISKCOPYコマンドでも同様です。)

フロッピーディスクの内容の保護

フロッピーディスクは保存したデータを誤って消してしまわないようにするために、ライトプロテクト(書き込み禁止)ができるようになっています。ライトプロテクトされているフロッピーディスクは、データの読み出しはできますが、フォーマットやデータの書き込みはできません。重要なデータの入っているフロッピーディスクは、ライトプロテクトしておく習慣をつけましょう。ライトプロテクトノッチを図のように穴の開く方にスライドさせると、書き込み禁止になります。



フロッピーディスクのフォーマット

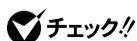
市販のフロッピーディスクには、フォーマット済みのものと、未フォーマットのものがあります。未フォーマットのフロッピーディスクを購入した場合は、使用する前にフォーマット処理(初期化)を行う必要があります。

フォーマットの手順

- 1 フロッピーディスクをドライブにセットする
- 2 Windowsのデスクトップで「マイコンピュータ」をダブルクリック、または「スタート」ボタン「プログラム」「エクスプローラ」をクリック
- 3 「3.5インチFD」をクリック
- 4 「ファイル」「フォーマット」を選択する
- 5 「フォーマット」の画面が表示されたら、「通常のフォーマット」を選択し「開始」ボタンをクリック

6 「フォーマット結果」が表示されたら「閉じる」ボタンをクリック

7 「フォーマット」の画面で「閉じる」ボタンをクリック



チェック!

- ・ 未フォーマットのフロッピーディスクをフォーマットする場合、ディスクのチェックに時間がかかる場合があります。フォーマット開始後にフロッピーディスクドライブのアクセスランプが点灯し続けている場合は、しばらくするとフォーマット処理が開始されます。
- ・ マイコンピュータまたはエクスプローラで2DDのフロッピーディスクを720KBでフォーマットした場合、フロッピーディスクをドライブから一度取り出し、再度入れてからご使用ください。フォーマット後、フロッピーディスクを取り出さずにファイルを書き込もうとすると、フォーマットが正常に終了していてもエラーが発生する場合があります。クイックフォーマットされたフロッピーディスクにはこの手順は必要ありません。

DVD-RAMドライブ

DVD-RAMディスクにデータを記録することができます。DVD-RAMモデルには、InstantWriteというファイルシステムドライバがインストールされています。InstantWriteを利用することによって、ハードディスクを扱う感覚でDVD-RAMディスクを利用できます。

⚠ 警告

DVD-RAM、DVD-ROM、CD-R、CD-RW、CD-ROMは、対応プレーヤ以外では絶対に使用しないでください。大音量によって耳に障害を被ったりスピーカがこわれたりする原因となります。

利用できるディスクについて

利用できるDVD-RAMディスクについて

DVD-RAMモデルでは次のDVD-RAMディスクが使用できます。

記憶容量 (アンフォーマット時)	両面ディスク			片面ディスク	
		9.4GB	5.2GB ¹	2.8GB	4.7GB
ディスク径	12cm		8cm ²	12cm	
カートリッジ種類 ³	TYPE1		TYPE2	TYPE1/TYPE2	

- 1: 片面2.6GBディスクと両面5.2GBディスクは、カートリッジから取り出した状態では、データを記録できません。データを記録する場合は、DVD-RAMディスクをカートリッジに格納してください。
- 2: 本機に標準で搭載されているDVD-RAMドライブに8cmディスクを挿入する場合は、ディスクをカートリッジから取り出してください。
- 3: DVD-RAMディスクには、カートリッジ内部のディスクを取り出せないTYPE1と取り出せるTYPE2があります。TYPE2の場合、ファイナライズを行うことによってディスクをカートリッジから取り出してDVD-RAM対応のDVD-ROMドライブを搭載した他のパソコンで利用することができます。
ファイナライズについては「DVD-RAMディスクのファイナライズ」(P.46)をご覧ください。

参照 ▶ 「DVD-RAMディスクの取り扱いについて」(P.43)

利用できるDVDの規格について

規 格	概 要
DVD-RAM	書き換え可能なDVD規格
DVD-ROM	読み出し専用のDVD規格
DVD-Video	DVD-ROM規格のメディアにビデオ(動画や音声)を収録するためのアプリケーション規格

その他の再生できるディスクについて

本機に標準で内蔵されているDVD-RAMドライブで再生・表示できるCDについては、本書の「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」の「再生できるディスクについて」に記載されている表をご覧ください。

ヘッドホン端子について

ヘッドホン端子にヘッドホンを接続してCDの音声を聞く場合は、設定が必要です。

『NEC電子マニュアル』の「追加情報」にある「6.その他...」の「CD-ROMドライブのヘッドホン端子にヘッドホンを接続してもCDの音声が聞こえない」に記載されている方法を参照の上、設定を変更してください。

DVD-RAMディスクの取り扱いについて

DVD-RAMディスクの取り扱い上のご注意

- ・ カートリッジ内部に、異物を入れないでください。
- ・ DVD-RAMディスクの記録面には、手を触れたりしないでください。汚れやキズが付くと正常に動作しなくなる事があります。

ディスクを入れる

以下の手順でディスクを入れてください。

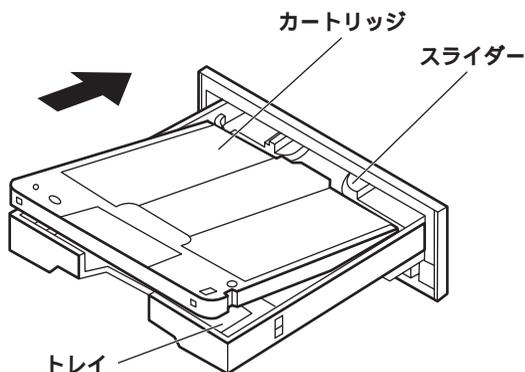
- 1 パソコンの電源が入っていることを確認する
- 2 本機前面のディスクトレイジェクトボタンを押す
トレイが手前に出ます。
- 3 ディスクをトレイに載せる



チェック!!

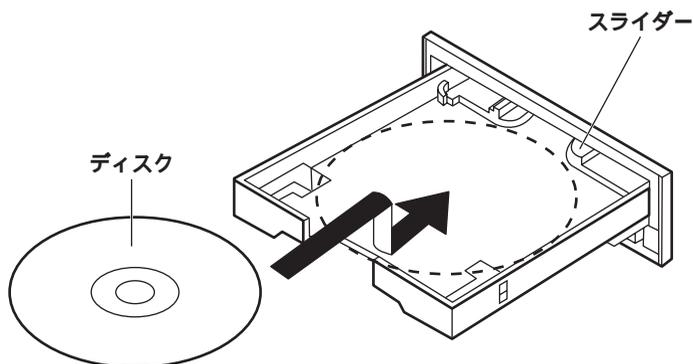
- ・ カートリッジを挿入するときは、トレイを下に強く押さないでください。
- ・ フォーマット済みのDVD-RAMディスクを挿入すると、 (Eドライブ) アイコンが自動的に  (DVD-RAMドライブ) アイコンに自動的に切り替わります。

DVD-RAMディスク(カートリッジ)を入れる場合



カートリッジでスライダーを奥に押し込んで、トレイに載せます。

CD-ROMなどのディスクを入れる場合



- 4 本機前面のディスクトレイジェクトボタンを押す
トレイが本機内に引き込まれます。

DVD-RAMディスクのフォーマット

未フォーマットのDVD-RAMディスクを利用するためには、まずフォーマット(初期化)を行う必要があります。InstantWriteでDVD-RAMディスクのフォーマットを行ってください。

参照 InstantWriteの使い方、用語について、詳しくはヘルプをご覧ください。
「スタート」「プログラム」「VOB InstantWrite」「Help」
「InstantWrite Help」

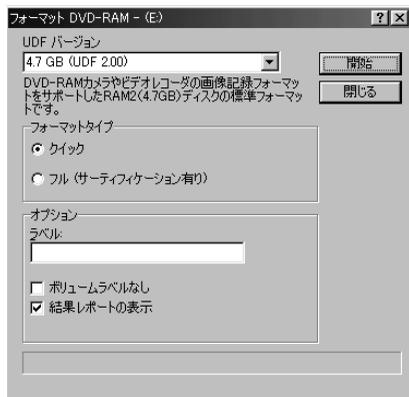
メモ

フォーマットの方法にはクイックフォーマットとフルフォーマットがあります。フルフォーマットは通常行う必要はありませんが、ディスクへの書き込みが正常にできない場合などに行います。フルフォーマットの場合、約90分ほどかかることがあります。途中でフォーマットを中止した場合は、再度フルフォーマット(サーティフィケーション有り)を行う必要があります。

- チェック!!**
- ・ フォーマットを行うと、DVD-RAMディスクに保存されていたデータはすべて消去されます。必要があれば、データのバックアップを行ってください。
 - ・ InstantWriteを使って、DVD-RAMディスクをフォーマットしたりデータの書き込みを行う場合、他のアプリケーションが起動していると書き込みエラーになることがあります。
DVD-RAMディスクのフォーマットや、DVD-RAMディスクへのデータ書き込みを行う場合は、次の操作をおすすめします。
 - ・ スクリーンセーバを起動させないようにする
 - ・ 他のアプリケーションを終了する
 - ・ 常駐プログラムをオフにする
 - ・ 作成したディスクのフォーマット形式や装置の種類により、他のDVD-ROMドライブ、DVD-RAMドライブでは使用できない場合がありますのでご注意ください。

DVD-RAMディスクのフォーマット手順

- 1 DVD-RAMディスクをDVD-RAMドライブにセットする
- 2 「マイコンピュータ」をダブルクリック
- 3  (DVD-RAMドライブ)アイコンを右クリックして、表示されたメニューから「フォーマットDVD-RAM」をクリック
次の画面が表示されます。



4 「開始」をクリック

5 「ご注意」のウィンドウが表示されるので、「OK」をクリック



チェック!

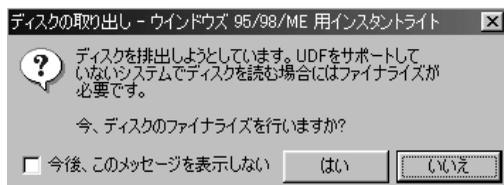
フォーマットが完了すると自動的にE:ドライブのフォルダが表示され、「フォーマットの結果」のウィンドウが隠れてしまうことがあります。また、フォーマット済みのDVD-RAMディスクを挿入した場合にもE:ドライブのフォルダが表示されます。

6 「フォーマットの結果」のウィンドウが表示されるので「閉じる」をクリック

上記の方法以外でも「スタート」「プログラム」「VOB InstantWrite」「InstantWrite Format」でフォーマットを行うことができます。

DVD-RAMディスクのファイナライズ

DVD-RAMディスクを取り出すときに次のようなウィンドウが表示されることがあります。



本機で書き込んだDVD-RAMディスクを本機でのみご利用になる場合、「いいえ」を選択されても問題はありませんが、DVD-RAM対応のDVD-ROMドライブを搭載している他のパソコンで利用するときは、インスタントライトのヘルプでファイナライズについての説明をご覧の上、必要であれば「はい」を選択して、画面の指示に従ってファイナライズの処理を行ってください。



参照 インスタントライトのヘルプ

「スタート」「プログラム」「VOB InstantWrite」「Help」
「InstantWrite Help」

DVD-RAMディスクのデフラグ

DVD-RAMディスクは定期的にデフラグを行うと、より効率的にファイルやフォルダにアクセスしたり、新しいファイルやフォルダを保存できるようになります。

DVD-RAMディスクのデフラグは、「スタート」「プログラム」「VOB InstantWrite」「InstantWrite Defrag」で行うことができます。

InstantWriteご利用上の注意

お客様がオリジナルのDVD-ROM、CD-ROM、音楽CD、ビデオCDなどからのコピーの作成およびその利用のための著作権を所有していなかったり、著作権の所有者からコピーの許可を得ていない場合は、使用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。コピーの際は、オリジナルのCD、DVDの使用条件、複製に関する注意事項に従ってください。

UDFファイルにおけるロングファイル名について

DVD-RAMディスクに保存したファイルにロングファイル名を使用している場合、ファイルのプロパティなどで確認できるMS-DOS形式のファイル名が、はじめの4文字を残してすべて変換され、UDF形式のファイル名で表示されます。ファイル自体に影響はありませんので、そのままご利用いただけます。

非常時のディスクの取り出し

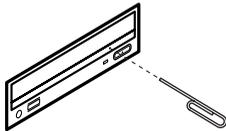
停電やソフトウェアの異常動作などにより、ディスクトレイジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、次の手順で強制的に取り出すことができます。

✔ **チェック!** 本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。

- 1 長さが7cm程度の細くて丈夫な針金を用意する
大きめのペーパークリップを伸ばしたものが使えます。



- 2 非常時ディスク取り出し穴(直径約2mm)に針金を差し込み、強く押す
ディスクトレイが15mmほど飛び出します。



- 3 ディスクトレイを手で引き出し、ディスクを取り出す
- 4 ディスクトレイをドライブの中に押し込む

CD-R/RW with DVD-ROMドライブ

CD-R/RW with DVD-ROMドライブは、DVD VIDEOディスクを再生したり、CD-RWおよびCD-Rヘータやプログラムを記録することができます。なお、CDにラベルを貼ったり、信号面(文字などが印刷されていない面)に傷を付けないようにしてください。

⚠ 警告

CD-ROM、DVD-ROM媒体は、対応プレーヤ以外では絶対に使用しないでください。大音量によって耳に障害を被ったりスピーカがこわれたりする原因となります。また、ディスクがこわれて書き込むことができなくなる場合があります。

再生できるディスクについて

本機では、下記のディスクを再生・表示することができます。CD-TEXT対応の音楽CDは、通常の音楽CDとして再生することはできますが、CD TEXTのテキストデータ部は、読み出せません。

規 格	概 要
DVD-ROM 1	読み出し専用のDVD規格
DVD-Videoディスク 1	DVD-ROM規格のメディアにビデオ(動画や音声)を収録するためのアプリケーション規格
CD-R (CD-Recordable) 2	書き込みができるCD。マルチセッション対応の場合は、複数回に分けての書き込みも可能
CD-RW (CD-Rewritable) 2	書き込み/書き換えができるCD
Photo CD マルチセッション	写真を最大100枚まで記録できる追記型のCD
音楽CD	一般の音楽CD プログラム用のCD-ROMでは音楽トラックの部分のこと
ビデオCD	音声や動画が記録されたCD
CD Extra (CD PLUS)	一般の音楽CDに文字や画像などを記録できるようにした規格
CD-ROM	音声データだけでなく、文字や画像など、コンピュータで使用するデジタルデータをCDに記録するための規格

- 1 DVD-RAMモデルとCD-R/RW with DVD-ROMモデルとDVD-ROMモデルのみ再生可能
- 2 書き込み、書き換え(CD-RWのみ)についてはCD-R/RW with DVD-ROMモデルとCD-R/RWモデルのみ可能

CD-R/RW with DVD-ROMドライブの特長

本機に標準で搭載されているCD-R/RW with DVD-ROMドライブは、CD-RやCD-RWへの書き込みおよびCD-RWへの書き換え機能に加えDVD ROMの読み出し機能を備えています。

CD-RやCD-RWに書き込む

使用できるディスクについて

CD-RおよびCD-RWについては、Orange Book Part2(CD-R)およびPart3(CD-RW)に準拠したディスクをご利用ください。

書き込みできる容量は、ライティングソフトによって異なります。詳しくは、Easy CD CreatorおよびDirectCDのヘルプをご覧ください。

使用するソフトウェア(ライティングソフト)について

CD-RやCD-RWに書き込むためには専用のアプリケーションが必要です。このパソコンには、Easy CD CreatorとDirectCDが用意されています。それぞれの使用方法については「PART4 アプリケーションご利用時のご注意」の「Easy CD Creator (P.112)」「DirectCD (P.114)」をご覧ください。



チェック!!

- 書き込みに失敗したCD-Rは再生できなくなります。書き損じによるCD-Rの補償はできませんのでご注意ください。
- 作成したディスクのフォーマット形式や装置の種類などにより、他のCD-ROMドライブ、CD-Rドライブ、CD-R/RWドライブなどでは使用できない場合がありますのでご注意ください。
- お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCDなどからのコピーの作成およびその利用のための著作権を所有していなかったり、著作権の所有者からのコピーの許可を得ていない場合は、使用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。コピーの際は、オリジナルのCDの使用許諾条件、複製に関する注意事項に従ってください。

ヘッドホン端子について

ヘッドホン端子にヘッドホンを接続してCDの音声を聞く場合は、設定が必要です。

『NEC電子マニュアル』の「追加情報」にある「6.その他...」の「CD-ROMドライブのヘッドホン端子にヘッドホンを接続してもCDの音声が聞こえない」に記載されている方法を参照の上、設定を変更してください。

DVD VIDEOディスクを再生する

本機で、市販のDVD VIDEOディスクを再生する場合は、DVDプレーヤを利用します。DVDプレーヤについては、本書の「PART4 アプリケーションご利用時のご注意」の「DVDプレーヤ」または、「DVDプレーヤ」のヘルプをご覧ください。

非常時のディスクの取り出し方

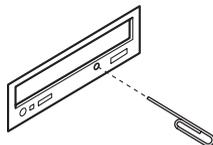
停電やソフトウェアの異常動作などにより、ディスクトレイジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、次の手順で強制的に取り出すことができます。

 **チェック!** 本体の電源が切れていることを確認してください。

- 1 長さが7cm程度の細くて丈夫な針金を用意する
大きめのペーパークリップを伸ばしたものが使えます。



- 2 非常時ディスク取り出し穴(直径約2mm)に針金を差し込み、強く押す
ディスクトレイが15mmほど飛び出します。



- 3 ディスクトレイを手で引き出し、ディスクを取り出す
- 4 ディスクトレイをドライブの中に押し込む

サウンド機能

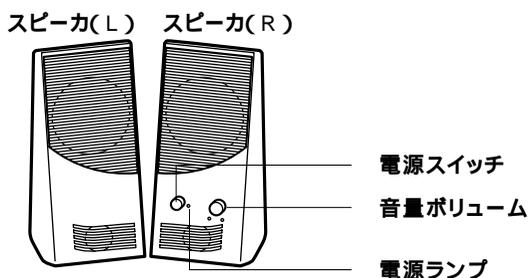
本機には音声を録音、再生するためのサウンド機能があります。音声は、本機に接続した外付けスピーカまたは外部のオーディオ機器から再生できます。

スピーカ

本機に添付されている外付けスピーカを接続することで、音声を再生できます。

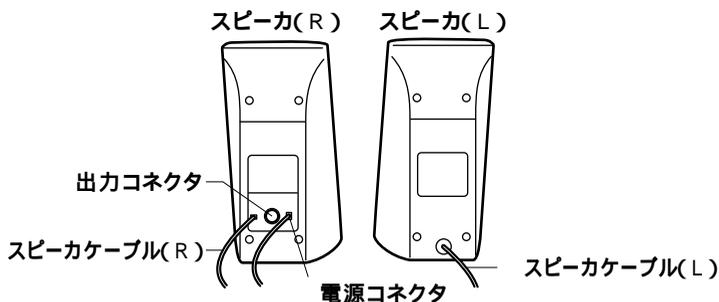
外付けスピーカの各部の名称

前面



電源スイッチやボリュームが付いている方がスピーカ(R)です。

背面



電源スイッチ(①)

スピーカの電源を入れたり切ったりするスイッチです。1回押すと電源が入り、もう1回押すと電源が切れます。

音量ボリューム(🔊)

スピーカの音量を調整します。右に回すと大きく、左に回すと小さくなります。

電源ランプ

スピーカの電源が入っているときは緑色に点灯します。

スピーカケーブル(R)

本体とスピーカを接続するためのケーブルです。

出力コネクタ(🔊)

左右のスピーカを接続するためのコネクタです。

電源コネクタ

添付のACアダプタを接続するためのコネクタです。

スピーカケーブル(L)

左右のスピーカを接続するためのケーブルです。スピーカ(R)の出力コネクタ(🔊)に接続します。



FAXモデムボード

本機に標準で内蔵されているFAXモデムボードには、FAX通信機能、データ通信機能などがあります。また市販の電話機を接続するためのコネクタがついています。

参照

ATコマンドについては、「スタート」ボタン「NEC電子マニュアル」「NEC電子マニュアル」「ATコマンド一覧」

FAXモデムボードの機能

ここでは、FAXモデムボードの機能を説明します。

データ通信機能

本機にインストール/添付されているデータ通信ソフトウェアを使用することにより、インターネットなどのデータ通信を行うことができます。その他のデータ通信ソフトウェアでは動作しない可能性があります。

FAX通信機能

ワープロ文書などのデータをダイレクトにFAXに送信できます。また、本機でFAXを受信することができます(FAX送受信用のソフトウェアを用意する必要があります)。

最高56,000bpsまでの各種通信

FAXモデムは、米国CONEXANT SYSTEMS社等提唱のK56flex、およびV.90を採用しています。K56flex、およびV.90では、受信時最高56,000bps、送信時最高33,600bpsのデータ通信が可能です。電話回線を利用して、最高56,000bpsの全二重データ通信と最高14,400bpsの半二重FAX通信ができます。

リング機能

休止状態やスタンバイ状態のときに電話やFAXを受信した場合、パソコンを自動的に休止状態やスタンバイ状態から復帰させる機能です。リング機能を使うには、リング機能に対応したアプリケーションが必要です。

FAXモデムボードを使用するときの注意

- ✔ **チェック!!** 標準で取り付けられているFAXモデムボードは、購入時に取り付けられていたスロットで使用してください。

適合電話回線について

回線には、電話回線（以降、加入電話回線と呼びます）総合デジタル通信網（ISDN）ファクシミリ通信網、専用回線があります。FAXモデムボードは、加入電話回線に適合するように設計され、技術基準適合認定を受けています。「技術基準等適合認定について（P.iv）」

加入電話回線以外の回線と接続すると、FAXモデムボードやパソコン本体などを破損することがあります。

- ・ コードレスホンや親子電話、構内回線など、加入電話回線以外の回線をご使用の場合は、正常なデータの送受信ができない場合があります。
- ・ FAXモデムボードは、ファクシミリ通信網には対応していません。
- ・ FAXモデムボードに接続できる回線は2線式のみです。

送信レベルについての注意

加入電話回線を使用する場合、送信レベルは購入時の設定から変更する必要はありません。ただし、回線状態が悪く、うまく接続できない場合は送信レベルの調整が必要な場合があります。認定された工事担当者以外が送信レベルの調整を行うことは法律で禁じられていますので、送信レベルの調整については、当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

当社指定のサービス窓口の電話番号、受付時間については、添付の『121wareガイドブック』をご覧ください。

ポート番号を変更する

購入時の状態では、内蔵FAXモデムボードのポート番号はCOM2になっています。ポート番号を変更するときは次の手順で変更してください。

- 1 起動している通信アプリケーションをすべて終了する
- 2 「コントロールパネル」を開く
（「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」）
- 3 「システム」をダブルクリック
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

 **チェック!!** コントロールパネルにシステムアイコンがない場合は「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックしてください。

- 4 「デバイスマネージャ」タブをクリック
「デバイスマネージャ」タブのウィンドウが表示されます。
- 5 「モデム」をダブルクリックし、表示された「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(DJP)」をクリック(反転表示)
- 6 「プロパティ」をクリック
「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(DJP)のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 7 「リソース」タブをクリック
- 8 「自動設定を使う」のチェックボックスのチェックを外す
- 9 「基にする設定」の値を変更し、「リソースの種類」にある「I/O範囲」の値を設定する
COM1の場合：03F8-03FF
COM2の場合：02F8-02FF
COM3の場合：03E8-03EF
COM4の場合：02E8-02EF
リソースが競合していないことを確認してください。競合している場合、そのポートへの変更はできません。

- 10 「OK」ボタンをクリック
「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(DJP)のプロパティ」ウィンドウに戻ります。
- 11 「OK」ボタンをクリック
「変更不可の環境設定の作成」ウィンドウが表示されます。
- 12 「はい」ボタンをクリック
しばらくすると、「システムのプロパティ」ウィンドウに戻ります。
- 13 「閉じる」ボタンをクリック
- 14 Windowsを再起動する
コンピュータの再起動が始まります。

以上で、ポート番号の変更は終了です。

通信するときの注意

通信中は、電話機用モジュラーコネクタに接続した電話機の受話器を外さないようにしてください。受話器が外れると、受話器から通信中の音が聞こえ、通信が中断されることがあります。

キャッチホンサービスを利用している場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。

FAXモデムボードのダイヤル信号は、ご使用になる加入電話回線のダイヤル信号にあわせた調整が必要です(「スタート」ボタン「NEC電子マニュアル」「NEC電子マニュアル」の「ATコマンド」をご覧ください)。加入電話回線がトーン式かパルス式かわからないときは電話装置メーカーや保守業者、第1種通信事業者(NTTなど)に確認してください。本体にアース線を接続していない場合や、回線の状態によっては、希望の通信速度で通信できなかったり、接続しにくいことがあります。

電話機用モジュラーコネクタには他のモデムを接続しないでください。他の外付けモデムなどが電話機用モジュラーコネクタに接続されている場合は、取り外してください。

FAXモデムボードに接続できる電話機などは2線式の回線用のみです。電話機などの種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。また、接続する電話機などによっては、FAXモデムボードが正常に通信できない場合があります。その場合は、次のいずれかの方法で正常に通信できるようになります。

- ・ 接続する電話機などにアース接続用の端子がある場合は、アース線をつなぐ。
- ・ 電話機などに別の電話を接続するためのコネクタがある場合は、接続の順番を変える(加入電話回線—電話機など—パソコン のようにする)。

接続については、電話機などのマニュアルをご確認ください。

- ・ モデムによる通信の際は、電話機などを取り外す。

FAXモデムボードの電話機用モジュラーコネクタに電話機などを接続している場合や、市販の分岐コネクタを使用して電話機などとパソコンとを加入電話回線に接続している場合は、モデムによる通信の際に電話機などを使用していないことを確認してください。また、モデムで通信中は電話機などを操作しないようにしてください。電話機などを操作すると、通信が妨害され、切断されることがあります。

電話機用モジュラーコネクタに接続されている外付け電話機をパソコン本体から離れたところに設置している場合は、送信/受信の際に外付け電話機が使用されていないことを確認してください。

データ通信を行う場合、フロー制御は「ハードウェア(RTS/CTS)」（購入時の設定）に設定してください。それ以外に設定するとデータ抜けが生じる可能性があります。

FAXを送信する相手が音声応答機能付きのFAXの場合、相手からの音声の内容によってはFAX送信できなくなることがあります。この場合は、外付け電話機で相手からの音声が終わったのを確認してから送信を始めてください。

電話局の交換機の種類によっては、14,400bpsでFAX通信ができないことがあります。この場合は通信速度を9,600bps以下にしてください。海外と直接接続した場合、伝送路の特性のため正常に通信できない可能性があります。

K56flexおよびITU-T V.90の最大受信速度56,000bpsは、理論値であり、加入電話回線での通信速度とは異なります。

ヘルプとサポートについて

ヘルプとサポートでは、コンピュータについて知りたい情報をさまざまな方法で検索できます。また、必要な操作方法の学習や問題の解決方法、製品のサポート情報を参照できます。

ヘルプとサポートを起動する

「スタート」ボタン 「ヘルプ」をクリック
ヘルプとサポートが起動します。

情報の検索方法について

目次から探す

ヘルプとサポートのウィンドウの左側に表示されている目次から、目的の項目を探してください。

検索ボックスで探す

ヘルプとサポートのウィンドウの右上にある「検索」ボックスに、検索したい語句を入力し、「GO」をクリックしてください。

キーワードで探す

ヘルプとサポートのツールバーにある「キーワード」ボタンをクリックし、検索したい語句を入力してください。

ヘルプとサポートから『NEC電子マニュアル』を起動する

ヘルプとサポートのナビバーにある「NEC電子マニュアル」ボタンをクリックしてください。

『NEC電子マニュアル』が起動します。

『NEC電子マニュアル』については、次の「NEC電子マニュアル」をご覧ください。



チェック!!

「ヘルプとサポート」からインターネットに接続した場合は、「インターネットエクスプローラ」や「ヘルプとサポート」のウィンドウを閉じても自動的に電話回線が切断されないことがあります。電話回線を切断する場合は、タスクトレイにあるを右クリックし、表示されたメニューから「切断」をクリックしてください。

NEC電子マニュアル

本機には、「NEC電子マニュアル」がインストールされています。目的にあわせてご覧ください。

NEC電子マニュアルの概要

- ・ **トラブル解決Q&A**
トラブルの解決方法について説明しています。「PART6 トラブル解決Q&A」とあわせてお読みください。
- ・ **アプリケーションの追加と削除**
アプリケーションの追加と削除の方法について説明しています。
- ・ **BIOS設定**
BIOSセットアップユーティリティの使用方法について説明しています。
- ・ **ATコマンド**
ATコマンドの使用方法和コマンドの一覧が収録されています。
- ・ **追加情報**
このパソコンについての追加情報、補足情報が記載されています。「スタート」ボタン 「NEC電子マニュアル」 「追加情報」で起動できます。

NEC電子マニュアルの起動方法

「スタート」ボタン 「NEC電子マニュアル」 「NEC電子マニュアル」の順にクリック

『NEC電子マニュアル』が起動します。

見たい項目をクリックしてください。

なお、『NEC電子マニュアル』はWindows Meのヘルプとサポートからも起動することができます。

「ヘルプとサポート」のナビバーにある「NEC電子マニュアル」ボタンをクリックしてください。



チェック!

「ヘルプとサポート」からインターネットに接続した場合は、「インターネットエクスプローラ」や「ヘルプとサポート」のウィンドウを閉じて自動的に電話回線が切断されないことがあります。電話回線を切断する場合は、タスクトレイにあるを右クリックし、表示されたメニューから「切断」をクリックしてください。

周辺機器を利用する

ここでは、本機に接続できる周辺機器や内蔵機器の取り付け方法について説明します。

この章の内容

接続にともなう注意点	62
接続できる周辺機器	68
本体カバー類の取り外し	70
増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け	75
PCIボードの取り付け	80
ファイルベイ用内蔵機器の増設	83



接続にもなう注意点

周辺機器を取り付ける場合、次のようなことに注意してください。

接続前の確認

取り付けたい周辺機器は、本機で使えるものですか？

取り付けたい周辺機器が本機で使えるものかどうか、周辺機器のマニュアルで確認するか、製造元に問い合わせてください。なお、NEC製の周辺機器で接続可否の確認がとれているものについては、次のNECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」で紹介しています。

「121ware.com」

<http://121ware.com>

商品情報 98AP情報

リソースは確保されていますか？

周辺機器を使うには、「リソース」が必要です。「デバイスマネージャ」で、その周辺機器で使用されるリソースがあいているかどうか確認してください。リソースが足りない場合は、使わない機器や機能のリソースを空けて、その分を取り付けたい周辺機器が使えるよう設定を変更します。

プラグ&プレイ セットアップについて

周辺機器の中には、デバイスドライバ(デバイスのためのソフトウェア)のセットアップが必要なものがあります。

プラグ&プレイとは、取り付けたハードウェアを自動的に検出してセットアップを行うWindows Meの機能です。

新しいハードウェアを取り付けると、次に電源を入れたときにWindows Meによって自動的に新たなハードウェアが検出され、必要に応じてデバイスドライバウィザードが起動されます。外付けの周辺機器を接続した場合は、本体の電源を入れる前に周辺機器の電源を入れてください。

周辺機器にデバイスドライバのフロッピーディスクまたはCD-ROMが添付されている場合は、周辺機器の取扱説明書の指示に従ってセットアップを行ってください。

デバイスドライバの追加について

- ・ 周辺機器によっては、デバイスドライバのセットアップが必要な場合があります。周辺機器のマニュアルをご覧ください、必要なデバイスドライバを組み込んでください。
- ・ デバイスドライバを組み込んだ後、本機の再起動を求められることがあります。その際には他の操作をせずに直ちにWindowsを再起動してください。
- ・ デバイスドライバを組み込んだ後の再起動の際には、通常よりも時間がかかることがあります。正常に再起動されるまで電源は切らないでください。

接続時に注意すること

⚠ 注意



感電注意

- ・ 雷が鳴り出したら、本機や電源ケーブルに触れたり、周辺機器の取り付け/取り外しをしたりしないでください。
落雷による感電のおそれがあります。
- ・ 濡れた手で触らないでください。
電源ケーブルがACコンセントに取り付けられているときに、濡れた手で本体に触ると、感電の原因になります。
- ・ 電源ケーブルがACコンセントに取り付けられているときは、本体のカバー類を取り外さないでください。
感電の原因になります。
- ・ 周辺機器の取り付け/取り外しをするときは、必ず電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。
電源ケーブルがACコンセントに取り付けられたまま周辺機器の取り付け/取り外しをすると、本機や周辺機器の故障、場合によっては感電の原因となります。



けが注意

- ・ 本体内部に手を入れるときは、指をはさんだりぶつかけたりしないように注意してください。

⚠ 注意



高温注意

- ・本機の使用直後は、CPUやCPUの周辺に触れないでください。CPUが高温になっていますので、手を触れるとやけどをすることがあります。本体のカバーを外す場合は、電源を切った後、30分以上たってから行うことをおすすめします。



感電注意

- ・本体を、カバーを外した状態で使用しないでください。感電や火災の原因となります。



発火注意

- ・周辺機器は、この『活用ガイド』や周辺機器のマニュアルに従って正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないと、発煙や火災の原因となります。



発火注意

接続がうまくできない場合

ケーブルは正しく接続されていますか？

見落としがちなことですが、本機や周辺機器を動かしたときなどに、ケーブルが外れたりすることはよくあります。ケーブルがきちんと接続されているか、確認してください。また、本体内部に機器を取り付けたときには、気付かないうちに内部の信号ケーブルなどを引っぱってしまっ、接続がゆるんでしまうことがあります。本体内部のケーブル類がきちんと取り付けられているかどうか、確認してください。

デバイスドライバは組み込みましたか？最新のものですか？

周辺機器を取り付けてもデバイスドライバが組み込まれていないと、使うことはできません。周辺機器のマニュアルをご覧ください。デバイスドライバを組み込んでください。また、周辺機器のデバイスドライバは、知らないうちに改善されて新しくなっていることもあります。「デバイスドライバの組み込み方は正しいのに、うまく動かない」といった場合は、デバイスドライバを最新のものにするとうまく動くようになることもあります。周辺機器の製造元に問い合わせ、最新のデバイスドライバを入手してください。なお、NEC製の最新ドライバはNECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」で提供しています。

<http://121ware.com>

商品情報 修正・サポートプログラムまたは
レスキュー サポート情報/ダウンロード

Readmeファイルを読みましたか？

アプリケーションに付いているReadmeファイルには、マニュアルやヘルプに掲載されていない重要な情報が掲載されていることがあります。ワードパッドなどのワープロで開いてお読みください。また、本機には、「スタート」ボタン「NEC電子マニュアル」「追加情報」に本製品のご利用にあたっての追加情報が掲載されています。

周辺機器を複数取り付けたため、何が原因かわからなくなっていますか？

このような場合は、取り付けた機器をいったん全部外します。その後、1つずつ取り付けては本機を起動するという作業を繰り返します。本機が起動できなくなるなどの現象を発生させる機器があったら、その機器に問題があります。リソースの設定やデバイスドライバの設定などが正しくできているか、確認してください。

トラブルが起きていませんか？

「PART6 トラブル解決Q&A」の目次からあてはまりそうなトラブルを探してください。あてはまる項目が見つからない場合は、「トラブルを解決するには(ヒント)」をご覧ください。

また、このパソコンに登録されている『NEC電子マニュアル』の「トラブル解決Q&A」を調べてみてください。

リソースの競合が起ったら

PCIボードは、プラグ&プレイに対応しているため基本的には設定不要ですが、本機が作動しない場合は、リソースの競合が起きているかもしれませんのでここをお読みください。

最もリソースの競合が起きやすいのは、本機に新しい機器が追加された場合です。新しい機器が検知されたときにシステムの状態が調べられます。新しい機器がプラグ&プレイに対応している場合は、リソースの競合が起きないように自動的に設定されます。新しい機器がプラグ&プレイに対応していない場合は、リソースの競合が起こればドライバを組み込めなくなります。本機が起動しなくなるような競合に対しては、二重三重の保護機能が働くように設定されているからです。リソースの競合が起これるかどうかは、「コントロールパネル」の「システム」の「デバイスマネージャ」タブで確認することができます。ドライバの異常、リソースの競合など何らかの障害があると、アイコンに黄色い「！」マークや赤い「×」マークが表示されます。

- ✔ **チェック!!** USB接続のマウスをご使用の場合に、PS/2互換マウスポートに黄色い「！」が表示されることがありますが、これはPS/2互換マウスを接続していないことが原因なので異常ではありません。

異常が表示された場合は、まずその機器のプロパティを開いてください。「デバイスの状態」の欄に、異常の原因が表示されます。異常の原因がリソースの競合であった場合は、次の方法で解決することができます。

- 1 「リソース」タブを開く
- 2 「自動設定を行う」のチェックを外す
- 3 「リソースの種類」から競合しているリソースを選択し、ダブルクリック
- 4 表示されたリソースの設定値を変更する

- ✔ **チェック!!** 選択した機器やリソースの種類によっては、設定値を変更できない場合があります。その場合、競合を起こしているもう一方の機器の設定値を変更してください。なお、本機のリソースについては、「PART7 付録」の「割り込みレベルとDMAチャンネル」をご覧ください。

周辺機器の取り外しと再接続

プリンタなどのUSB対応機器、メモリカードなどのPCカードは、パソコンの電源を入れたまま、取り付け、取り外しができます。

ただし、タスクトレイにが表示されている周辺機器は、正しい手順で取り外しを行わないと、このパソコンが正常に起動しなくなることがあります。取り外しを行うときは、必ず次の手順で取り外しを行ってください。

- 1 タスクトレイのをダブルクリック
「ハードウェアの取り外し」ウィンドウが表示されます。
- 2 「ハードウェアデバイス」の一覧から取り外す周辺機器を選んで、「停止」をクリック
「ハードウェアデバイスの停止」ウィンドウが表示されます。

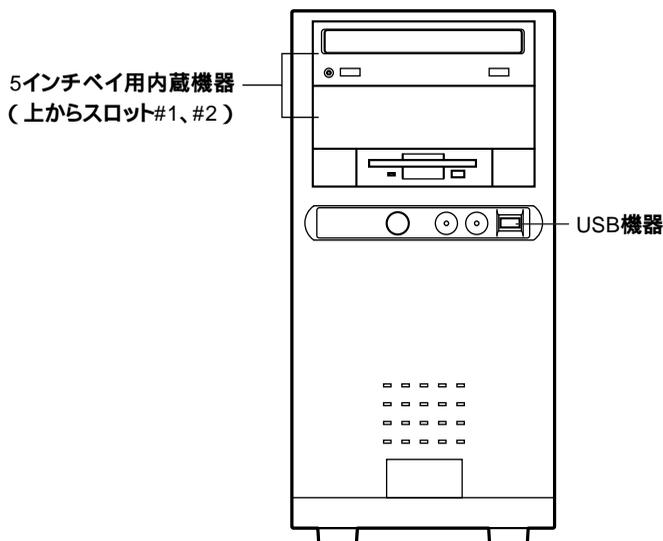
- 3** 取り外す周辺機器が選択されていることを確認した後、「OK」をクリック
「***は安全に取り外すことができます。」と表示されます。

- 4** 「OK」をクリック
これで周辺機器は取り外せます。

同じ周辺機器を再接続したときは、ドライバなどをインストールする必要がありません。ただし、画面が少しの間止まったり、何かウィンドウが表示されたりすることがあります。ウィンドウが表示されたら、ウィンドウの指示に従ってください。これは機器の故障ではありません。しばらく待てば使えるようになります。

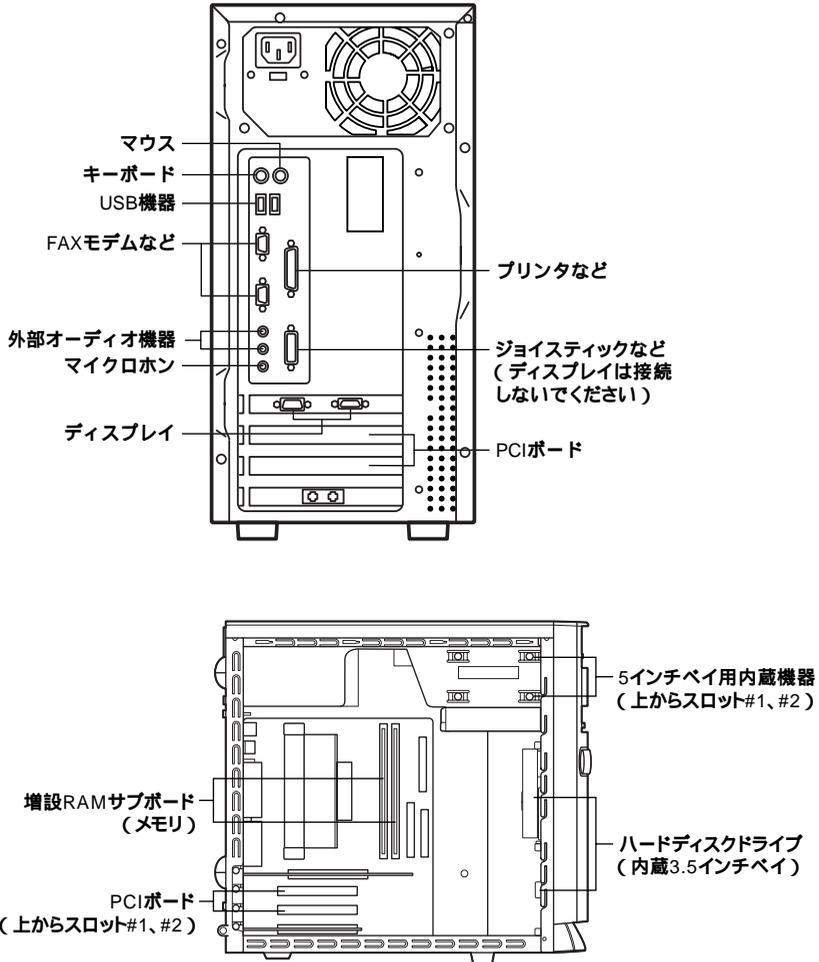
接続できる周辺機器

次のような別売の周辺機器を接続できます。



5インチベイ用内蔵機器には、次のような種類があります。

- CD-ROM ドライブ
 - CD-R ドライブ
 - CD-R/RW ドライブ
 - DVD-ROM ドライブ
 - CD-R/RW with DVD-ROM ドライブ
 - DVD-RAM ドライブ
 - Zip ドライブ
 - PCカードリーダー・ライター
 - ハードディスクドライブ
- など



隣り合ったコネクタに同時に別売の変換アダプタを接続すると、変換アダプタ同士がぶつかり合い、接続できない場合があります。

本体カバー類の取り外し

ここでは、周辺機器や内蔵機器を増設するときなどに必要なカバー類の取り外し方について説明します。

⚠注意



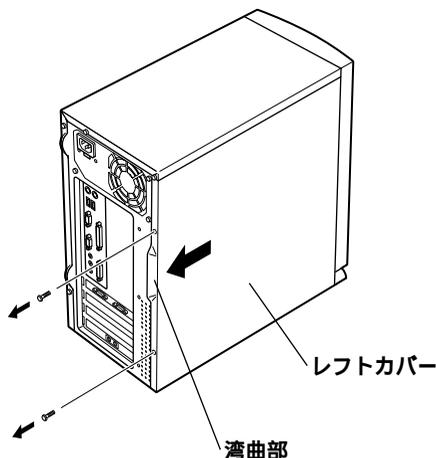
感電注意

周辺機器の取り付け/取り外しをするときは、必ず電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。電源ケーブルがACコンセントに接続されたまま周辺機器の取り付け/取り外しをすると、本機や周辺機器の故障や、場合によっては感電の原因となります。

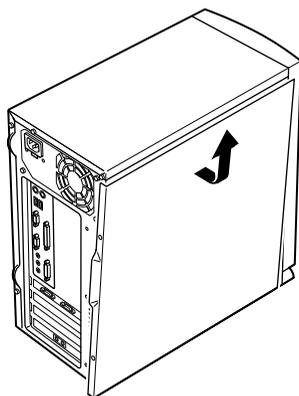
レフトカバーの取り外し

メモリやハードディスクドライブ、PCIボードなどの内蔵機器を増設する場合は、本体のレフトカバーを取り外す必要があります。

- 1 本機の電源を切る
- 2 本体に接続しているすべてのケーブル(電源ケーブル、アース線など)を取り外す
- 3 盗難防止用の錠を使用している場合は取り外す
- 4 本体背面のネジ2本を外し、湾曲部に指をかけて、レフトカバーを後方へ引く



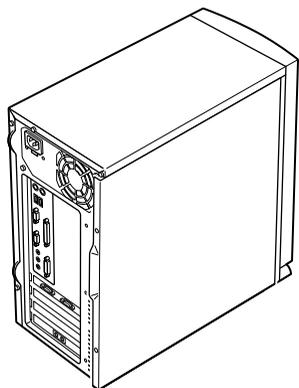
5 レフトカバー上部を外側に倒し、上に引き上げて取り外す



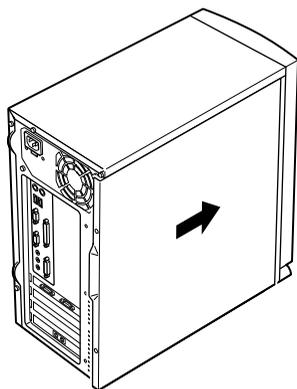
レフトカバーの取り付け

レフトカバーを取り付けるときには、次のように作業すると取り付けやすくなっています。

- 1 レフトカバーの下部と本体の下部をあわせる
- 2 レフトカバーをフロントマスクから少し開くように載せる
レフトカバー裏側のツメと本体の穴をあわせませす。



- 3** レフトカバーを本体に押し当て、矢印方向にスライドさせる



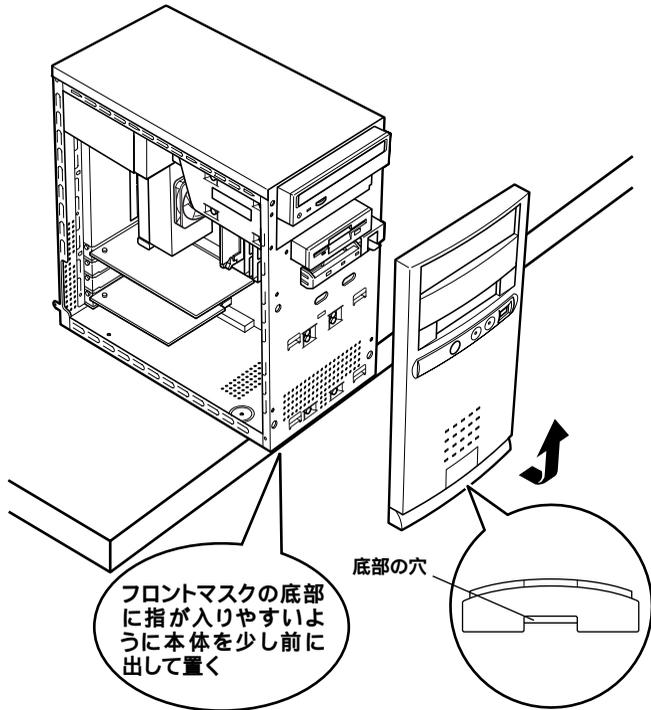
- 4** 「レフトカバーの取り外し」で取り外したネジ2本でレフトカバーを固定する
- 5** 盗難防止用の錠を利用している場合は、錠を取り付ける
- 6** ケーブル(電源ケーブル、アース線など)を本体に接続する

フロントマスクの取り外し

増設ハードディスクドライブやPCカードドライブなど、ファイルベイ(5インチベイ、3.5インチベイ)に内蔵機器を取り付ける場合は、レフトカバーとフロントマスクを取り外す必要があります。

- 1 フロントマスク底部の穴に指を入れて、フロントマスクを手前に引いてから上に持ち上げて取り外す

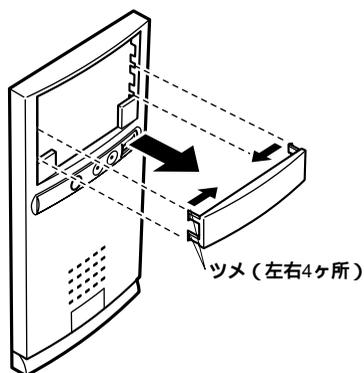
チェック!! フロントマスクを取り外しやすいように、机の端などに寄せて、フロントマスクを取り外してください。



ファイルベイカバーの取り外し

PCカードドライブなどのリムーバブルメディア用の内蔵機器をファイルベイ(5インチベイ)に取り付ける場合は、ファイルベイカバーを取り外す必要があります。

- 1 ツメ(4ヶ所)を矢印の方向に押してロックを外す
- 2 ファイルベイカバーを内側から外側に押して取り外す



増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け

本機のメモリは、最大256Mバイトまで増設することができます。多くのメモリを必要とするOSやアプリケーションを使用する場合には、別売の増設RAMサブボードを取り付けてメモリを増やします。

取り付け前の確認

本機に増設RAMサブボードを取り付ける前に、取り付けられる増設RAMサブボード、取り付け順序、スロットの位置を確認します。

取り付けられる増設RAMサブボード

本機には、次の増設RAMサブボードを1枚単位で、最大2枚まで増設できます。

型名	メモリ容量
PK-UG-M015	32Mバイト
PK-UG-M016	64Mバイト
PK-UG-M017	128Mバイト

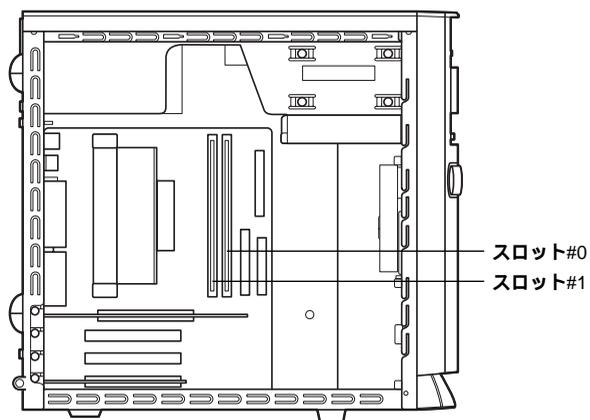
スロットへの取り付け順序

必ずスロット番号が小さい方から埋まるように取り付けてください。スロット#0から順番に取り付けることとなります。メモリ容量による取り付け順序の制限はありません。

増設RAMサブボード組み合わせ例

合計容量	スロット#0	スロット#1
64Mバイト	64Mバイト	-
	32Mバイト	32Mバイト
96Mバイト	64Mバイト	32Mバイト
128Mバイト	128Mバイト	-
	64Mバイト	64Mバイト
160Mバイト	128Mバイト	32Mバイト
192Mバイト	128Mバイト	64Mバイト
256Mバイト	128Mバイト	128Mバイト

スロットの位置

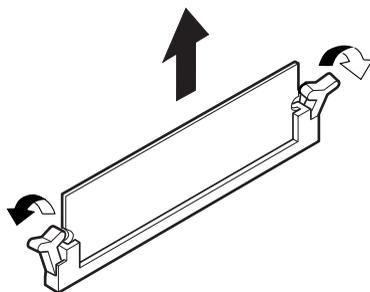


増設RAMサブボードの取り扱い上の注意

増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードが破損する原因となります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

増設RAMサブボードの取り外し

- 1 「レフトカバーの取り外し (P.70) の手順で、レフトカバーを取り外す
- 2 本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に置く
- 3 増設RAMサブボードの左右のレバーを外側に押し広げる



- 4 増設RAMサブボードを上へ引き抜く



チェック!!

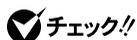
増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、ボード上の部分や端子の部分を手で触れないように注意してください。

取り外した増設RAMサブボードは静電気防止用の袋などに入れて保管してください。

- 5 静かに本体を縦置きに戻す
- 6 「レフトカバーの取り付け (P.71) の手順で、レフトカバーを取り付ける

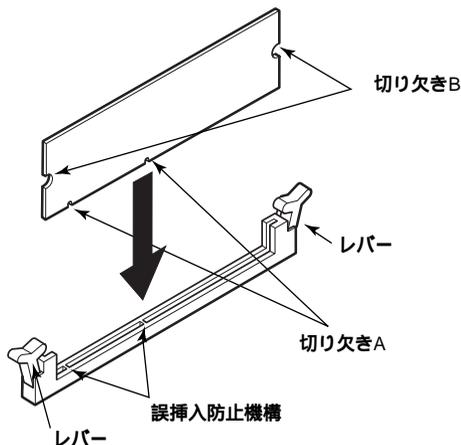
増設RAMサブボードの取り付け

- 1 「レフトカバーの取り外し (P.70) の手順で、レフトカバーを取り外す
- 2 本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に置く
- 3 増設RAMサブボードの切り欠きAの位置と誤挿入防止機構の位置を確認し、増設RAMサブボード用コネクタに垂直に差し込む
増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、ボード上の部品や端子の部分を手で触れないように注意してください。

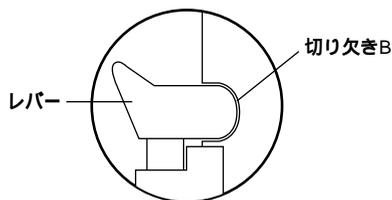


チェック!

- ・ スロット#0、#1の順番で取り付けてください。
- ・ 増設RAMサブボードには向きがあります。逆には差し込めませんが、向きを間違えたまま無理に差し込むと故障の原因になりますので注意してください。



- 4 左右2ヶ所のレバーが切り欠きBに掛かるように、増設RAMサブボードをしっかりと押し込む



- ✓ **チェック!!** 増設RAMサブボードがしっかりと押し込まれたことを確認してください。しっかりと押し込まれていないと故障の原因となります。

- 5 静かに本体を縦置きに戻す

- 6 「レフトカバーの取り付け (P.71)」の手順で、レフトカバーを取り付ける

メモリ容量の確認方法

- 1 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」をクリック

- 2 「システム」をダブルクリック
「システムのプロパティ」の「全般」タブの中にメモリの容量が表示されます。

- ✓ **チェック!!** 「コントロールパネル」に「システム」アイコンがない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックしてください。

メモ

表示されたメモリ容量が正しくない場合は、メモリが正しく取り付けられているか、本機で使えるメモリを取り付けているかを確認してください。

- ✓ **チェック!!** システムのプロパティでメモリの容量を確認すると、搭載されている容量より少ない容量が表示されます。これは、メインメモリがシステムとして割り当てられるためで故障ではありません。

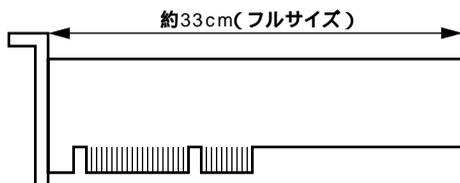
- ✓ **チェック!!** メモリを増設した場合、初期化のため、電源投入後ディスプレイの画面が表示されるまで時間がかかることがあります。

PCIボードの取り付け

PCIスロットには、本機の機能を拡張するための各種PCIボードを取り付けることができます。

取り付け前の確認

PCIボードは、横幅が約33cm(フルサイズ)までありますが、約17cm(ハーフサイズ)以上のボードをPCIスロットに取り付けるためには下記条件がありますので確認してください。



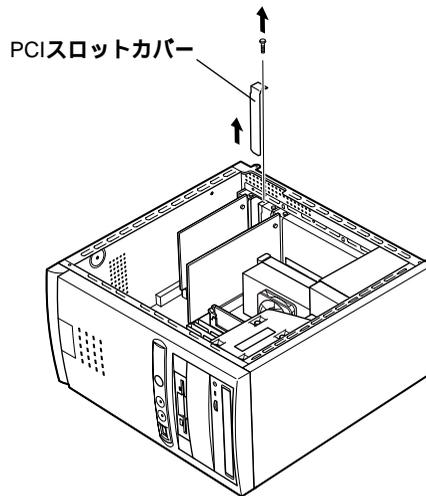
取り付け条件

PCIスロット #1	フルサイズまで取り付け可能ですが、内蔵3.5インチベイに増設機器を取り付けた場合は、ハーフサイズまでとなります。
PCIスロット #2	フルサイズまでとなります。

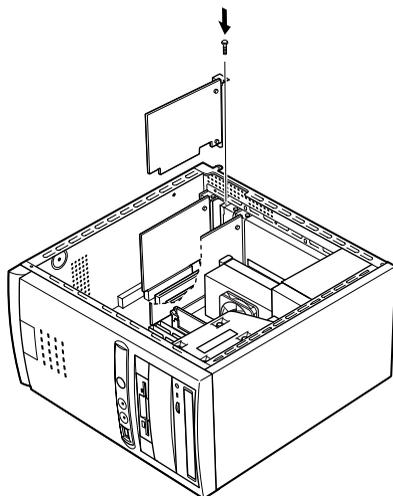
PCIボードの取り付け

- ✓ **チェック!!**
- ・ PCIボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でPCIボードを扱うと、PCIボードが破損する原因となります。PCIボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、PCIボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、ボード上の部品や端子の部分を手で触れないように注意してください。
 - ・ 標準で取り付けられているFAXモデムボードは、購入時に取り付けられていたスロットでご使用ください。

- 1 「レフトカバーの取り外し(P.70)の手順で、レフトカバーを取り外す
- 2 本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に置く
- 3 PCIスロットカバーのネジを1本外し、PCIスロットカバーを取り外す



4 PCIボードを取り付ける



5 手順3で取り外したネジを取り付ける

6 静かに本体を縦置きに戻す

7 「レフトカバーの取り付け (P.71) の手順で、レフトカバーを取り付ける

⚠ 注意



発火注意

レフトカバーを取り付けるときは、本体内のケーブルをはさまないようにしてください。

ファイルベイ用内蔵機器の増設

増設する前の確認

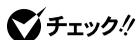
ファイルベイ用内蔵機器を取り付ける前に、本機に装備されている増設用のスロットの種類と数、電源ケーブル、信号ケーブル、ドライブの設定を確認します。

スロットの種類と数

本機には、次の種類のファイルベイが装備されています。

内蔵3.5インチベイ	1スロット
5インチベイ	2スロット(購入時の状態では、この内1スロットを標準で搭載されている5インチベイ用内蔵機器で占有済)

本機に標準で搭載されている5インチベイ用内蔵機器は、モデルによって異なります。



チェック!

内蔵3.5インチベイにハードディスクドライブを増設する場合は、増設できるPCIボードのサイズに制限があります。「PCIボードの取り付け」の「取り付け前の確認」(P.80)をご覧ください。



参照

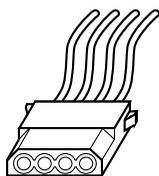
本機に標準で搭載されている5インチベイ用内蔵機器「PART1 本体の構成各部」各部の名称「本体正面」の「5インチベイ用内蔵機器」

電源ケーブル

ファイルベイ用の電源ケーブルは2種類あり、本体に装備されています。

5インチベイ内蔵機器用	コネクタ(大)×2本(1本は5インチベイ用内蔵機器で使用済)
内蔵3.5インチベイ機器用	コネクタ(大)×2本(1本は標準ハードディスクドライブで使用済)
フロッピーディスクドライブ用	コネクタ(小)×1本(フロッピーディスクドライブで使用済)

電源ケーブルコネクタ(大)



電源ケーブルコネクタ(小)



注意

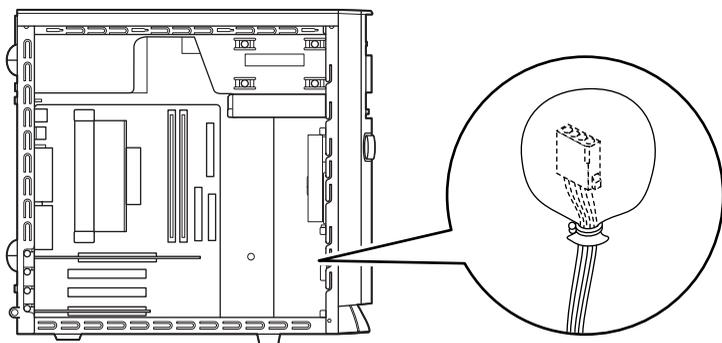


感電注意



発火注意

使用されていない電源ケーブルは、誤接触や帯電を防止するためのポリ袋で束ねられています。ファイルベイ用内蔵機器を増設する際には、必要な電源ケーブルを取り出し、使用しない電源ケーブルはポリ袋で束ねておいてください。



IDE機器用信号ケーブル

本機ではIDE機器用の信号ケーブルは次の通りに用意されています。

プライマリ	Master	ハードディスクドライブで使用済
	Slave	空き(内蔵3.5インチベイへの増設機器用)
セカンダリ	Master	5インチベイ用内蔵機器 で使用済
	Slave	空き(5インチベイへの増設機器用)

本機に標準で搭載されている5インチベイ用内蔵機器は、モデルによって異なります。

ドライブの設定

標準で内蔵されているハードディスクドライブ、5インチベイ用内蔵機器、フロッピーディスクドライブの設定は次の通りです。ファイルベイに増設する内蔵機器のマニュアルをご覧の上、正しく設定してください。

ハードディスクドライブ	Master(Slaveへの変更は不可)
5インチベイ用内蔵機器	Master(Slaveへの変更は不可)
フロッピーディスクドライブ	ユニットアドレス=0(0以外への変更は不可)

本機に標準で搭載されている5インチベイ用内蔵機器は、モデルによって異なります。

参照 本機に標準で搭載されている5インチベイ用内蔵機器「PART1 本体の構成各部」各部の名称「本体正面」の「5インチベイ用内蔵機器」

内蔵3.5インチベイ

内蔵3.5インチベイには、ハードディスクドライブを増設することができます。

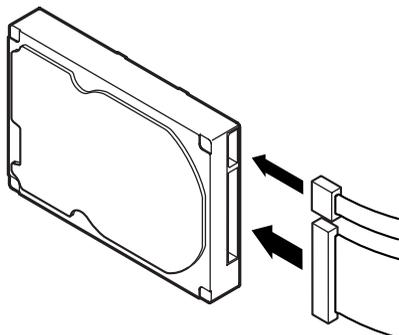
- チェック!!** 内蔵3.5インチベイにハードディスクドライブを増設する場合は、増設できるPCIボードのサイズに制限があります。「PCIボードの取り付け」の「取り付け前の確認 (P.80)」をご覧ください。

ハードディスクドライブの増設

- チェック!!** ここからは、増設用ハードディスクドライブのマニュアルもあわせてご覧になり、増設作業を行ってください。

- 1 「レフトカバーの取り外し (P.70)」の手順で、レフトカバーを取り外す
- 2 「フロントマスクの取り外し (P.73)」の手順で、フロントマスクを取り外す

- 3** SCSIインタフェース機器を増設する場合は、増設するSCSIインタフェース機器およびSCSIケーブルのマニュアルに従い、信号ケーブル、電源ケーブルの接続を行ってから手順5へ進む
ハードディスクドライブを増設する場合は、標準で内蔵されているハードディスクドライブの信号ケーブルから分岐している信号ケーブルを増設するハードディスクドライブのコネクタにしっかりと差し込む
- 4** 標準で内蔵されているハードディスクドライブの電源ケーブルから分岐している電源ケーブル(電源ケーブルコネクタ(大))をポリ袋から取り出し、増設用ハードディスクドライブのコネクタにしっかりと差し込む



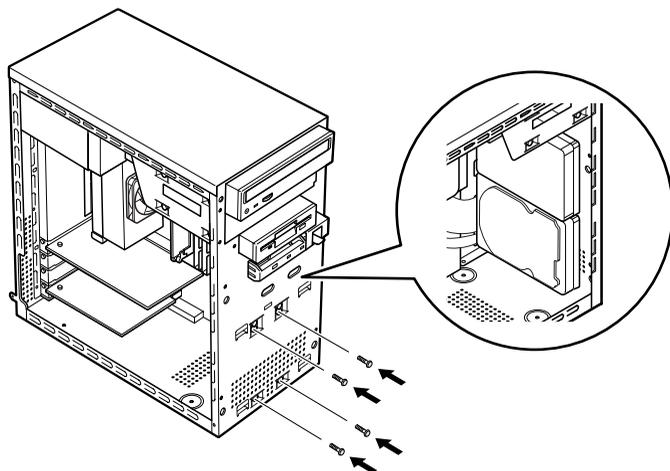
⚠ 注意



発火注意

使用しない電源ケーブルは、ポリ袋で束ねておいてください。

- 5** 増設するハードディスクドライブに添付されているネジ4本で、下から 、 、 、 の順に取り付け、増設するハードディスクドライブを固定する



- 6** フロントマスクを取り外したときと逆の手順で取り付ける
- 7** 「レフトカバーの取り付け (P.71)」の手順で、レフトカバーを取り付ける

増設したハードディスクドライブを確認する

ハードディスクドライブにはフォーマットが必要なものもあります。ハードディスクのフォーマット方法は、増設用ハードディスクドライブのマニュアルをご覧ください。

増設したハードディスクドライブは、例えば次のような方法で確認することができます。

- 1 本機の電源を入れ、Windowsを起動する
- 2 Windowsのデスクトップの画面の「マイコンピュータ」をダブルクリック

増設した分だけ、ハードディスクアイコンも増えて表示されています。また、増設したハードディスクドライブが1つでも、フォーマットする際に、ハードディスクを分割した場合は、その分だけハードディスクアイコンが増えています。

増設したハードディスクドライブに、領域が1つも確保されていない場合は、「マイコンピュータ」のドライブアイコンは増えません。

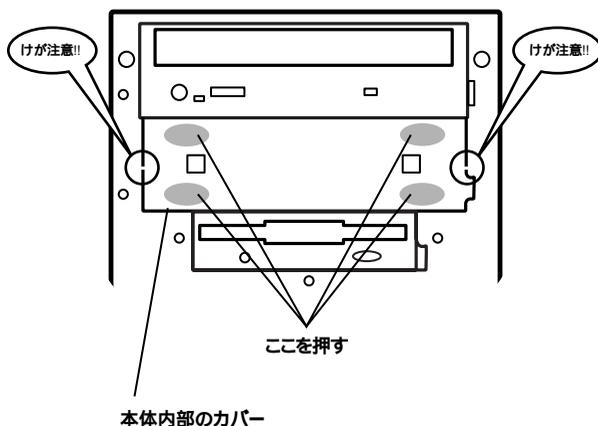
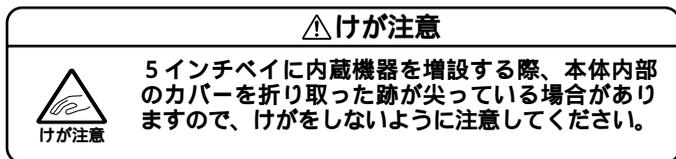
5インチベイ

5インチベイ用内蔵機器の増設(スロット#2の場合)

増設する5インチベイ用内蔵機器のマニュアルを用意してください。

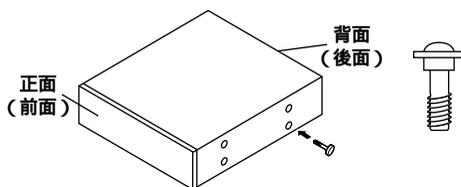
- 1 「レフトカバーの取り外し(P.70)の手順で、レフトカバーを取り外す
- 2 「フロントマスクの取り外し(P.73)の手順で、フロントマスクを取り外す

3 本体内部のカバーの上側と下側をカバーが取れるまで、数回から十数回親指で交互に押し込む

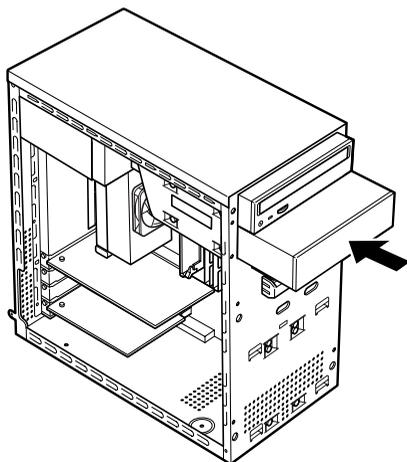


✓ チェック!! 取り外したカバーは、再度本体に取り付ける必要はありません。

4 5インチベイ用内蔵機器右側面の後側のネジ穴に、本体添付のネジを取り付ける



5 5インチベイ用内蔵機器を半分くらいまで挿入する



6 増設する内蔵機器のマニュアルをご覧になり、信号ケーブルと電源ケーブルの接続を行う

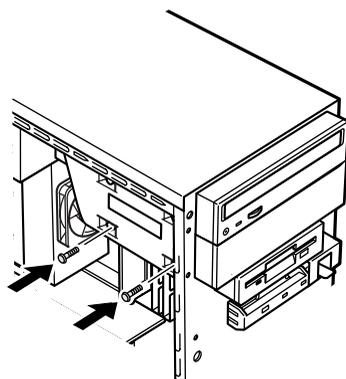
⚠ 注意



発火注意

使用しない電源ケーブルは、ポリ袋で束ねておいてください。

7 5インチベイ用内蔵機器を奥まで差し込み、5インチベイ用内蔵機器の側面を増設用機器に添付されているネジ2本で固定する



- 8 フロントマスクを取り外したときと逆の手順で取り付ける
- 9 「レフトカバーの取り付け (P.71) の手順で、レフトカバーを取り付ける

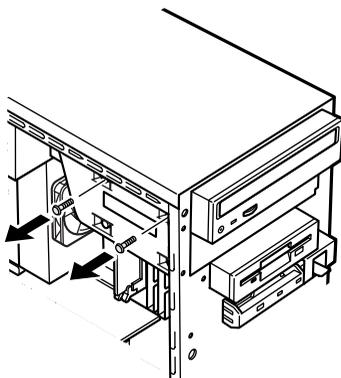
5インチベイ用内蔵機器の取り外し/取り付け(スロット#1の場合)

本体に標準で搭載されている5インチベイ用内蔵機器を取り外して、他の5インチベイ用内蔵機器などに交換することもできます。

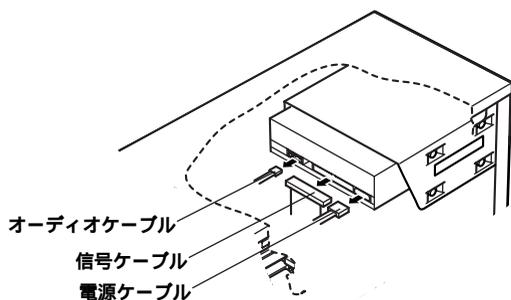
ここでは、CD-R/RW with DVD-ROMモデルを例に別売のCD-ROMドライブを取り付ける場合の説明をしています。他のモデルで標準に搭載されているCD-ROMドライブなどの5インチベイ用内蔵機器についても同様の手順で取り外すことができます。

CD-R/RW with DVD-ROMドライブの取り外し

- 1 「レフトカバーの取り外し (P.70) の手順で、レフトカバーを取り外す
- 2 「フロントマスクの取り外し (P.73) の手順で、フロントマスクを取り外す
- 3 CD-R/RW with DVD-ROMドライブを固定しているネジ2本を取り外す



- 4 5インチベイ用内蔵機器が増設されている場合は、5インチベイ用内蔵機器を固定しているネジ2本を取り外して、5インチベイ用内蔵機器を半分ほど前へ押し出す
増設されていない場合は手順5に進む
- 5 CD-R/RW with DVD-ROMドライブを少し前に引き出し、電源ケーブル、信号ケーブル、オーディオケーブルを取り外す



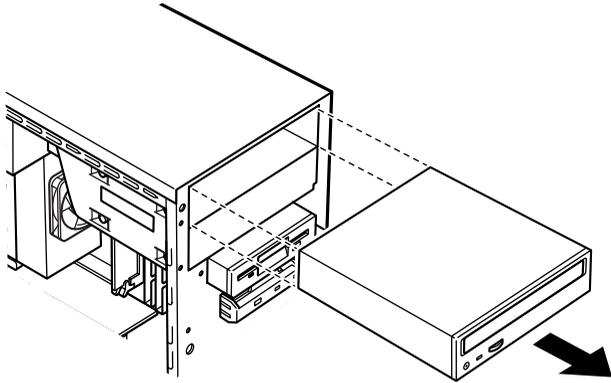
✔ **チェック!!** 電源ケーブル、信号ケーブル、オーディオケーブルが取り外しにくい場合は、以下の要領で取り外してください。

5インチベイ用内蔵機器が増設されている場合は、増設した5インチベイ用内蔵機器を引き抜く

マザーボードからCD-R/RW with DVD-ROMドライブに接続されている信号ケーブルを引き抜く

CD-R/RW with DVD-ROMドライブを全部引き抜いてから、電源ケーブル、信号ケーブル、オーディオケーブルを取り外す

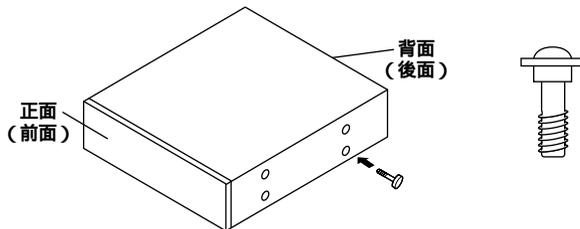
6 CD-R/RW with DVD-ROMドライブを引き抜く



別売のCD-ROMドライブの取り付け

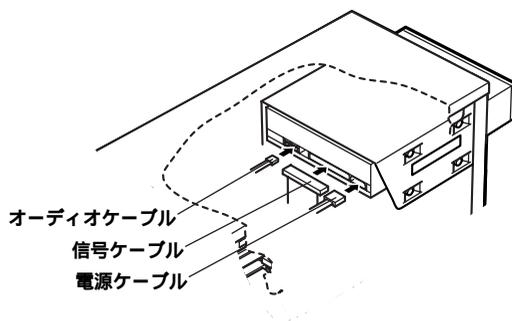
同じ手順でCD-R/RWドライブやDVD-ROMドライブなど本機に対応した5インチベイ用内蔵機器を取り付けることができます。

- 1 標準で内蔵されているCD-R/RW with DVD-ROMドライブを取り外す(P.91)
- 2 標準で内蔵されているCD-R/RW with DVD-ROMドライブの右側面後側に付いているネジを取り外して、増設するCD-ROMドライブの右側面後側のネジ穴にネジを取り付ける

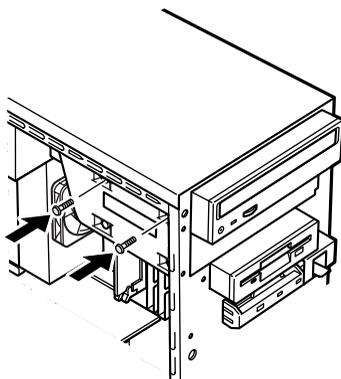


- 3 CD-ROMドライブをファイルベイに半分ほど挿入する

4 CD-ROMドライブのオーディオケーブル、信号ケーブル、電源ケーブルを接続する



5 CD-ROMドライブを押し込み、側面をネジ2本で固定する



6 フロントマスクを取り外したときと逆の手順で取り付ける

7 「レフトカバーの取り付け (P.71)」の手順で、レフトカバーを取り付ける

本機の設定を変更する

本機には、使用環境を設定するためにBIOSセットアップメニューが内蔵されています。BIOSセットアップメニューは、日付と時間の設定、ハードウェア環境の確認と変更、セキュリティの設定、省電力の設定、起動デバイスからの起動順位の設定ができます。詳しくは、「スタート」ボタン「NEC電子マニュアル」「NEC電子マニュアル」の「BIOS設定」をご覧ください。

この章の内容

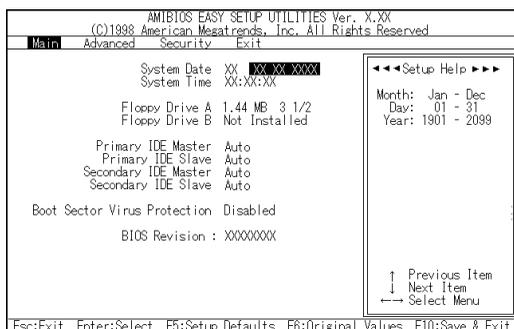
購入時の設定に戻すには	96
パスワードの解除	97

購入時の設定に戻すには

ここでは、BIOSセットアップメニューで変更した設定を、購入時の設定に戻す方法について説明します。

購入時の設定に戻す方法

- 1 本体の電源を入れたらすぐに【F2】を押し続ける
BIOSセットアップメニューが表示されます。



- 2 Exitメニューから「Load Optimal Settings」を選択し、
【Enter】を押す
- 3 【Enter】を押す

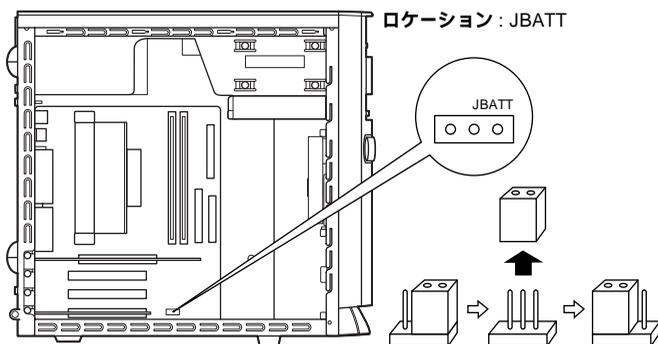
パスワードの解除

設定したスーパーバイザパスワード、ユーザパスワードを忘れると、本機を起動することができなくなります。パスワードを忘れてしまった場合は、次の方法で、パスワードを解除することができます。

パスワードを忘れた場合の手順

✓チェック! 無断でパスワードを解除することを防ぐために、セキュリティロックに錠を取り付けることをおすすめします。

- 1 「レフトカバーの取り外し (P.70) の手順で、レフトカバーを取り外す
- 2 ストラップスイッチのジャンパを次の図のように引き抜いてから差し込む



- 3 レフトカバーを取り外したときと逆の手順で取り付ける
- 4 電源を入れる

✓チェック! 必ずレフトカバーを取り付けた後に電源を入れてください。

5 次の画面が表示されるので、【F1】を押す
WAIT...

CMOS Battery Low

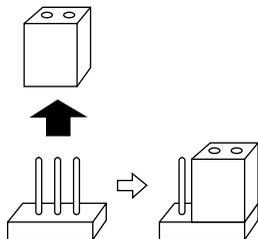
Press F2 to Run SETUP

Press F1 to load default values and continue

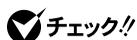
6 電源を切る

7 「レフトカバーの取り外し (P.70) の手順で、レフトカバーを取り外す

8 ストラップスイッチのジャンパを元の位置に戻す



9 「レフトカバーの取り付け (P.71) の手順で、レフトカバーを取り付ける



チェック!

- ・ パスワードの解除を行うとユーザー設定すべてが購入時の設定値に戻ります。
- ・ 「JBATT」のストラップスイッチの近くに「JPLED」と記載されているストラップスイッチがあります。型状が同じですので、間違っても抜き差しすることのないように注意してください。

4

アプリケーションご利用時の ご注意

本機に標準でインストールまたは添付されているアプリケーションをご利用になるにあたってのご注意を説明しています。

この章の内容

知っておきたい便利な機能とアプリケーション	100
コンピュータウイルスに備える(VirusScan).....	101
NEC Soft MPEG1.0	103
PCポータル	104
バックアップ-NX	107
インストーラ-NX	108
プレーヤ-NX	109
DVDプレーヤ	110
Easy CD Creator	112
DirectCD	114

知っておきたい便利な機能とアプリケーション

本機には、次のようなアプリケーションが添付されています。

機 能	購入時の状態	アプリケーション
文章を作成する		Word 2000 1 ワードパッド
インターネットへ接続する		Internet Explorer
電子メールを送受信する		Outlook Express
プロバイダへの入会手続きをする		インターネットするならBIGLOBE AOL(AOLで簡単インターネット) @niftyでインターネット DIONかんたんインターネット4.0 ODN(Open Data Network) Info Sphere
ISDNに申し込む		カンタンISDN
BIGLOBEに接続する		インターネットするならBIGLOBE
インターネット上のさまざまな情報への入口を見つける		PCポータル
お客様登録をする		NECオンラインお客様登録
コンピュータウイルスを検出して除去する		VirusScan
音楽CD、ビデオCDなどの音と画像を再生する		プレーヤ-NX NEC Soft MPEG1.0
pdf形式の文書の表示、閲覧、印刷をする		Acrobat Reader
DVD-VIDEOディスクを再生する		DVDプレーヤ 2
CD-R/CD-RWを利用する		Easy CD Creator 3 DirectCD 3
データをバックアップする		バックアップ-NX
アプリケーションをインストールする		インストーラ-NX
キーボードのワンタッチスタートボタンの設定をする		ワンタッチスタートボタンの設定
自動メール受信の設定をする		自動メール受信ユーティリティ
目のストレッチソフト		ストレッチアイ for Windows

： 購入時にインストールされているアプリケーションです。

： 購入時に添付されているアプリケーションCD-ROMに入っています。利用するためにはインストールが必要です。詳しくは「スタートボタン」「NEC電子マニュアル」「NEC電子マニュアル」の「アプリケーションの追加と削除」をご覧ください。

1: Office 2000モデルのみ

2: DVD-RAMモデル、DVD-ROMモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ

3: CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ

コンピュータウイルスに備える (VirusScan)

VirusScanは、パソコンがウイルスに感染していないかを検査し、万一ウイルスが発見されたときは、駆除することができます。

概要

- ✓ **チェック!!** VirusScanは、購入時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、「スタート」ボタン 「NEC電子マニュアル」 「NEC電子マニュアル」 「アプリケーションの追加と削除」の「VirusScan」をご覧ください、インストールしてください。

ウイルスを検査するには、次の4通りの方法があります。
詳しくはVirusScanセントラルのヘルプをご覧ください。

- VShield
常にファイルのアクセスを監視し、ウイルスが感染しないように検査します。
- ScreenScan
スクリーンセーバの実行中に、ウイルスが感染していないかを検査します。
- VirusScan スケジューラ
あらかじめ設定した時間にウイルスが感染していないかを自動的に検査します。
- VirusScan
その場でウイルスが感染していないかを検査します。

- ✓ **チェック!!**
- 定期パターンアップだけでは発見できないウイルスが出現することが予想されますので、ワクチンソフトのウイルス検索エンジンは定期的に更新することをおすすめします。
詳しくは、「スタート」 「プログラム」 「McAfee VirusScan」 「お知らせ」をご覧ください。
 - 「VirusScan」でエマージェンシーディスクを作成する場合は、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。
 - コンピュータウイルスを検出した場合は、「PART6 トラブル解決Q&A」の「その他」の「コンピュータウイルスが発見された」(P.199)をご覧ください、対処してください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン「プログラム」「McAfee VirusScan」の「McAfee VirusScan セントラル」をクリック
- 2 「VirusScan セントラル」ウィンドウが表示されたら、「スキャン」をクリック
「MCAFEЕによる保護」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。VirusScanの画面が表示されます。詳しくは、VirusScanのヘルプを参照してください。

新種のウイルスに対応するための注意事項

本機にインストールされているVirusScanでは新種のウイルスを検出できない場合があります。新種のウイルスに対応するため、DATファイルを更新する必要があります。インターネットに接続できる環境（プロバイダに入会済みの場合）は、「VirusScan セントラル」で「アップデート」ボタンを押すことにより最新版のDATファイルをダウンロードすることができます。



チェック!!

DATファイルの更新だけでは検出できないウイルスが発生する場合があります。その場合は、VirusScanを別途ご購入し、バージョンアップしてください。



NEC Soft MPEG1.0

概要

プレーヤ-NXなどで、MPEG1のファイルやVideo CDのファイルを再生するときに、データをデコードするために必要です。
MPEGファイルとしては拡張子が".mpg"のもの他にビデオCD内の拡張子が".dat"のものを再生することができます。

NEC Soft MPEG1.0に関する注意事項

プレーヤ-NXでプルダウンメニューを表示すると再生が停止します。再生中にキーボードから【Alt】を押したときも同様に停止します。



PCポータル

概要

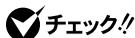
デスクトップのメニューをクリックするだけで、インターネット上のさまざまな情報への入口にアクセスできます。マネー、くらし・教育、趣味、マルチメディアのジャンル別メニューや、各企業のご紹介情報コーナーをクリックしてください。きっとお好みの情報や入口が見つかります。

ジャンル別メニュー

各ジャンルに適した情報へのリンク集が表示されます。リンク集の中からお好みの企業・サービス名をクリックすると、各企業の情報を紹介するインターネット上のホームページにアクセスします。

各企業のご紹介情報

各企業の情報の詳細を紹介するインターネット上のホームページにアクセスします。



チェック!

インターネットに接続するための設定が終わっていない場合は、このパソコンに用意されたご紹介情報が表示されます。それぞれのご紹介情報の内容については、掲載元の企業にお問い合わせください。

PCポータルをはじめて使う

PCポータルを使える状態にします。

- 1 PCポータルのウィンドウの任意の部分をクリック
PCポータルのご案内の画面が表示されます。
- 2 「OK」ボタンをクリック
PCポータルが使える状態になります。

PCポータルを非表示にする

PCポータルをデスクトップに表示されないようにできます。

- 1 マウスポインタをPCポータルのウィンドウの「PCポータル」に合わせる
メニュー枠が表示されます。
- 2  ボタンをクリック
非表示になります。

PCポータルを終了する

次のようにしてPCポータルを終了します。

- 1 画面右下にあるタスクトレイのを右クリック
- 2 メニューから「終了」をクリック
「このショートカットをデスクトップにおきますか?」と表示されます。
- 3 「はい」をクリック
デスクトップに「PCポータル再表示」というアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックするとPCポータルを再表示できます。「いいえ」をクリックすると、デスクトップには「PCポータル再表示」というアイコンは表示されません。

メモ

PCポータルを終了したときは、非表示にする必要はありません。

PCポータルを表示する

デスクトップにPCポータルが表示されていないときは、次のようにして表示します。

タスクトレイにアイコンがある場合

- 1 画面右下にあるタスクトレイのを右クリック
- 2 メニューから「開く」をクリック

メモ

タスクトレイのアイコンをダブルクリックしても表示されます。

タスクトレイにアイコンがない場合

1 「スタート ボタン」「プログラム」「PCポータル」をクリック

デスクトップにが表示されているとき

1 デスクトップにあるをダブルクリック

以上で、デスクトップにPCポータルが表示されます。

起動方法

1 デスクトップ上の「PCポータル」のジャンル別メニューが、各企業のご紹介情報の絵柄の中から見たいものをクリック Internet Explorerが起動して、それぞれの情報が表示されます。



チェック!!

PCポータルを活用するには、インターネットに接続する準備ができていないことをおすすめします。インターネット接続の準備ができていない状態で各メニューをクリックした場合は、このパソコンに用意されたご紹介情報が表示されます。

- ・ ジャンル別メニューをクリックしたとき
各ジャンルに応じた各企業のご紹介ページのリンク集
- ・ 各企業別の絵柄部分をクリックしたとき
各企業のご紹介ページ

バックアップ-NX

概要

インストールされているアプリケーションで作成したデータや、インターネットに接続するための基本的な設定情報をバックアップできます。



チェック!

- ・ バックアップを取る場合には、保存する場所に十分な空き容量があることを確認してください。
- ・ バックアップの保存先には、別売の外付けハードディスクやフロッピーディスクドライブ、Zipドライブ、CD-R、CD-RW、MOなどのリムーバブルメディアを指定することができます。ハードディスク以外のドライブでは、利用できるディスクは1枚までです。複数枚にわたるバックアップには対応していません。

起動方法

1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アプリケーション」 「バックアップ-NX」をクリック

また、DirectCDがインストールされている必要があります。DirectCDはご購入時にはインストールされていないので、「スタート」ボタン「NEC電子マニュアル」「NEC電子マニュアル」「アプリケーションの追加と削除」をご覧の上、インストールしてください。



インストーラ-NX

概要

アプリケーションを簡単にインストール(追加)したり、アンインストール(削除)することができます。

インストーラ-NXを利用してアプリケーションの追加/削除をするときには、「スタート」ボタン「NEC電子マニュアル」「NEC電子マニュアル」「アプリケーションの追加と削除」をご覧ください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン「プログラム」「アプリケーション」「インストーラ-NX」をクリック



プレーヤ-NX

ご利用時のご注意

音楽CD(オーディオCD)、Video CD、カラオケCD、Photo CDを再生表示します。

- ・ プレーヤ-NXでビデオCDを再生しているとき、ビデオ画面の表示サイズを変更するには、プレーヤ-NXのビデオCDウィンドウをマウスでドラッグして、表示サイズを変更してください。
- ・ 「インストーラ-NX」や「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でプレーヤ-NXを削除すると、音楽CDをセットしてもCDプレーヤーは自動起動しません。音楽CDをセットしてCDプレーヤーを自動起動させる場合は、CDプレーヤーを再追加してください。

対応するCD

音楽CD(オーディオCD)、Video CD(Ver1.1)/カラオケCD(Ver1.1)、Video CD(Ver2.0)、Photo CD、Photo CDポートフォリオ



DVDプレーヤ

このアプリケーションは、DVD-RAMモデル、DVD-ROMモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルにインストールされています。

概要

DVDプレーヤはDVD VIDEOディスクを再生するアプリケーションです。詳しくは、DVDプレーヤのヘルプをご覧ください。

ご利用時のご注意

再生できるメディアについて

市販のDVD VIDEOディスクのみ再生可能です。海外で購入されたDVD VIDEOディスクは、リージョン管理(ローカル番号2)により再生できないものがあります。音楽CD、ビデオCD、フォトCDを再生する場合は、プレーヤ-NXを使用してください。

省電力機能について

スタンバイ状態になるように設定していると、再生の途中で画像が途切れる場合があります。また、ディスプレイの省電力機能が働いた場合、画像が表示されなくなることがあります。「コントロールパネル」の「電源の管理」で「システムスタンバイ」と「モニタの電源を切る」の設定を「なし」にしてください。(ご購入時の設定では「なし」に設定されています。)

 **参照** ▶ 省電力機能(スタンバイ)の設定の変更 Windowsのヘルプ

キーボードから操作する

ワンタッチスタートボタン付きキーボードが添付されているモデルでは、DVDプレーヤの一部の機能をキーボードから操作することができます。

- 【▶▶】：再生が始まります。DVDプレーヤの▶▶ボタンと同じです。再生中に押すと一時停止します。
- 【▶▶▶】：押すと次のチャプターの先頭にスキップします。DVDプレーヤの▶▶▶ボタンと同じです。押し続けると早送りできます。DVDプレーヤの▶▶▶▶ボタンと同じです。
- 【◀◀】：押すと現在再生中のチャプターの先頭に戻ります。もう一度押すと、ひとつ前のチャプターの先頭にスキップします。DVDプレーヤの◀◀ボタンと同じです。押し続けると巻戻しできます。DVDプレーヤの◀◀▶▶ボタンと同じです。
- 【■】：再生を停止します。DVDプレーヤの■ボタンと同じです。

参照

ワンタッチスタートボタンについて 『活用ガイド』「PART1 本体の構成各部」「キーボード」の「ワンタッチスタートボタンについて」、およびワンタッチスタートボタンの設定のヘルプ



「ワンタッチスタートボタンの設定」画面のヘルプボタンをクリックするとヘルプが表示されます。



Easy CD Creator

このアプリケーションは、CD-R/RW with DVD-ROMモデル、CD-R/RWモデルのみに添付されています。

概要

Easy CD Creatorを利用すれば、さまざまなオリジナルCD-ROMを作成することができます。

- Easy CD Creatorで書き込んだCD-R/CD-RWメディアは、他のCD-ROMを利用できるパソコンでも利用することができます。他の人にCD-R/CD-RWメディアでデータを渡したい場合などに適しています。
- 書き込むためには、Easy CD Creatorを起動する必要があります。マイコンピュータやエクスプローラからは書き込みません。

 参照 Easy CD Creatorの使い方についての詳細は、ヘルプをご覧ください。

Easy CD Creator使用時の注意

- DirectCDでフォーマットしたCD-R/RWメディアに、Easy CD Creatorで書き込むことはできません。
- CD-R/CD-RWメディアにCD-R/RW with DVD-ROMドライブやCD-R/RWドライブの最高速度で書き込むためには、CD-R/CD-RWメディアが対応している必要があります。詳しくは、CD-R/CD-RWメディアの発売元にお問い合わせください。
- CD-R/CD-RWの書き込みには時間がかかる場合があります。CD-R/CD-RWへのデータ書き込み中に他のアプリケーションを使用したり、一定時間が経過すると動作するような常駐プログラム(スクリーンセーバやメール自動読み込み等)が原因で、書き込みエラーが発生する場合があります。書き込みエラーの発生を防ぐため、書き込みを始めるときは、他のアプリケーションを終了させ、スクリーンセーバや省電力の機能が働かないように、あらかじめ動作設定を無効にしておいてください。
- データを書き込んだCD-RWを他のパソコンのCD-ROMドライブで読み込む場合は、マルチリード対応のCD-ROMドライブでご使用願います。マルチリード対応CD-ROMドライブの確認は、各メーカーにご確認願います。

 **マルチリード対応のCD-ROMドライブ**

CD-RWは光の反射率が低いため、CD-RWメディアも読み出せるようにしたCD-ROMドライブのこと。



DirectCD

このアプリケーションは、CD-R/RW with DVD-ROMモデル、CD-R/RWモデルのみに添付されています。

DirectCDはご購入時の状態ではインストールされていません。ご利用になるときは「スタート」ボタン「NEC電子マニュアル」「NEC電子マニュアル」「アプリケーションの追加と削除」をご覧ください、インストールしてからご使用ください。

概要

- ・ フロッピーディスクなどに書き込むのと同じような感覚で、マイコンピュータやエクスプローラなどからCD-R/CD-RWメディアに書き込むことができます。アプリケーションから直接保存することもできます。ハードディスクのバックアップなどに適しています。
- ・ CD-R/CD-RWメディアをDirectCD用にフォーマットする必要があります。また、DirectCD用のCD-Rメディアを他のパソコンのCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブなどで読むためには、そのための処理が必要になります。
- ・ DirectCDの詳しい使い方についてはヘルプをご覧ください。

DirectCDを利用するときのご注意

- ・ Easy CD Creatorですでに書き込みを行ったCD-R/CD-RWメディアは、DirectCDでフォーマットすることはできません。
- ・ CD-R/CD-RWの書き込みには時間がかかる場合があります。CD-R/CD-RWへのデータ書き込み中に他のアプリケーションを使用したり、一定時間が経過すると動作するような常駐プログラム(スクリーンセーバやメール自動読み込み等)が原因で、書き込みエラーが発生する場合があります。書き込みエラーの発生を防ぐため、書き込みを始めるときは、他のアプリケーションを終了させ、スクリーンセーバや省電力の機能が働かないように、あらかじめ動作設定を無効にしておいてください。
- ・ データを書き込んだCD-RWを他のパソコンのCD-ROMドライブで読み込む場合は、マルチリード対応のCD-ROMドライブでご使用願います。マルチリード対応CD-ROMドライブの確認は、各メーカーにご確認願います。

マルチリード対応のCD-ROMドライブ

CD-RWは光の反射率が低いため、CD-RWメディアも読み出せるようにしたCD-ROMドライブのこと。

DirectCDを利用する

準備をする

DirectCDを利用するには、はじめて使用するCD-R/RWメディアには次のような処理が必要です。

- 1 未使用のCD-RまたはCD-RWメディアをCD-R/RW with DVD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブにセットする
セットしたときにCD-R/RW with DVD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブのウィンドウが自動的に開かれた場合は、 ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じてください。
- 2 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Adaptec DirectCD」の「DirectCDウィザード」をクリック
Adaptec DirectCDウィザードの画面が表示されます。

その後の操作は画面の指示に従って進めてください。

DirectCDで作成したメディアを他のパソコンで見られるようにする

DirectCDでフォーマットしたCD-Rメディアを他のパソコンにセットすると「Adaptecセットアップウィザード」の画面が表示されます。その後は、画面の指示に従ってください。

5

再セットアップするには

本機に添付されている「システムインストールディスク」や「バックアップCD-ROM」を使って、本機のシステムやアプリケーションを購入時の状態に復元する方法を説明しています。

この章の内容

再セットアップについて	118
購入時と同じ状態にする - 標準再セットアップモード	123
データを保護して再セットアップする	
- データ保護再セットアップモード	133
全領域を1パーティションにして再セットアップする	
- カスタムモード(特定用途向).....	137
Cドライブのみ再セットアップする	
- カスタムモード(特定用途向).....	140
ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする	
- カスタムモード(特定用途向).....	143



再セットアップについて

再セットアップを行うと、こわれてしまったパソコンのシステムを復旧することができます。ただし、ハードディスクに保存したファイルが消えてしまう場合があります。時間もかかる作業なので再セットアップが必要かどうかをよく確認してから始めてください。

再セットアップが必要になるとき

次のようなとき、パソコンの再セットアップが必要です。

- ・ 電源を入れても、電源ランプは点灯するが、Windowsが動作しない。
- ・ ハードディスクの中のプログラムが正常に動作しない。
- ・ ハードディスク内のシステムファイルを誤って消してしまった。
- ・ スキャンディスクを行っても修復できない。
- ・ セーフモードで起動しても問題が解決できない。
- ・ ハードディスクを1つのパーティションで利用したい。
- ・ Cドライブの容量を変えたい。

 **チェック!!** 購入時の状態ではこのパソコンはFAT32に設定されています。他のOSを利用したいときや、FAT16でのみ利用できるソフトウェアを利用したいときは、カスタムモードの「ユーザ設定」を実行してFAT16を選択してください。

再セットアップする前の注意

- ・ 再セットアップは途中でやめないでください。
再セットアップを始めたら、本書の手順通りに、最後まで行ってください。途中でやめた場合は、最初から再セットアップを行ってください。
- ・ 別売のアプリケーションは再セットアップ完了後にインストールを行ってください。
別売のアプリケーションも再セットアップによってすべて消去されます。再セットアップがすべて完了してから、インストールを行ってください。
- ・ ハードディスクのボリュームラベルを確認してください。
カスタムモードで再セットアップを行う場合、ハードディスクのボリュームラベルが全角文字または半角カタカナで入力されているときは、領域の削除ができません。
「マイコンピュータ」でハードディスクドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」で半角英数字に入力し直すかボリュームラベルを削除してください。
Windows が起動しない場合は、「起動ディスク」を使って本機を起動し、コマンドプロンプトから以下のように入力してボリュームラベルを変更してください。
C:¥WINDOWS¥COMMAND¥LABEL ドライブ名 :【Enter】

再セットアップの準備

- ✓ **チェック!!** 大切なデータは、再セットアップする前にバックアップをとってください。ただし、Windows が起動しない状態や、ハードディスクドライブに深刻な障害が発生している場合は、バックアップできない場合があります。再セットアップをするには、まず次の手順を行ってください。

1 バックアップをとる

「バックアップCD-ROM」で再セットアップできるのは、このパソコンに購入時から入っていたソフトウェアだけです。標準再セットアップモードやカスタムモードでは、購入後に保存したファイルや、インストールしたアプリケーションは復元されません。データ保護再セットアップモードでも、復元されない場合があります。Windows が起動できる状態で再セットアップを行いたいときは、必ず大切なデータのバックアップをとってから再セットアップを行ってください。大量のデータのバックアップをとる場合には、CD-R やCD-RW などを使用すると便利です。

2 パソコンの設定を控える

再セットアップを行うと、インターネットやネットワークの設定などすべて購入時の状態に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定に戻すために、インターネットやネットワークの設定を控えてください。

3 別売の周辺機器を取り外す

マニュアルの『はじめにお読みください』に従って、このパソコンに付属していた機器のみを接続した状態にしてください。増設機器が接続されたまま再セットアップを行うと正常に動作しなくなる場合があります。ハードディスクを増設している場合は、増設したハードディスクを取り外してから再セットアップを行ってください(ハードディスクを増設したまま再セットアップを行うと、増設したハードディスクの内容も失われる場合があります)。

4 必要なものを準備する

再セットアップの作業に入る前に、このパソコンに添付されている、次のCD-ROM、フロッピーディスクを準備してください。

「バックアップCD-ROM」

「システムインストールディスク」

「Office 2000 Personal」CD-ROM(Office 2000 モデルの場合)

メモ

準備するものは、再セットアップ中に表示される「再セットアップの準備」の画面で確認して、すべて準備するようにしてください。

また、本機購入後にインストールしたアプリケーションを、再セットアップを行った後も使用する場合は、そのアプリケーションのインストール用のディスクが必要です。

これで再セットアップの準備は完了しました。次に「再セットアップ」の説明をご覧ください。再セットアップを行ってください。

再セットアップ

再セットアップには、「標準再セットアップモード」と「データ保護再セットアップモード」と「カスタムモード」の3つがあります。「カスタムモード」については、さらに3つのパターンに分かれています。ここでは、以下の5つのパターンに分けた再セットアップの手順をCD-R/RW with DVD-ROM モデルを例に説明します。それぞれ行う再セットアップ方法を選択してください。他のモデルでも同様の手順で再セットアップができますが、「バックアップCD-ROM」をセットするドライブについては、ご購入のモデルにより標準で搭載されているDVD-RAM ドライブ、DVD-ROM ドライブ、CD-R/RW ドライブ、CD-ROM ドライブになります。

標準再セットアップモード(P.123)

ハードディスクを購入したときと同じ状態に戻します。ハードディスクについての知識のない方は、この方法で再セットアップすることをおすすめします。

データ保護再セットアップモード(P.133)

バックアップ-NX を使って設定したデータを残したまま再セットアップします。Windows が起動しない場合は、この方法で再セットアップすることをおすすめします。

カスタムモード

全領域を1パーティションにして再セットアップする(P.137)

Dドライブを作成しないですべての領域をCドライブにして再セットアップします。Cドライブのハードディスク容量を最大にすることができます。

Cドライブのみを再セットアップする(P.140)

Cドライブの容量を変更しないで、Cドライブのみを再セットアップするときに、この方法で再セットアップします。Cドライブ以外のハードディスクのデータを保存しておくことができます。

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(ユーザ設定)(P.143)

FDISKコマンドを使って、ハードディスクの領域を変更して再セットアップすることができます。Dドライブのハードディスク容量を変更したいときはこの方法で再セットアップします。



購入時と同じ状態にする - 標準再セットアップモード

「標準再セットアップ」を行うと、パソコンを購入時と同じ状態に戻すことができます。

標準再セットアップの手順

標準再セットアップは次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

- 1 「再セットアップの準備」の手順1～4を行う(P.120)
- 2 システムを再セットアップする(約40分)
- 3 Windowsの設定をする(約10分)
- 4 Office 2000モデルの場合は、Office 2000 Personalを再セットアップする(約30分)
- 5 別売の周辺機器を取り付けて設定をやり直す
- 6 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
- 7 本機を購入後にインストールしたアプリケーションを再インストールする



チェック!!

再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときは、最初からやり直してください。

1. 「再セットアップの準備」の手順1~4を行う(P.120)

データのバックアップや、パソコンの設定を控えてください。また、周辺機器は取り外してください。

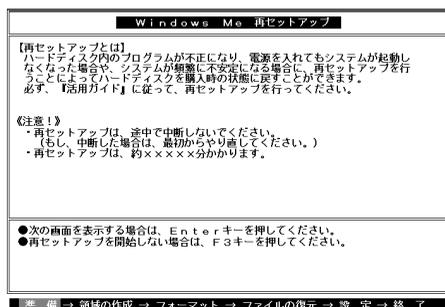
ハードディスクを増設している場合は、増設したハードディスクを取り外してから再セットアップを行ってください(ハードディスクを増設したまま再セットアップを行うと、増設したハードディスクの内容も失われる場合があります)。

2. システムを再セットアップする

再セットアップは、ハードディスクのCドライブに対して行われます。

1 本機の電源を入れる

2 電源ランプがいたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする 次の画面が表示されます。



メモ

再セットアップにかかる時間は、この画面で確認してください。

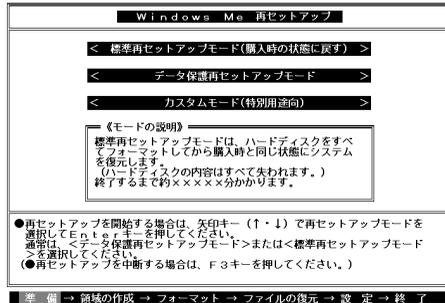
「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

「Invalid system disk Replace the disk. ...」と表示された場合は、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、何かキーを押してください。

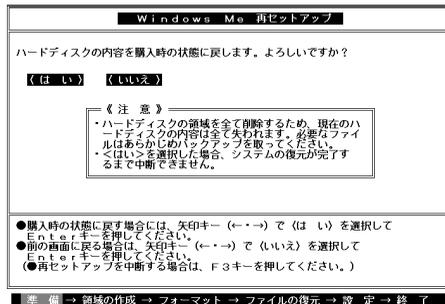
3 CD-R/RW with DVD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

4 【Enter】を押す 「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

5 【Enter】を押す



6 「標準再セットアップモード(購入時の状態に戻す)」を選択し、【Enter】を押す 「ハードディスクの内容を購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。



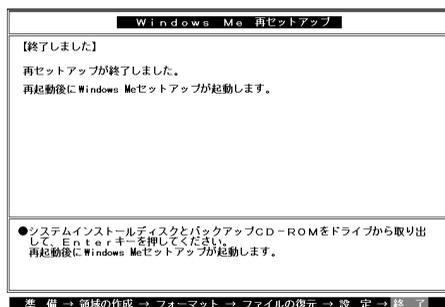
7 「はい」を選択し、【Enter】を押す

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが始まります。

途中でフロッピーディスクやCD-ROM を入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。

- ☑ **チェック!!**
- ・ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。
 - ・再セットアップ中に数回ピーブ音が鳴りますが、問題ないので無視してください。
 - ・「再セットアップが終了しました」というメッセージが画面に表示されなかったときは、再セットアップは正常に行われていません。はじめからやり直してください。

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



- ☑ **チェック!!** この画面が表示されなかったときは、再セットアップは正常に行われていません。はじめからやり直してください。

8 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す

9 CD-R/RW with DVD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

10 【Enter】を押す

Windows が再起動し、しばらくすると「Microsoft Windows へようこそ」が表示されます。



3. Windowsの設定をする

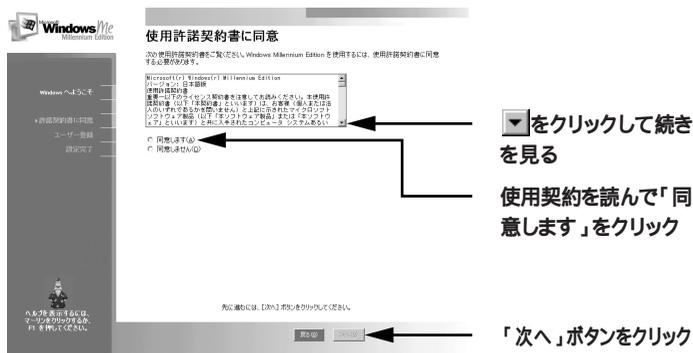
ここで行う操作は、はじめてこのパソコンを使ったときに行ったWindowsのセットアップ(『はじめにお読みください』)と同じ操作です。

1 「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

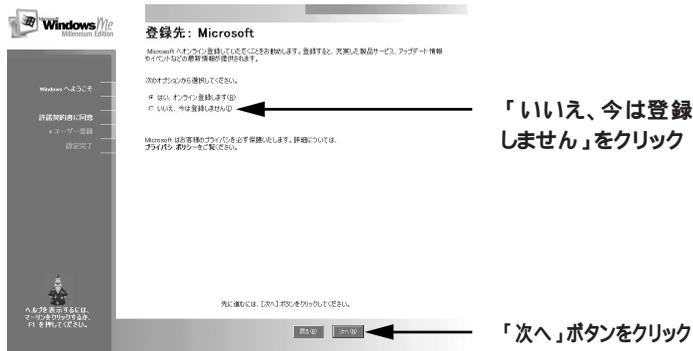


「次へ」ボタンをクリック

2 「使用許諾契約書に同意」の画面を確認する 内容をよくお読みの上、次に進んでください。



3 「登録先: Microsoft」の画面が表示されたら、「いいえ、今は登録 しません」を選択して、「次へ」ボタンをクリック



4. Office 2000モデルの場合はOffice 2000 Personalを再セットアップする

Office 2000 Personalの再セットアップ

1 「Office 2000 Personal CD-ROM」をCD-R/RW with DVD-ROMドライブにセットする

「Microsoft Office 2000 へようこそ」ウィンドウが表示されます。



「Microsoft Office 2000へようこそ」ウィンドウが自動表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックし「CD-ROM」アイコンをダブルクリックしてください。

2 「ユーザ情報(ユーザ名、頭文字、所属、CDキー)」を入力する ここで必要であれば、ユーザ名やその他の項目を入力し直してください。なお、CDキー(Ooffice 2000 Personal のCD-ROM ケースに貼付)をここで入力すると、Office 2000 アプリケーションを最初に起動したときのCDキーの入力作業が必要なくなります。

3 「次へ」をクリック

「Microsoft Office 2000 使用許諾とサポート情報」ウィンドウが表示されます。

4 「「使用許諾契約書」の条項に同意します」のをクリックして、にする

5 「次へ」をクリック

「Microsoft Office 2000 インストールの準備」ウィンドウが表示されます。

6 (カスタマイズ)をクリック

「Office 2000 を以下の場所にインストールします」と表示されます。

7 インストール先が「c:\Program Files\Microsoft Office\」になっていることを確認して「次へ」をクリック

「Microsoft Office 2000 :機能の選択」ウィンドウが表示されます。

8 Microsoft Office」をクリック プルダウンメニューが表示されます。

- 9 「マイコンピュータからすべて実行」をクリック
- 10 灰色で表示されたフォルダがないことを確認して、「完了」をクリック
Microsoft Office 2000 のインストールが始まります。しばらくお待ちください。インストールが終了すると「インストーラ情報」ウィンドウが表示されます。
- 11 「はい」ボタンをクリック
Windows が再起動します。
- 12 CD-R/RW with DVD-ROMドライブから、「Office 2000 Personal CD-ROM」を取り出す

以上で、Office 2000 Personal の再セットアップは終了です。

5. 別売の周辺機器を取り付けて設定をやり直す

「再セットアップの準備 (P.120) の手順3「別売の周辺機器を取り外す」で取り外した別売の周辺機器を取り付けて、それぞれのセットアップ、設定を行ってください。複数の周辺機器を取り付ける場合は、一度にすべての周辺機器を取り付けずに、1つずつ取り付け、設定をしてください。

参照 周辺機器の設定 「PART2 周辺機器を利用する (P.61) 周辺機器のマニュアル

6. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す

パソコン購入後に行った設定は、再セットアップによってすべて購入時の状態になっているので、設定し直してください。
インターネットを使っているときは、「再セットアップの準備 (P.120) の手順2「パソコンの設定を控える」で控えたメモの設定に戻してください。IDやアドレスはすでに取得しているものを使えます。サインアップをやり直す必要はありません。
ワンタッチスタートボタンの設定も購入時の状態に戻っていますので、再設定してください。

7. 購入後にインストールしたアプリケーションを再インストールする
パソコン購入後にインストールしたアプリケーションも消去されているので、ご利用になる場合には、インストールし直してください。

データを保護して再セットアップする - データ保護再セットアップモード

Windowsが起動しない場合に再セットアップするときや、データを保護して再セットアップしたいときは、この方法で行います。

データ保護再セットアップを行う際の注意

- ・ データ保護再セットアップでは、次のものは保護されません。
 - ・ インターネットの設定
セットアップ終了後に設定し直してください。
- ・ データ保護再セットアップでは、次のものはバックアップ・NX で設定しない場合保護されません。
 - ・ このパソコンに添付されているアプリケーションのデータ
 - ・ Outlook Express のアドレス帳

その他データ保護再セットアップについては、付録をご覧ください。

データ保護再セットアップの手順

次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書きおきます。参考にしてください。

再セットアップを始めたら途中でやめしないで、必ず手順通り最後まで行ってください。

- 1 バックアップをとる
- 2 「再セットアップの準備」の手順2～4を行う(P.120)
- 3 システムを再セットアップする(約50分)
- 4 Windowsの設定をする(約10分)
- 5 Office 2000モデルの場合は、Office 2000 Personalを再セットアップする(約30分)
- 6 別売の周辺機器を取り付けて設定をやり直す

7 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す

8 本機を購入後にインストールしたアプリケーションを再インストールする

1. バックアップをとる

「データ保護再セットアップ」では、バックアップ-NX で設定したデータを保護したまま再セットアップします。

保護しておきたいデータは、バックアップ-NX を使ってバックアップをとっておきましょう。「データ保護バックアップ」ではデータの保証はしていません。大切なデータは必ず別にバックアップをとってから再セットアップを行ってください。

 バックアップ-NX 「PART4 アプリケーションご利用時のご注意」バックアップ-NX」

2. 「再セットアップの準備」の手順2～4を行う(P.120)

パソコンの設定を控えて、周辺機器は取り外してください。

ハードディスクを増設している場合は、増設したハードディスクを取り外してから再セットアップを行ってください(ハードディスクを増設したまま再セットアップを行うと、増設したハードディスクの内容も失われる場合があります)。

3. システムを再セットアップする

1 パソコン本体の電源を入れる

2 電源ランプがついたらすぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする 「再セットアップとは」の画面が表示されます。

メモ

再セットアップにかかる時間は、この画面で確認してください。

「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面が表示されません。その場合はディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。「Invalid system disk ...」と表示されたときは、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、【Enter】などのキーを押してください。

- 3 【Enter】を押す
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。
 - 4 【Enter】を押す
再セットアップモードを選択する画面が表示されます。
 - 5 「データ保護再セットアップモード」を選択し、【Enter】を押す
 - 6 【Enter】を押す
Cドライブの内容から、バックアップ-NXで設定されているデータを残して、その他のファイルを削除し、システムを復元します。
 - 7 CD-R/RW with DVD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする
 - 8 「はい」を選択し、【Enter】を押す
「しばらくお待ちください」と表示されます。
不要なファイルの削除とシステムの再セットアップが始まります。
途中で、フロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。
システムの再セットアップまで終わると「終了しました」の画面が表示されます。
- ✔ **チェック!!** 不要なファイルの削除とシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり電源スイッチを押したりしないでください。
再セットアップ中に数回ピープ音(ピーという音)が鳴りますが、問題ないので無視してください。
- 9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す
 - 10 CD-R/RW with DVD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

11 【Enter】を押す

システムが再起動し、しばらくすると「Microsoft Windows へようこそ」ウィンドウが表示されます。

これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「購入時と同じ状態にする - 標準再セットアップモード」の「3.Windows の設定をする (P.127)」に進んで、その後の操作を行ってください。

-  **チェック!!** 再セットアップの作業は、これで終わりではありません。必ず「購入時と同じ状態にする - 標準再セットアップモード」の「3.Windows の設定をする」(P.127)以降の操作を行ってください。



全領域を1パーティションにして再セットアップする - カスタムモード

ハードディスクの領域を1つのドライブとして作成したいときは、この方法で行います。

「全領域を1パーティションにして再セットアップする」の手順

次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書きおきます。参考にしてください。

再セットアップを始めたらず途中でやめしないで、必ず手順通り最後まで行ってください。

- 1 「再セットアップの準備」の手順1～4を行う(P.120)
- 2 システムを再セットアップする(約50分)
- 3 Windowsの設定をする(約10分)
- 4 Office 2000モデルの場合は、Office 2000 Personalを再セットアップする(約30分)
- 5 別売の周辺機器を取り付けて設定をやり直す
- 6 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
- 7 本機を購入後にインストールしたアプリケーションを再インストールする

1. 「再セットアップの準備」の手順1～4を行う(P.120)

データのバックアップやパソコンの設定を控えてください。また、周辺機器は取り外してください。

ハードディスクを増設している場合は、増設したハードディスクを取り外してから再セットアップを行ってください(ハードディスクを増設したまま再セットアップを行うと、増設したハードディスクの内容も失われる場合があります)。

2. システムを再セットアップする

- 1 パソコン本体の電源を入れる
- 2 電源ランプがついたらすぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする
「再セットアップとは」の画面が表示されます。

メモ

再セットアップにかかる時間は、この画面で確認してください。
「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面が表示されません。その場合はディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

「Invalid system disk ...」と表示されたときは、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、【Enter】などのキーを押してください。

- 3 【Enter】を押す
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。
- 4 【Enter】を押す
再セットアップモードを選択する画面が表示されます。
- 5 「カスタムモード(特別用途向)」を選択し、【Enter】を押す
カスタムモードが表示されます。
- 6 「全領域を1パーティションにして再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す
「ハードディスクの領域を下記のように設定し、システムを購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。
- 7 CD-R/RW with DVD-ROM ドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

- 8** 「はい」を選択し、【Enter】を押す
「ハードディスクの領域作成中です。」と表示されます。
ハードディスクの領域作成とシステムの再セットアップが始まります。
途中で、フロッピーディスクやCD-ROM を入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。
システムの再セットアップまで終わると「終了しました」の画面が表示されます。

 **チェック!!** ハードディスクの領域の作成とシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり電源スイッチを押したりしないでください。
再セットアップ中に数回ピーブ音(ビーという音)が鳴りますが、問題ないので無視してください。

- 9** フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す

- 10** CD-R/RW with DVD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

- 11** 【Enter】を押す
Windows が再起動し、しばらくすると「Microsoft Windows へようこそ」ウィンドウが表示されます。
これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「購入時と同じ状態にする - 標準再セットアップモード」の「3.Windows の設定をする (P.127)に進んで、その後の操作を行ってください。

 **チェック!!** 再セットアップの作業は、これで終わりではありません。必ず「購入時と同じ状態にする - 標準再セットアップモード」の「3.Windows の設定をする」(P.127)以降の操作を行ってください。



Cドライブのみ再セットアップする - カスタムモード

Cドライブのみを再セットアップします。Dドライブ以降のデータはそのままなので、Cドライブだけを再セットアップしたい場合にこの方法で再セットアップしてください。ただし、この方法では、Cドライブの容量を変えられません。

「Cドライブのみを再セットアップする」の手順

次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書きおきます。参考にしてください。

再セットアップを始めたらず途中でやめしないで、必ず手順通り最後まで行ってください。

-  **チェック!!** この方法では、Cドライブにあるシステムやアプリケーション、データもすべて削除されます。再セットアップする前に、必要なデータなどは必ずバックアップをとってください。

- 1 「再セットアップの準備」の手順1～4を行う(P.120)
- 2 システムを再セットアップする(約50分)
- 3 Windowsの設定をする(約10分)
- 4 Office 2000モデルの場合は、Office 2000 Personalを再セットアップする(約30分)
- 5 別売の周辺機器を取り付けて設定をやり直す
- 6 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
- 7 本機を購入後にインストールしたアプリケーションを再インストールする

-  **チェック!!** Cドライブのみの再セットアップを行った場合、Cドライブ以外のハードディスクにインストールしていたアプリケーションがそのまま残っていたとしても、そのアプリケーションがうまく動作しないことがあります。この場合、再セットアップ後にそのアプリケーションの再インストールも行ってください。

1. 「再セットアップの準備」の手順1~4を行う(P.120)

データのバックアップやパソコンの設定を控えてください。また、周辺機器は取り外してください。

ハードディスクを増設している場合は、増設したハードディスクを取り外してから再セットアップを行ってください。ハードディスクを増設したまま再セットアップを行うと、増設したハードディスクの内容も失われる場合があります。

2. システムを再セットアップする

1 パソコン本体の電源を入れる

2 電源ランプがついたらすぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする 「再セットアップとは」の画面が表示されます。

メモ

再セットアップにかかる時間は、この画面で確認してください。

「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面が表示されません。その場合はディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

「Invalid system disk ...」と表示されたときは、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、【Enter】などのキーを押してください。

3 【Enter】を押す

「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

4 【Enter】を押す

再セットアップモードを選択する画面が表示されます。

5 「カスタムモード(特別用途向)」を選択し、【Enter】を押す カスタムモードが表示されます。

6 「Cドライブのみ再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す 「Cドライブの内容を消去し、システムを購入時の状態に戻します。 よろしいですか?」と表示されます。

7 CD-R/RW with DVD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

8 「はい」を選択し、【Enter】を押す
システムの再セットアップが始まります。
途中で、フロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。
システムの再セットアップまで終わると「終了しました」の画面が表示されます。

✓チェック!! ハードディスクのフォーマットとシステムの復元中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり電源スイッチを押したりしないでください。
再セットアップ中に数回ピープ音(ビーという音)が鳴りますが、問題ないので無視してください。

9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す

10 CD-R/RW with DVD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

11 【Enter】を押す
Windows が再起動し、しばらくすると「Microsoft Windows へようこそ」ウィンドウが表示されます。
これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「購入時と同じ状態にする - 標準再セットアップモード」の「3.Windows の設定をする (P.127)に進んで、その後の操作を行ってください。

✓チェック!! 再セットアップの作業は、これで終わりではありません。必ず「購入時と同じ状態にする - 標準再セットアップモード」の「3.Windows の設定をする」(P.127)以降の操作を行ってください。

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする - カスタムモード

Cドライブのハードディスク領域を自由に変えたいときは、ユーザ設定で行います。初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方は、この方法で再セットアップしないでください。

✓チェック!! ここに掲載されている画面は、機種によって、実際に表示されている画面と異なることがあります。

ユーザ設定の手順

次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いております。参考にしてください。

再セットアップを始めたら途中でやめしないで、必ず手順通り最後まで行ってください。

1 「再セットアップの準備」の手順1～4を行う(P.120)

2 領域を削除する(約5分)

✓チェック!! ハードディスクのボリュームラベルが全角文字または半角カタカナで入力されているときは、領域の削除ができません。「マイコンピュータ」でハードディスクドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」で半角英数字に入力し直すか、ボリュームラベルを削除してください。

3 領域を作成する(約5分)

4 ドライブを初期化(フォーマット)する(約5～15分)

5 システムを再セットアップする(約50分)

6 Windowsの設定をする(約10分)

7 Office 2000モデルの場合は、Office 2000 Personalを再セットアップする(約30分)

- 8** フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする
- 9** 別売の周辺機器を取り付けて設定をやり直す
- 10** 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
- 11** 本機購入後にインストールしたアプリケーションを再インストールする

再セットアップ前に知っておきたいこと

基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域

カスタム再セットアップでは、カスタム再セットアップの画面からFDISKというコマンドを実行して、まずハードディスクの領域を削除し作り直します。

ハードディスクを基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域に分け、さらに、拡張MS-DOS領域を論理MS-DOS領域に分けます。基本MS-DOS領域がCドライブ(Windowsを起動するドライブ)になり、論理MS-DOSドライブがD以降のドライブになります。

ハードディスクの領域



領域の削除は、論理MS-DOSドライブ 拡張MS-DOS領域 基本MS-DOS領域の順に削除してください。領域の作成は、逆に基本MS-DOS領域 拡張MS-DOS領域 論理MS-DOSドライブの順で作成してください。

領域を作った後、カスタム再セットアップの画面からFORMATコマンドを実行してそれぞれのドライブをフォーマットします。



基本MS-DOS領域

起動することができるドライブです。Cドライブが割り当てられ、ここにWindowsをインストールします。1つのハードディスクに1つしか作成できません。

拡張MS-DOS領域

基本MS-DOS領域以外のMS-DOS領域です。ここから起動することはできません。1つのハードディスクに1つしか作成できません。この中に論理MS-DOSドライブ(Dドライブ以降のドライブ)を割り当てます。

論理MS-DOSドライブ

拡張MS-DOS領域の中に作ります。Dドライブ以降の複数のドライブを作成することができます。

FAT32ファイルシステムとFAT16ファイルシステム

このパソコンはご購入時の状態では、FAT32ファイルシステムと呼ばれるファイルの管理方法を使って次のようにハードディスクの領域が作成されています。

ハードディスク総容量	Cドライブ	Dドライブ
約30Gバイトの場合	約26Gバイト (FAT32ファイルシステム)	残りの容量(FAT32ファイルシステム) モデルによってDドライブの領域は異なります

ハードディスクの管理方法にはFAT32ファイルシステムとFAT16ファイルシステムの2つがあります。Windows Meではどちらでも利用できます。「ユーザ設定」の方法を使うと、再セットアップ中にFAT32ファイルシステムにするかFAT16ファイルシステムにするかを選択することができます。どちらのファイルシステムを利用すればいいのか、次の注意を参考にしてください。

FAT16ファイルシステムを利用するときのご注意

- ハードディスクの領域は最大2,047Mバイトまでしか作成できません。
- 2,048Mバイト以上の領域は、FAT32ファイルシステムで作成する必要があります。
- Windows上で「ドライブコンバータ」を利用すると、FAT32ファイルシステムに切り替えることができます。

- ・ハードディスクの領域が512M バイトより小さいと自動的にFAT16 ファイルシステムが選択されます。
- ・「ドライブスペース」を利用することができます。

FAT32ファイルシステムを利用するときのご注意

- ・ハードディスクの領域は512M バイトから2,047G バイトまで作成できます。512M バイトより小さいと自動的にFAT16 ファイルシステムが選択されます。
- ・「ドライブスペース」を利用してドライブを圧縮することはできません。
- ・アプリケーションによってはFAT32ファイルシステムでは正常に動作しないものがあります。

1. 「再セットアップの準備」の手順1~4を行う(P.120)

データのバックアップやパソコンの設定を控えてください。また、周辺機器は取り外してください。

ハードディスクを増設している場合は、取り外してから再セットアップを行ってください(ハードディスクを増設したまま再セットアップを行うと、増設したハードディスクの内容も失われる場合があります)。

2. 領域を削除する

ハードディスクの領域を削除します。

1 パソコン本体の電源を入れる

2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする 「再セットアップとは」の画面が表示されます。

メモ

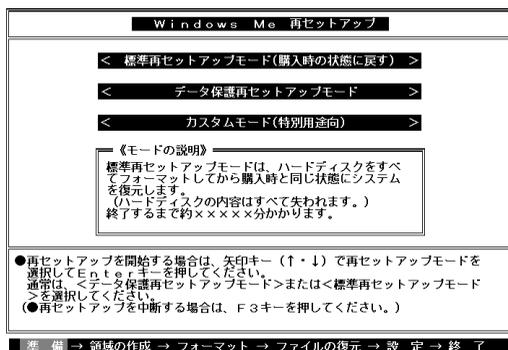
再セットアップにかかる時間は、この画面で確認してください。

「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1 からやり直してください。

「Invalid system disk ...」と表示されたときは、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、【Enter】などのキーを押してください。

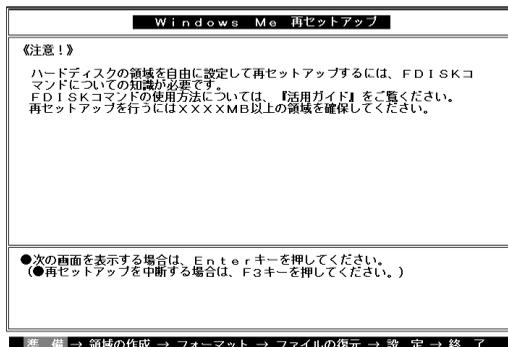
3 【Enter】を押す
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

4 【Enter】を押す
再セットアップモードを選択する画面が表示されます。



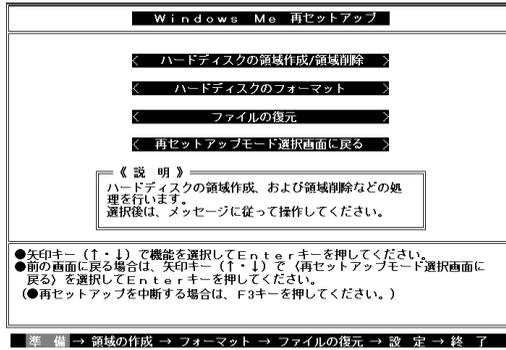
5 「カスタムモード(特別用途向)」を選択し、【Enter】を押す
カスタムモードが表示されます。

6 「ユーザ設定」を選択し、【Enter】を押す
「注意!」の画面が表示されます。

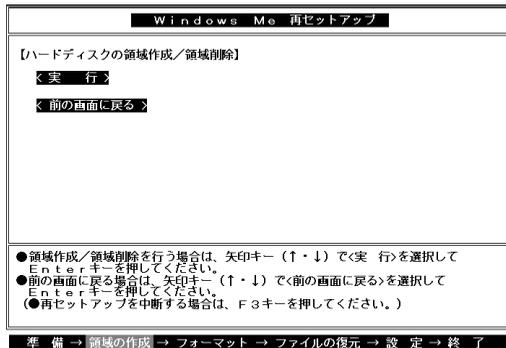


👉 **チェック!!** ハードディスクの最低必要量が表示されていますので、書き留めて「3. 領域を作成する」で基本MS-DOS領域(ドライブ)を作成するときの参考にしてください。

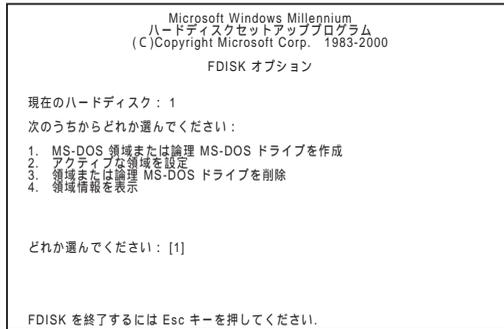
7 【Enter】を押す 次の画面が表示されます。



8 「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」を選択し、【Enter】を押す 「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」の画面が表示されます。



9 「実行」を選択し、【Enter】を押す FDISKオプションの画面が表示されます。



ハードディスクに基本MS-DOS 領域しかないとき(Cドライブのみの場合)は、「基本MS-DOS 領域を削除する (P.152)に進んでください。

ハードディスクに論理MS-DOS ドライブ、および拡張MS-DOS 領域があるときは、次の「論理MS-DOS ドライブを削除する」に進んでください。

論理MS-DOS ドライブを削除する

10 【3】領域または論理MS-DOS ドライブを削除)を押し、【Enter】を押す

11 【3】拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOS ドライブを削除)を押し、【Enter】を押す
ドライブの一覧が表示され、「どのドライブを削除しますか」と表示されます。

12 削除するドライブのキーを押す(Dドライブを削除するときは【D】を押す)【Enter】を押す
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。

- 13** 削除する領域にボリュームラベル(ドライブの名前)がつけられているときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】を押す
削除する領域にボリュームラベルがつけられていないときは、そのまま【Enter】を押す
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。
- 14** 【Y】を押し、【Enter】を押す
削除されたドライブのところに「ドライブを削除しました。」と表示されます。
- 15** 残りのドライブがあるときは残りのドライブもすべて12~14の手順で削除する
すべてのドライブが削除されると「拡張MS-DOS領域の論理ドライブはすべて削除されました。」と表示されます。
- 16** 【Esc】を押す
「論理ドライブは定義されていません。ドライブ名は変更または削除されました。」と表示されます。
- 17** 【Esc】を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

拡張MS-DOS領域を削除する

- 18** 【3】領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押し、【Enter】を押す
- 19** 【2】拡張MS-DOS領域を削除)を押し、【Enter】を押す
「削除した拡張MS-DOS領域のデータはなくなります。続けますか(Y/N)」と表示されます。
- 20** 【Y】を押し、【Enter】を押す
「拡張MS-DOS領域を削除しました。」と表示されます。
- 21** 【Esc】を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

基本MS-DOS領域を削除する

- 22** 【3】領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押し、【Enter】を押す
- 23** 【1】基本MS-DOS領域を削除)を押し、【Enter】を押す
現在のハードディスクの状態が表示され、「削除した基本MS-DOS領域のデータはなくなります。どの基本領域を削除しますか」と表示されます。
- 24** 【1】になっているのを確認し、【Enter】を押す
「ボリュームラベルを入力してください。」と表示されます。
- 25** 「WINDOWSME」と入力し、【Enter】を押す
別のボリュームラベルがつけられているときには、その名前を入力してください。
ボリュームラベルがつけられていないときには、何も入力しないでそのまま【Enter】を押してください。
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。
- 26** 【Y】を押し、【Enter】を押す
「基本MS-DOS領域を削除しました。」と表示されます。
- 27** 【Esc】を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

3. 領域を作成する

領域を削除したら、新しく領域を作成してください。削除した領域の容量を合計した範囲の中で、新しい領域を確保します。

領域の分け方の例

6Gバイトのハードディスクで、基本MS-DOS 領域を3Gバイトにして、残りの拡張MS-DOS 領域を2Gバイト、約1Gバイトの論理MS-DOS ドライブにする。

6Gバイトのハードディスク		
基本MS-DOS領域 (FAT32)	拡張MS-DOS領域	
Cドライブ 3Gバイト	論理MS-DOS ドライブ(FAT32) Dドライブ 2Gバイト	論理MS-DOS ドライブ(FAT16) Eドライブ 約1Gバイト

基本MS-DOS領域を作成する

- 1 「FDISKオプション」の画面で「どれか選んでください:」の右に「1 (MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成)」が表示されるので、【Enter】を押す
- 2 「どれか選んでください:」の右に「1 (基本MS-DOS領域を作成)」が表示されるので、【Enter】を押す
ドライブがチェックされた後、「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますが(同時にその領域をアクティブにします。【Y/N】)」と表示されます。
 - (a)最大サイズの領域を作成したいとき
ハードディスクの領域を分けずに1つの領域にする場合には、次の操作をしてください。
 - (1)【Y】になっているのを確認し、【Enter】を押す
ドライブがチェックされた後、「ドライブのサイズが2048MB以上あります。このドライブは、FAT32です。」と表示されます。
 - (2)【Esc】を押す
「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください。」と表示されます。
 - (3)【Esc】を押す
「拡張MS-DOS領域が作成されていません。拡張MS-DOS領域を作成しますか?」と表示されたときは、<いいえ>を選択し、【Enter】を押してください。
「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示されます。
 - (4)【Enter】を押す
パソコンが自動的に再起動します。
「Windows Me 再セットアップ」の画面が表示されます。
これで領域は作成されました。「4. ドライブを初期化(フォーマット)する (P.158)」に進んでください。

(b) サイズを指定して領域を作成したいとき

(1) 【N】を押し、【Enter】を押す

ドライブがチェックされた後、「領域のサイズをMバイトが全体に対する割合(%)で入力してください。基本MS-DOS領域を作ります。」と表示されます。

(2) 必要な空き容量以上の数値(領域のサイズ、Mバイト単位)を入力して【Enter】を押す

例えば、6 Gバイトのモデルで3,072M バイトの領域を確保するときは、【3】【0】【7】【2】【Enter】の順にキーを押します(全体に対する割合で入力することもできます。例えば、6Gバイトモデルで3Gバイトの領域を確保するときは、【5】【0】【%】【Enter】の順にキーを押します)。



チェック!!

- ・「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか(Y/N)」と表示された場合(指定領域が512~2,047Mバイトの場合)は、FAT32にするときはNを、FAT16にするときにはYを選択して【Enter】を押してください。
- ・「ドライブのサイズが2048MB以上あります。このドライブはFAT32です。」と表示されたときは、【Esc】を押します。自動的にFAT32に設定されます。

(3) 【Esc】を押す

「基本MS-DOS 領域を作成しました」と表示されます。

(4) 【Esc】を押す

「FDISKオプション」の画面に戻ります。

(5) 【2】【アクティブな領域を設定】を押し、【Enter】を押す

「アクティブにしたい領域の番号を入力してください。」と表示されます。

(6) 【1】を押し、【Enter】を押す

「領域1がアクティブになりました。」と表示されます。

(7) 【Esc】を押す

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

次に拡張MS-DOS 領域と論理MS-DOS ドライブを作成します。

拡張MS-DOS領域を作成する

- 3 「**どれか選んでください:**」の右に「1 (MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成)」が表示されているのを確認し、**【Enter】**を押す
- 4 **【2】拡張MS-DOS領域を作成**)を押し、**【Enter】**を押す
ドライブがチェックされた後、「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合 (%)」で入力してください、拡張MS-DOS領域を作ります」と表示され、残っている領域のサイズが表示されます。
- 5 そのまま**【Enter】**を押す
「拡張MS-DOS領域を作成しました。」と表示されます。
- 6 **【Esc】**を押す
ドライブがチェックされた後、「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合 (%)」で入力してください。」と表示されます。

論理MS-DOSドライブを割り当てる

- 7 論理MS-DOSドライブに最大サイズを割り当てたいときは、そのまま**【Enter】**を押す
サイズを指定するときは、数字を入力して**【Enter】**を押す
 - ・ 指定したサイズが2,048Mバイト以上の場合
「ドライブのサイズが2,048MB以上あります。このドライブはFAT32です。」と表示され、自動的にFAT32に設定されています。
【Esc】を押します
 - ・ 指定したサイズが512Mバイト以上で2,047Mバイト以下の場合「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか(Y/N)?」と表示されます。
FAT16にする場合は**【Y】**を押し、**【Enter】**を押します。
FAT32にする場合は**【N】**を押し、**【Enter】**を押します。

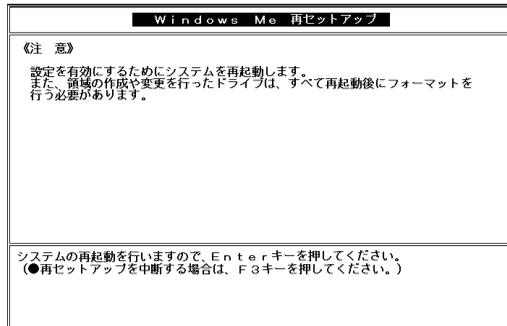
 **チェック!** 「このドライブはFAT16です。FAT32には小さすぎます。」と表示されたときは、**【Esc】**を押してください。自動的にFAT16に設定されます。

- ・ 指定したサイズが512Mバイトより少ない場合
「このドライブはFAT16が標準設定になっています。FAT32に変更しますが(Y/N)?」と表示されます。
【N】になっているのを確認し、【Enter】を押します。自動的にFAT16に設定されます。

割り当てられていない拡張MS-DOS領域がまだ残っているときは、「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。

手順7を繰り返して、すべての拡張MS-DOS領域を拡張MS-DOS領域に割り当ててください。

- 8 すべての領域を割り当てたら、【Esc】を押す
- 9 「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられます。」と表示されるので【Esc】を押す
「FDISKオプション」の画面に戻ります。
- 10 【Esc】を押す
「変更を有効にするにはコンピュータを再起動してください」と表示されます。
- 11 【Esc】を押す
「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示されます。



12 【Enter】を押す

パソコンが自動的に再起動します。

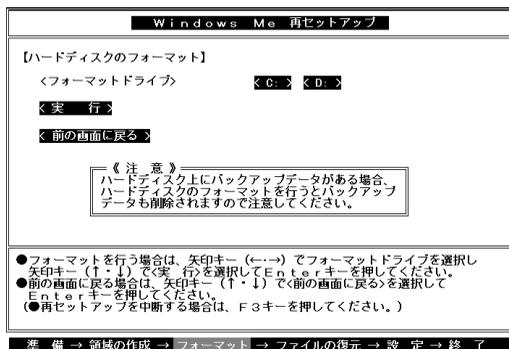
「Windows Me 再セットアップ」の画面が表示されます。

これで領域が作成されました。次の「ドライブを初期化(フォーマット)する」に進んでください。

4. ドライブを初期化(フォーマット)する

新しく作成した領域は、フォーマットする必要があります。

1 「ハードディスクのフォーマット」を選択し、【Enter】を押す



メモ

ボリュームラベルは、ドライブの名前です。「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で表示されます。後で「マイコンピュータ」でドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」を選択すると全般シートで入力、変更することができます。

2 「C:」が黄色になっているので、【Enter】を押す

「注意:ドライブC:のハードディスクのデータはすべてなくなり、フォーマットしますか(Y/N)?」と表示されます。



チェック!! 「システムインストールディスク(起動用)」はフロッピーディスクドライブから取り出さないでください。

- 3 【Y】を押し、【Enter】を押す
フォーマットが始まります。作成した領域の大きさにもよりますが、5～15分程度かかります。
フォーマットが終わると、「ボリュームラベルを入力してください。」と表示されます。
- 4 ボリュームラベル(ドライブの名前)が必要なときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】を押す。必要がなければ、【Enter】だけを押す
ボリュームラベルは、半角英数字で11文字まで入力できます。
「Windows Me 再セットアップ」の画面に戻ります。

新しく領域を作成したドライブはすべて、手順1～4を繰り返して、フォーマットしてください(手順2のドライブ名は、【 】を押して選択してください)。

ハードディスクドライブを5つ以上に分割(Gドライブ以上作成)すると、これ以降のドライブ(G、H、I...)は手順1の画面に表示されず、ここでフォーマットすることはできません。

G以降のドライブについては、「8. フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする (P.161)」でフォーマットします。

次の「5. システムを再セットアップする」に進んでください。

5. システムを再セットアップする

- 1 「バックアップCD-ROM」をCD-R/RW with DVD-ROMドライブにセットする

 **チェック!!** 「バックアップCD-ROMを復元します」と表示されたときは、バックアップCD-ROMがセットされていません。正しくセットして【Enter】キーを押してください。

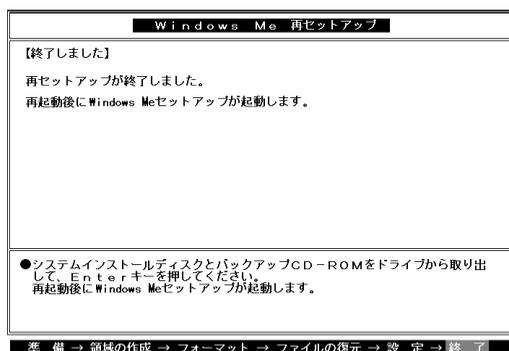
- 2 「Windows Me再セットアップ」の画面で「ファイルの復元」を選択し、【Enter】を押す

- 3 「ファイルの復元」の画面が表示されたら、「実行」が選択されていることを確認し、【Enter】を押す
システムの再セットアップが始まります。途中でフロッピーディスクやCD-ROM を入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。

☑ **チェック!!** ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMや、フロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。

☑ **チェック!!** 再セットアップ中に数回ピーブ音(ピーという音)が鳴りますが、問題ないので無視してください。

システムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



- 4 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す
- 5 CD-R/RW with DVD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

6 【Enter】を押す

Windows が再起動し、しばらくすると「Microsoft Windows へようこそ」ウィンドウが表示されます。



6. Windows の設定をする

「購入時と同じ状態にする - 標準再セットアップモード」の 3. Windows の設定をする (P.127) をご覧になり、Windows の設定をしてください。

7. Office 2000 モデルの場合は Office 2000 Personal を再セットアップする

Office 2000 モデルの場合は「購入時と同じ状態にする - 標準再セットアップモード」の 4. Office 2000 モデルの場合は Office 2000 Personal を再セットアップする (P.130) をご覧になり、Office 2000 Personal を再セットアップしてください。

8. フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする

ハードディスクドライブを5つ以上に分割した場合(Gドライブ以上作成)は、Gドライブ以降のドライブ(4. ドライブを初期化(フォーマット)する)でフォーマットできなかったドライブ)を次の手順によりフォーマットしてください。

C~Fドライブまでしか作成していない場合は、以下の手順は必要ありません。「9. 別売の周辺機器を取り付けて設定をやり直す」に進んでください。



チェック!

C~Fのドライブはフォーマットしないでください。

- 1 パソコン本体の電源を入れる
Windows が起動します。
- 2 「マイコンピュータ」をダブルクリック
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 3 フォーマットするハードディスクドライブ(G、H、I...)のアイコンを右クリックし、表示されたメニューで「フォーマット」をクリック
「フォーマット」ウィンドウが表示されます。
- 4 「通常のフォーマット」をクリック
- 5 「開始」ボタンをクリック
フォーマットの確認画面が表示されます。
- 6 「OK」ボタンをクリック
しばらくするとフォーマットが終了し、フォーマットの結果が表示されます。
- 7 「閉じる」ボタンをクリック
スキャンディスクの実行を促す画面が表示されます。

メモ

スキャンディスクは、ハードディスクのこわれている部分がないか、問題なく使えるかをチェックするものです。破損している部分が見つかった場合には、自動的にその部分を使わないように設定します。

参照 スキャンディスクの操作 Windowsヘルプ

- 8 「OK」ボタンをクリック
スキャンディスクのヘルプ「クラスタ、ファイルおよびフォルダのエラーを検査するには」が、表示されます。
- 9 「フォーマット」ウィンドウの「閉じる」ボタンをクリック
- 10 ヘルプの内容に従ってスキャンディスクを実行する
フォーマットできなかったハードディスクドライブが他にもある場合は、手順3～10を繰り返してフォーマットしてください。

9. 別売の周辺機器を取り付けて設定をやり直す

「再セットアップの準備 (P.120) の手順3「別売の周辺機器を取り外す」で取り外した別売の周辺機器を取り付けて、それぞれのセットアップ、設定を行ってください。

参照 ▶ 周辺機器の設定 「PART2 周辺機器を利用する (P.61) 周辺機器に添付されたマニュアル

10. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す

パソコン購入後に行った設定は、再セットアップによってすべてなくなっているので、再設定してください。

インターネットを使っているときは、「再セットアップの準備 (P.120) の手順2「パソコンの設定を控える」で控えたメモの設定に戻してください。BIGLOBEに加入している場合は、IDやアドレスはすでに取得しているものを使えます。サインアップをやり直す必要はありません。ワンタッチスタートボタンの設定も購入時の状態に戻っていますので、再設定してください。

11. 別売のアプリケーションをインストールし直す

パソコン購入後にインストールされたアプリケーションは、すべて消去されているので、再インストールしてください。

6

トラブル解決 Q & A

パソコンを使っていて、何かトラブルが起きたときにご覧ください。
「トラブル解決4つのポイント」を読んで、どうしてそうなったかを考え、
あてはまる項目を探してください。
何か疑問があるときも、ここを読んでください。
また、このパソコンに登録されている「スタート」ボタン「プログラム」
「NEC電子マニュアル」の「トラブル解決Q&A」もあわせてご覧ください。

この章の内容

トラブル解決4つのポイント	166	パソコンがこわれそう	186
トラブル予防のポイント	167	画面がおかしい...	188
お問い合わせの前に		マウスを動かしても...	189
(トラブルチェックシート).....	170	キーボードを使っていたら.....	190
はじめて電源を入れたら...	172	周辺機器を取り付けようとしたら... ..	191
電源を入れたが...	173	アプリケーションを使っていたら... ..	196
電源を切ろうとしたが...	181	その他	199
省電力機能を使おうとしたら...	183	アフターケアについて	202

トラブル解決4つのポイント

1

落ち着いて対処する

あわてて電源を切ったり、マウスを何度もクリックしたりせず、しばらくそのまま待ってください。しばらく待っても動かないときは、強制終了(P.181)を行ってください。

メッセージが表示されているときは書き留める

必ず紙に書き留めてください。また、「元に戻す」「取り消し」などの機能があったら、その機能を使ってください。

2

原因が何かを考える

操作を間違えなかったか、どんな操作をしたときに問題が起きたのかなど、原因を考えてみましょう。意外に単純な原因で問題が起ることもあるものです。

「スキャンディスク」を試してみる

Windowsやアプリケーションが起動しない、などのトラブルはハードディスクに原因があることも多いです。このようなときは「スキャンディスク」(Windowsのヘルプ)を行ってください。

3

このマニュアルまたは『NEC電子マニュアル』の「トラブル解決Q&A」で調べる
このマニュアルの目次を見て、自分のトラブルに当てはまる項目があったら、そのページを読んでください。また、このパソコンに登録されている『NEC電子マニュアル』を調べて解決のヒントがないか探してください。

インターネットからトラブル対策を探す

Q&A情報を提供しているホームページには次のようなものがあります。

NECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」<http://121ware.com> 「レスキュー」「Q&A」

マイクロソフトサポート情報 <http://www.microsoft.com/japan/support>

アプリケーションでトラブルが起きたときは、そのマニュアルやヘルプなどを読んでから、開発元のホームページを見てみましょう。

Windowsのヘルプからトラブル対策を探す

Windows Meの「ヘルプとサポート」を使えば、調べたい項目を探すことができます。

4

トラブルチェックシートに記入する

NECに問い合わせるときは、どんなトラブルが起こったかを、「トラブルチェックシート」(P.170)に記入しておいてください。

問い合わせる

NECの問い合わせ先は添付の『121wareガイドブック』をご覧ください。パソコンとは別に購入した周辺機器やアプリケーションに関するトラブルは、その製品の問い合わせ先にご相談ください。

解決

トラブル予防のポイント

電源は正しい順序で入れる/切る

電源の入れ方/切り方を間違えると、周辺機器が正しく動作しなかったり、本体の故障の原因となったりします。電源は正しい順序で入れたたり切ったりしてください。

ハードディスクの空き容量を十分に確保する

Windowsを快適に使うには、ハードディスクに十分な空き容量が必要です。空き容量が不足してくると、ファイルの読み書きやアプリケーションの起動に時間がかかるようになり、最後にはハードディスクそのものが動作しなくなります。Cドライブの空き容量は、常に100Mバイト以上確保してください。ハードディスクの空き容量が不足してきたら、不要なファイルを削除するか、ハードディスクを増設してください。不要なファイルを削除するには、「ディスククリーンアップ」を使うと便利です。

参照 ハードディスクドライブの増設 「PART2 周辺機器を利用する (P.61) ディスククリーンアップの使い方 Windows Meの「ヘルプとサポート」

ハードディスクの空き容量の確認

- 1 デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリック
- 2 「Windows Me(C:)」にマウスポインタをあわせてクリック
画面の左側に使用領域と空き領域が表示されます。

大切なデータはバックアップをとっておく

パソコンを使っていると、うっかりファイルを消してしまったり、ドライブが故障してしまったりと、大切なデータをなくしてしまうことがあります。そんなときにもフロッピーディスクやDVD-RAM、CD-R、CD-RWなどにデータをコピーして予備のデータをとっておくと安心です。

また、本機に添付されている「バックアップCD-ROM」を使用して再セットアップする場合には、ご自分でハードディスク内に作成されたデータやインストールされたアプリケーションソフトは、すべて消去されます。必ず、再セットアップする前に、これらのデータをバックアップしてください。

本機にインストールされている「バックアップ-NX」を使うと、アプリケーションで作成したデータのバックアップや復元が手軽にできます。「バックアップ-NX」を利用して、定期的にデータのバックアップをとるようにしてください。「バックアップ-NX」は、「スタート」ボタン「プログラム」「アプリケーション」「バックアップ-NX」をクリックして、起動します。

参照 ▶ バックアップ-NXの操作方法 バックアップ-NXのヘルプ

定期的にハードディスクの点検を行う

トラブルを予防するために、定期的に「スキャンディスク」でハードディスクをチェックすることをおすすめします。

また、「メンテナンスウィザード」を利用すると、スキャンディスクなどのシステムツールを定期的に行うように設定できます。

メンテナンスウィザードは、次の方法で起動することができます。

「スタート」ボタン「プログラム」「アクセサリ」「システムツール」の「メンテナンスウィザード」をクリック

改造をしない

本機用のマニュアルに記載されている方法以外で、本機の改造や修理をしないでください。マニュアルに記載されている方法以外で改造や修理をした製品については、当社のサービスの対象外となることがあります。

あらかじめ起動ディスクを作っておく

Windowsの調子が何かおかしくなったり、ちょっと設定を変更したらWindowsそのものが起動しなくなってしまうことがあります。こんなときに、起動ディスク(Windowsを起動するフロッピーディスク)を使って本機を起動して、本機を検査したり、設定を変更したりすると解決に役立つことがあります。

起動ディスクは、「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」「アプリケーションの追加と削除」の「起動ディスク」タブの「ディスクの作成」ボタンで作成できます。

コンピュータウイルスの侵入を防ぐ

パソコンを使っていると、インターネット、パソコン通信上のやりとりやフロッピーディスク、CD-ROMの受け渡しなど、さまざまなかたちでコンピュータウイルスに感染する可能性があります。パソコンをコンピュータウイルスから守るには、次の点に注意してください。

- ・ パソコンのウイルス検査は定期的に行う
- ・ 出所不明なCD-ROM、プログラムは使用しない

- ・ 入手したデータやプログラムはウイルス検査を済ませてから使用する
- ・ インターネットやパソコン通信から、むやみにデータやプログラムをダウンロードしない
- ・ 覚えがない電子メールや添付ファイルは開かずに削除する
- ・ ワクチンソフトは最新版になるように定期的に更新する

また、VirusScanによってコンピュータウイルスが検出されたら「コンピュータウイルスが検出された」(P.199)をご覧ください。ウイルスの削除を行ってください。

参照 VirusScanについて「PART4 アプリケーションご利用時のご注意」コンピュータウイルスに備える(VirusScan)(P.101)

アプリケーションの動作に必要な環境を確保する

アプリケーションを使うには、リソース(動作に必要な作業領域)が必要です。複数のアプリケーションを同時に起動すると、リソースが少なくなり、アプリケーションの動きが遅くなったり、パソコンが動かなくなってしまうことがあります。このような現象を防ぐためには、使わないアプリケーションをこまめに終了するようにしましょう。

また、ファイルサイズの大きな壁紙を使用している場合にも、パソコンの動きが遅くなることがあります。この場合には、ファイルサイズの小さい壁紙に変更してください。

用語 リソース

パソコンのメモリやハードディスクなど、パソコンを使うときに必要な装置全般。また、Windowsでは、OSの動作に必要な特殊なメモリ領域のことを「システムリソース」と呼ぶ。

保守サービス(有料)で定期的にメンテナンスを行う

本機を、業務用などに24時間連続で利用したり、信頼性を必要とする設備として利用する場合は、必ず保守契約を行い定期的にメンテナンスを実施することをおすすめします。ハードディスクなどの消耗部品の交換も依頼できます。NECフィールディングでは、さまざまな保守サービス(有料)を用意しています。ご利用環境に合わせて、保守契約を結んでください。

参照 消耗部品について「アフターケアについて」
保守サービス(有料)について『121wareガイドブック』

お問い合わせの前に(トラブルチェックシート)

お問い合わせの際には、お使いになっているパソコンの構成やトラブルの具体的な状況をお知らせいただく必要があります。

あらかじめ、このシートの各項目にご記入いただくと、お問い合わせの際により的確で迅速な対応を受ける助けになります。ぜひ、ご利用ください。

トラブルチェックシート1 あなたのパソコンの構成

ハードウェア

本体	
型名(保証書に記載されています)	
製造番号(保証書番号)	
メモリの容量	_____ MB(メガバイト)
ハードディスク(Cドライブ)の容量	_____ GB(ギガバイト)
ハードディスク(Cドライブ)の空き領域	_____ MB(メガバイト)
<small>ハードディスクの容量、空き領域を調べるには、マイコンピュータのハードディスクのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。容量や空き領域が表示されます。</small>	
周辺機器	
品名・型名(メーカー名)	
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
その他の周辺機器	

ソフトウェア

OSのバージョンと発売メーカー
Windows Me
トラブルが起きたときに起動していたアプリケーション

トラブルチェックシート 2 具体的なトラブルの内容

どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。

画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？
メッセージや番号を書いてください。

そのトラブルはどんなときに起きましたか？

パソコンを起動するときに起きる
そのアプリケーションを起動する
ときに起きる
特定の操作を行うと起きる

はじめて起きた

その他に気付いたことがあれば書いてください。



はじめて電源を入れたら...

買ってきて、はじめてパソコンを使うときは、まず、設定などの作業が必要です。

参照 『はじめにお読みください』



セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

電源スイッチを入れて電源を入れてください。「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、そのままセットアップを続けてください。電源を入れても何も表示されなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、再セットアップが必要になります。本書の「PART5 再セットアップするには」をご覧ください。再セットアップをしてください。

参照 再セットアップ 「PART5 再セットアップするには」(P.117)



ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)

Windowsのセットアップでは、正常に処理が行われていても、同一画面のまま数分～十数分間、その状態が続くことがあります。すぐに電源は切らないでください。

Windowsのセットアップ中ではないのにパソコンが反応していないとき(ハードディスクアクセスランプが点滅しないなど)は、電源を切って、5秒以上待ってから、もう一度電源を入れます。「セットアップの途中で誤って電源を切ってしまった」と同じ手順で問題を解決してください。

電源を入れたが...

電源を入れるときは、周辺機器の電源を入れてから、パソコンの電源を入れます。



電源が入らない / ディスプレイに何も表示されない

ディスプレイの電源ランプは点灯していますか？

ディスプレイの電源ランプが点灯しないときは、ディスプレイのマニュアルに従って、電源を入れてください。

それでも、点灯しないときは、『はじめにお読みください』をご覧ください、ディスプレイの電源ケーブルを接続し直してください。

もう一度、ディスプレイの電源を入れても、ディスプレイの電源ランプが点灯しないときは、ディスプレイの故障が考えられます。ご購入元、NEC フィールディングの各支店・営業所にご相談ください。

参照 ▶ NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』

パソコン本体の電源ランプは点灯していますか？

ディスプレイのRGBケーブルが本体に正しく接続されていますか？

パソコン本体の電源ランプが点灯していないときは、『はじめにお読みください』に従って、電源ケーブルを接続し直してください。

電源ケーブルを接続し直して、電源を入れても本体電源ランプが点灯していないときは、本体の故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。

参照 ▶ NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』

ディスプレイの輝度(明るさ)、コントラストが、小さくなっていませんか？

ディスプレイのマニュアルを見て、画面の輝度とコントラストを上げてください。

これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されないときは、パソコン本体やディスプレイの故障が考えられます。ご購入元、NEC フィールディングの各支店・営業所にご相談ください。

参照 ▶ NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』



「ピーッ」という音がしない

画面になにか表示されていますか？

画面になにも表示されていないときは、「電源が入らない/ディスプレイに何も表示されない」(P.173)をご覧ください。

スピーカのボリュームが小さくなっていませんか？

「PART1 本体の構成各部」の「サウンド機能」(P.52)をご覧くださいの上、スピーカのボリュームを調節してください。



CRTディスプレイの画面の色が部分的におかしい

テレビや、ステレオのスピーカーなど、CRTディスプレイのそばに強力な磁気を発生する電気製品がありませんか？

強力な磁気を発生する電気製品があるときは、その電気製品の電源を切るか、CRTディスプレイから遠ざけてください。

CRTディスプレイの消磁は行ってみましたか？

CRTディスプレイのマニュアルを見て、画面を消磁してください。

メモ

強力な磁気を発生する電気製品などによって、画面自身が磁気を帯びてしまうことがあります。その電気製品の電源を切ったり、ディスプレイから遠ざけても、画面の色がおかしいときは、消磁(デガウス)を行ってください。



電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる

次の操作をしてみてください。

マウスを動かすか、キーボードのキーを何か【Shift】など）押す

電源を入れてしばらくすると画面が真っ暗になる場合、次の原因が考えられます。

- ・ 自動的にスタンバイ状態や休止状態になった
このパソコンは、指定された時間内に何も操作しなかったりハードディスクなどへのアクセスがなかった場合、自動的にスタンバイ状態や休止状態にする機能があります。ご購入時の状態では、約20分間で休止状態になるように設定されています。設定の変更方法については、「PART1 本体の構成各部」電源」スタンバイ機能または休止機能を使用するときの注意」の「自動的にスタンバイ状態や休止状態にならないように設定する」をご覧ください。
- ・ ディスプレイの省電力機能が働いた
添付されているディスプレイは省電力機能に対応しているので、「コントロールパネル」「電源の管理」「電源設定」タブで省電力の設定をすると、設定した時間になると、ディスプレイを省電力モードにしたり、ディスプレイの電源を切ったりできます。

上記の設定を変更することにより、画面を真っ暗にする時間を変更したり、画面を真っ暗にしないようにすることができます。



Windowsが起動しない

ハードディスクのファイルにデータエラーがないか、スキャンディスクでチェックしてください。

参照▶ スキャンディスク 「PART1 本体の構成各部」ハードディスクドライブ」のシステムツールについて (P.35)

システム(BIOSセットアップメニュー)の設定が正しくない可能性があります。

次の手順でシステムの設定を購入時の状態に戻して再起動してください。

別売の拡張ボードを取付けている場合は、そのボードを取り外す

参照▶ ボードの取り外し方 「PART2 周辺機器を利用する (P.61)

システムの設定を購入時の状態に戻す

参照▶ システムの設定を購入時の状態に戻す 「PART3 本機の設定を変更する」 (P.95)

メモ

BIOSセットアップメニューで設定したパスワードは初期値には戻りません。

セーフモードで起動して問題を解決する

セーフモードはWindowsの正常な起動を行えるようにするための、特殊な診断モードです。以下の手順でセーフモードを起動させてください。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴの画面が表示されたら、すぐに【Ctrl】または【F8】を何回か押す
「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示されます。
- 3 【 】を使って「3.Safe mode」を選び【Enter】を押す
Windowsがセーフモードで起動します。

ヘルプとサポートの「セーフモードに関するトラブルシューティング」が表示されます。必要であればヘルプとサポートの指示に従って問題を解決してください。

セーフモードで起動すると画面のデザイン、配色や解像度などが通常とは異なりますが、必要最低限の機能は使えるようになります。ただし、CD-ROMドライブやプリンタなどは使えません。

「スタート」メニューの「Windowsの終了」をクリックし、「再起動する」を選択して「OK」をクリックすると、再起動して問題がなければ、元の状態に戻ります。

セーフモードで起動し、ヘルプとサポートの指示に従ったり、スキャンディスクを実行後に再起動しても問題が解決しなかったときは、システムに障害が発生している可能性があります。その場合は再セットアップが必要になりますので、「PART5 再セットアップするには」をご覧ください。上、再セットアップをしてください。



「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示され、「Enter a choice:」に「3 (3.Safe mode)」が表示される次の手順でWindows Meをセーフモードで起動してください。

- 1 「Safe mode」が反転しているのを確認して、【Enter】を押す
Windows Meがセーフモードで起動します。

ヘルプとサポートの「セーフモードに関するトラブルシューティング」が表示されます。必要であればヘルプとサポートの指示に従って問題を解決してください。

セーフモードで起動すると画面のデザイン、配色や解像度などが通常とは異なりますが、必要最低限の機能は使えるようになります。ただし、CD-ROMドライブやプリンタなどは使えません。

「スタート」メニューの「Windowsの終了」をクリックし、「再起動する」を選択して「OK」をクリックすると、再起動して問題がなければ、元の状態に戻ります。

セーフモードで起動し、ヘルプとサポートの指示に従ったり、スキャンディスクを実行後に再起動しても問題が解決しなかったときは、システムに障害が発生している可能性があります。その場合は再セットアップが必要になりますので、「PART5 再セットアップするには」をご覧ください。上、再セットアップをしてください。



自動的にスキャンディスクが始まった

ハードディスクに異常がないかチェックが行われ、ハードディスクに異常がなければ、Windowsが起動します。

正常に起動しなかったときは、画面の指示に従ってください。再セットアップの必要があるときは、再セットアップしてください。

メモ

前回、電源を切ったときに、正しく電源を切らなかったときや、スタンバイ状態のときにACコンセントが抜けたり停電すると、このメッセージが表示されることがあります。

スキャンディスクプログラムを実行してシステムファイルに異常が見つかったときや、スキャンディスクプログラムで異常は見つからないがうまく起動できない、あるいは動作が不安定なときは、再セットアップが必要になります。

定期的にスキャンディスクプログラムを実行してディスクに異常がないかどうか確認してください。



参照 ▶ 再セットアップ 「PART5 再セットアップするには」(P.117)
スキャンディスク Windowsヘルプ



「Invalid system disk Replace the disk....」と表示される

フロッピーディスクがセットされている場合

フロッピーディスクから起動したい場合は、システムの入ったフロッピーディスクをセットし直して何かキーを押してください。ハードディスクから起動したい場合は、フロッピーディスクを取り出して、電源を入れ直し、再起動してください。

フロッピーディスクがセットされていない場合

Windows Me起動ディスクから本機を起動してハードディスクにスキャンディスクを実行して、ハードディスクを調べてください。

問題が発見された場合は画面の指示に従ってください。スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見された場合は本書の「PART5 再セットアップするには」をご覧ください。

また、ハードディスクがフォーマットされただけでWindows Meがインストールされていない場合も、再セットアップしてください。

メモ

Windows Meでフォーマットしただけでシステムの入っていないフロッピーディスクがセットされていたり、フォーマットされただけのハードディスクが接続されているとこのようなメッセージが表示されます。



電源を入れるとピーッと音がするまたは何かメッセージが表示されるまたは何も表示されない

フロッピーディスクがセットされている場合

フロッピーディスクがセットされている場合は、そのフロッピーディスクにシステムが入っていないか、本機では扱えないフロッピーディスクであることを示しています。フロッピーディスクから起動したい場合は、本機で使用できるシステムの入ったフロッピーディスクをセットし直して、何かキーを押すか再起動してください。

ハードディスクから起動したい場合は、フロッピーディスクを取り出して、電源を入れ直し、再起動してください。

メモ

本機で使用できるフロッピーディスクについては、「PART1 本体の構成各部」の「フロッピーディスクドライブ (P.38)」をご覧ください。

フロッピーディスクがセットされていない場合

フロッピーディスクがセットされていないのに起動時にエラーメッセージが表示されたりする場合は、メッセージを書き留めるかまたは症状を書き留めて、ご購入元、NECフィールディングの各支店・営業所にご相談ください。

参照 ▶ NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』

**エラーメッセージが表示された**

エラーメッセージを書き留めて、ご購入元、NECフィールディングの各支店・営業所にご相談ください。

参照 ▶ NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』



Windows起動時に、「コンピュータは何度が待機状態になり応答を停止しました。今後、待機状態にならないようにしますか？」とメッセージが表示された

「いいえ」を選択してください。「はい」を選択すると、以後スタンバイ機能が使えなくなります。



パスワードを忘れてしまった

BIOSセットアップメニューでのパスワード(ユーザパスワード、スーパーバイザパスワード)の場合

BIOSセットアップメニューで設定したパスワードを忘れてしまった場合は、「PART3 本機の設定を変更する」の「パスワードの解除」(P.97)をご覧くださいの上、パスワードを解除して、再設定してください。

Windowsでのパスワードの場合

Windowsのパスワードを忘れてしまった場合、【Esc】を押すと、Windowsが起動して、本体は使用できますがネットワークには接続できなくなります。再設定したい場合には、再セットアップが必要になりますので、本書の「PART5 再セットアップするには」(P.117)をご覧くださいの上、再セットアップしてください。



Windowsのパスワードは、ネットワークの設定などをしたら、設定されるようになります。ネットワークへのログインパスワードについては、ネットワーク管理者にご相談ください。

電源を切ろうとしたが...

本機の電源は正しい手順で切ってください。手順を守らないと、データやプログラム、本機がこわれてしまう場合があるので、特に注意してください。



電源を切れない。強制的に電源を切りたい

本機の電源を切るときは、「正しい電源の切りかた」に従ってください。

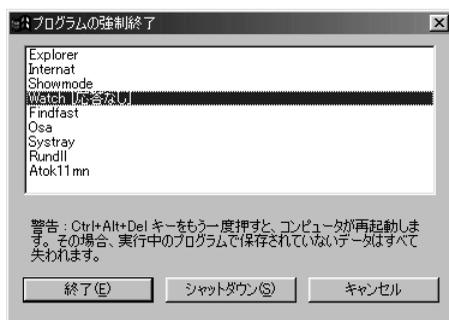
正しい電源の切りかた

「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックし、「終了」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。しばらくすると、自動的に電源が切れます。

この方法で電源を切れないときには、アプリケーションに異常が起きていると考えられます。次の「プログラムの強制終了」に従ってください。

プログラムの強制終了

【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を同時に押すと、「プログラムの強制終了」の画面が表示されます。



プログラム名の右側に「応答なし」と表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックし、「終了」ボタンをクリックします(このアプリケーションで編集した文書、画像などは保存できません)。もう一度、「スタート」ボタン 「Windowsの終了」を選択してください。

この方法でも電源を切れないときは、次の「強制的に電源を切る方法」に従ってください。

強制的に電源を切る方法

本機の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

メモ

- ・ 強制的に電源を切った場合は、電源を入れ直してWindowsを起動した後、もう一度正しい手順で電源を切ってください。
- ・ Windowsセットアップ中には、動作が止まったように見えても、セットアッププログラムは動作していることがあります。画面表示をよく確認し、正常動作中は電源を切ったりしないでください。



電話回線を使用中のまま、パソコンの電源を切ってしまった

電話回線を使用中のまま、パソコンの電源を切った場合、アプリケーションによっては、電話回線が強制的に切断されることがあります。この場合、ダウンロード中のデータは正常に保存されないことがあります。



チェック!!

電話回線を使うアプリケーションを起動しているときは、アプリケーションを終了させてから電源を切ってください。

省電力機能を使おうとしたら...

このパソコンは、指定された時間内にキーボードやマウスなどからの入力がない場合、自動的にスタンバイ状態や休止状態にする機能があります。

参照 ▶ スタンバイ状態、休止状態 「PART1 本体の構成各部」の「電源」(P.9)



スタンバイ状態や休止状態にする前の状態の画面が表示されない

アプリケーションや周辺機器はスタンバイ状態や休止状態に対応していますか？

スタンバイ状態や休止状態に対応していないアプリケーションや周辺機器でスタンバイ状態や休止状態にしようとする、正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態や休止状態にしないでください。

スタンバイ状態にしていた場合、電源ケーブルは正しく接続されていますか？

電源ケーブルをコンセントに接続します。正しく接続されていなかった場合、作業内容は保持されません。

スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルが抜けたりしませんでしたか？

スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルが抜けたりすると、保持(記憶)した内容は消えてしまいます。

スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けませんでしたか？

スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持(記憶)した内容は消えてしまいます。

画面が暗くなったまま元に戻らないときは、電源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電源を切ってください。



自動的にスタンバイ状態や休止状態になってしまう

このパソコンは、指定された時間内に何も操作しなかったりハードディスクなどへのアクセスがなかった場合、自動的にスタンバイ状態や休止状態にする機能があります。ご購入時の状態では、約20分間で休止状態になるように設定されています。設定の変更方法については、「PART1 本体の構成各部」「電源」「スタンバイ機能または休止機能を使用するときの注意」の「自動的にスタンバイ状態や休止状態にならないように設定する」(P.20)をご覧ください。



休止状態からの復帰(再開)に失敗した

Windowsが起動する場合

Windowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

参照

ヘルプとサポート トラブルシューティング ハードウェアとシステムデバイスに関する問題 システムデバイスと電源の管理に関するトラブルシューティング



チェック!!

休止状態からの復帰に失敗している場合は、Windowsが起動しても、休止状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。保存していないデータは失われてしまいますので、休止状態にする前に、必要なデータは必ず保存するようにしてください。

Windowsが起動しない場合



チェック!!

次の操作を行って、Windowsが正常に起動しても休止状態にする前の作業内容は復元されません。保存していないデータは失われてしまいますので、休止状態にする前に、必要なデータは必ず保存するようにしてください。

休止状態(ハイバネーション)のときに本機の設定を変更したり、周辺機器などの機器構成を変更すると、Windowsが起動しなくなることがあります。このような場合は、設定や機器構成を元の状態に戻してから電源スイッチを操作してください。

また、電源を入れたときに「Previous resume from hibernate failed.Would you like to try again[Enter=Y,Esc=N]?」というメッセージが表示された場合は【N】を押すと通常通り本機を起動できます。

上記の手順でもWindowsが起動しない場合には、次の手順でハイバネートファイルを削除してください。

- 1 Windows起動ディスクをセットして、本体の電源スイッチを押す
- 2 スタートアップメニューが表示されたら、キーとキーを使って、[Start computer with CD-ROM support]を選択し、Enterキーを押す
- 3 コマンドプロンプトが表示されたら、次のように入力する
c:
cd windows
attrib -r -a -s -h vmmhiber.w9x
del vmmhiber.w9x
- 4 フロッピーディスクドライブからWindows起動ディスクを取り出す
- 5 コンピュータを再起動する



スタンバイ状態や休止状態にしようとしたら「デバイスドライバかプログラムが原因で待機モードに入れません。すべてのプログラムを終了してから、もう一度やり直してください。」と表示された。または、スタンバイ状態や休止状態にできない

実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度設定をやり直してください。

電話回線を使用中のときは、回線を切ってからスタンバイ状態や休止状態にしてください。

パソコンがこわれそう...



パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、手でさわれないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた

すぐ電源を切って、電源ケーブル、ACアダプタのプラグをコンセントから抜き、ご購入元、NECにご相談ください。

参照▶ NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』



チェック!! 本機を安全に使用するための注意事項を『はじめにお読みください』に記載しています。本機をお使いになるときは、必ず注意事項を守ってください。



キーボードに飲み物をこぼしてしまった

「PART7 付録」の「本機のお手入れ (P.211)」に従って、柔らかい布などでふき取ってください。

キーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。

乾いた後で、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、ご購入元、NECにご相談ください。

参照▶ NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』

メモ

ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因となります。



安全ピン、クリップなど異物を本体内部に入れてしまった

すぐに電源を切り、電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜き、ご購入元にご相談ください。



チェック!! 発煙、発火や故障の原因となります。



CD-ROMなどを利用中に本体から異常な音がする

CD-ROMなどにラベルなどを貼っていませんか？

CD-ROMなどにラベルなどを貼ると、回転時にバランスがとれず、異常な音が出る場合があります。

CD-ROMなどの表面にはラベルなどを貼らないでください。



画面がおかしい...

参照▶ 「PART1 本体の構成各部」の「ディスプレイ」(P.32)
ディスプレイに添付されたマニュアル



画面の表示位置やサイズがおかしい

付属のディスプレイを使っているとき

ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

また、表示できる解像度と表示色については「PART1 本体の構成各部」の「ディスプレイ」もあわせてご覧ください。

別売のディスプレイを使っているとき

ディスプレイで表示位置やサイズを調節できることがあります。詳しくはディスプレイのマニュアルをご覧ください。

マウスを動かしても...

正常な状態では、マウスを動かすと、画面のマウスポインタが移動します。マウスポインタは    など、マウスポインタの位置やパソコンの動作状態によって形を変えます。

参照 マウスの設定を変えるには Windowsヘルプ



マウスを動かしても、何も反応しない

マウスポインタが砂時計の形になっていませんか？



砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、マウスの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

マウスと本体の接続を確認してください。

『はじめにお読みください』をご覧になり、マウスとキーボードと本体を接続し直してください。マウスのコネクタが本体から抜けていたり、きちんと差し込まれていないとマウスの操作はできません。

しばらく待っても、マウスの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。Windowsの処理を止めているアプリケーションを強制終了してください。保存していないデータはなくなります。

参照 プログラムの強制終了の方法 「電源を切ろうとしたが...」(P.181)

キーボードを使っていたら...

漢字やひらがななど、日本語の文字を入力するときは、【半角/全角/漢字】を押して、日本語入力システムをオンにします。

参照 キーボードの設定を変えるには「PART1 本体の構成各部」の「キーボード」(P.22)



キーボードのキーを押しても、何も反応しない

マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか？



砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

キーボードと本体の接続を確認してください。

『はじめにお読みください』をご覧になり、キーボードと本体を接続し直してください。

キーボードのコネクタが本体から抜けていたり、きちんと奥まで差し込まれていないとキーボードの操作はできません。

しばらく待っても、キーボードの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)のだと思われます。Windowsの処理を止めているアプリケーションを強制終了してください。

アプリケーションの強制終了ができない場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電源を切ってください。このとき、保存していなかったデータはなくなります。

次に、キーボードと本体の接続を確認してください。

参照 プログラムの強制終了の方法 「電源を切ろうとしたが...」(P.181)

周辺機器を取り付けようとしたら...

周辺機器を取り付けるときは、周辺機器のマニュアルまたは「PART2 周辺機器を利用する」を見て接続してください。



新しく周辺機器を取り付けたらWindowsが起動しなくなった
このようなときは周辺機器のドライバが原因でWindowsが起動できなくなったと考えられます。セーフモードでWindowsを起動して、トラブルになったドライバを無効にして、正しいドライバをインストールするか、ドライバ自体を削除する必要があります。次の手順に従ってセーフモードでパソコンを起動してドライバを設定してください。

- 1 パソコンの電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら【Ctrl】または【F8】を何回か押す
「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示されます。
- 3 【**3**】を使って「3.Safe mode」を選び【Enter】を押す
ヘルプとサポートの「セーフモードに関するトラブルシューティング」が表示されています。
- 4 をクリックしてヘルプとサポートを終了する



チェック!!

セーフモードで起動しなかったときは、もう一度、上記の手順1~3を実行してください。

新しく取り付けた周辺機器のドライバを無効にします。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」 「コントロールパネル」の順にクリック
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2 「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリック
デバイスマネージャが表示されます。

 **チェック!!** コントロールパネルに「システム」アイコンが表示されていないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

- 3 追加した周辺機器のアイコンをダブルクリック
「周辺機器のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「全般」タブをクリックし、「すべてのハードウェア プロファイルを使用する」の をクリックして (オフ)にする
- 5 「OK」ボタンをクリック
「周辺機器のプロパティ」ウィンドウが閉じられます。
- 6 「OK」ボタンをクリック
- 7 パソコンを再起動する
Windowsを再起動すると、通常モードで立ち上がります。

この方法でも起動できないときは、パソコンの電源を切ってから新しく取り付けた周辺機器を外してください。

周辺機器を使いたいときはドライバを更新します。
周辺機器の最新のドライバを用意してください。

- 1 前記の1から3の手順を行う
- 2 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリック
以降は画面の指示に従ってください。

 **メモ**

最新のドライバは周辺機器メーカーのホームページなどでダウンロードしてください。また、Windows Updateを行うと最新のドライバをダウンロードでき、周辺機器のドライバを更新できることがあります。Windows Updateするには「スタート」ボタン 「Windows Update」をクリックしてください。なお、これらの操作を行うには、パソコンがインターネットに接続されている状態である必要があります。



「Windows Me CD-ROM ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。」というメッセージが表示されたプリンタなどの周辺機器に添付されているフロッピーディスクからドライバをインストールする場合に表示されることがあります。この場合、次のようにして対処してください。

- 1 「OK」ボタンをクリック
「ファイルのコピー元」を入力する画面が表示されます。
- 2 「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」と入力し、「OK」をクリック
以降は画面の指示に従ってドライバをインストールしてください。



「ドライバが見つかりません」と表示されてドライバのインストールができない

新しく周辺機器を接続して、周辺機器に添付されているWindows Me用のドライバディスクなどからドライバをインストールする場合、次のようにして対処してください。

- 1 「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウで、「完了」ボタンをクリックし、処理を終了させる
- 2 「コントロールパネル」を開き、「システム」をダブルクリック
アイコンが表示されない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリック
デバイスの一覧が表示されます。
- 4 「その他のデバイス」の左の \oplus をクリックし、該当するデバイス名をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリック
- 5 「ドライバ」タブをクリック

- 6 「ドライバの更新」ボタンをクリック
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 7 「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択して、「次へ」をクリック
- 8 「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)」が選ばれていることを確認したら、「検索場所の指定」のをクリックしてにし、周辺機器のマニュアルなどに載っているフォルダを指定する
- 9 「次へ」をクリック

以降は画面の指示に従って、ドライバをインストールしてください。詳細については、ハードウェアのマニュアルを参照してください。



PCIボードを取り付けたが動作しない。PCIボードを取りつけたらパソコンが起動しなくなった。他の機能が使えなくなった

PCIボードをパソコンに取り付けようとしても、割り込みが不足していることがあります。そのときは、BIOSセットアップメニューで、使っていない割り込みデバイスの割り込みを、「Disabled」に設定してください。例えば、「OnBoard Serial PortA」を「Disabled」に設定すると、それまでシリアルポートに割り当てられていた割り込みをPCIボードに割り当てることができます。

例)

- 1 本体の電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴの画面が表示されたら、【F2】を押してBIOSセットアップメニュー「AMIBIOS EASY SETUP UTILITIES」を起動させる
- 3 BIOSセットアップメニューの「Advanced」「Peripheral Setup」「Onboard Serial PortA」の設定を「Disabled」にする

4 【F10】を押し、【Enter】を押ししてBIOSセットアップメニューを終了させ、再起動する



他社の周辺機器を使用する場合、最新のドライバを各メーカーより入手してください。お持ちのドライバが最新かどうか分からないときは、各メーカーへお問い合わせください。

アプリケーションを使っていたら...

アプリケーションを使っているときにトラブルが起きたときはここを見てください。



スタンバイ状態または休止状態から復帰しない

そのアプリケーションはスタンバイ機能または休止機能に対応していますか？

対応していないアプリケーションでスタンバイ機能または休止機能を使うと、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションでは、スタンバイ状態や休止状態にしないでください。スタンバイ機能または休止機能を使って、電源を切ることができなくなったときは、電源スイッチを4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ってください。



参照 ▶ スタンバイ機能 「PART1 本体の構成各部」の「電源」(P.9)



アプリケーションが起動しなくなった

他のアプリケーションを起動していませんか？

すでに他のアプリケーションが起動しているときは、それらを終了してから、起動してください。それでも起動しないときは、本機を再起動してください。



チェック!

トラブルを予防するために、メンテナンスウィザードで登録したシステムツールで、定期的にチェックをすることをおすすめします。



複数のアプリケーションが起動していると、メモリが不足して、新たにアプリケーションを起動できないことがあります。

アプリケーションを起動するのに必要なだけメモリはありますか？

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量は、そのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

本機には、購入時には64 Mバイトまたは128 Mバイトのメモリが搭載されています。それ以上のメモリが必要な場合は、メモリを増設してください。

参照 ▶ メモリを増設するには「PART2 周辺機器を利用する」の「増設RAMサブボードの取り付け (P.78)

ファイルサイズの大きな壁紙を使っていませんか？

ファイルサイズの大きい壁紙を使っていると、メモリが不足してアプリケーションを起動できなくなることがあります。

壁紙のファイルサイズを確認してファイルサイズの小さい壁紙に変更してください。

そのアプリケーションはスタンバイ状態や休止状態に対応していますか？

対応していないアプリケーションでスタンバイ状態や休止状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションでは、スタンバイ状態や休止状態にしないでください。

この機能を使って、電源を切ることができなくなったときは、約4秒以上電源スイッチを押し続けて、強制的に電源を切ってください。

参照 ▶ 省電力機能(スタンバイ)「PART1 本体の構成各部」の「電源 (P.9)



アプリケーションが突然止まった(フリーズした)

Windowsでアプリケーションを使っていると、突然キーボードやマウスの操作ができなくなってしまうことがありますが、パソコンが故障したわけではありません。この原因はさまざまですが、停止してしまったアプリケーションだけを強制的に終了させることで、Windowsの操作を続けることができます。「電源を切ろうとしたが...」の「プログラムの強制終了 (P.181)」に従って、アプリケーションを終了させてください。



チェック!

「例外エラー」、「一般保護違反」などの画面が表示された場合、強制終了したり、電源スイッチを押ししたりする前に、メッセージの内容やエラーコードの内容をトラブルチェックシートに書き取っておいてください。お問い合わせの際、トラブルの原因を調べるのに役立ちます。



「リソースが足りない」という意味のメッセージが表示されて、アプリケーションが正常に動作しない

複数のアプリケーションを同時に起動していると、メモリが不足して新たなアプリケーションを起動できなくなることがあります。すでに複数のアプリケーションが起動しているときには、使わないアプリケーションを終了してから新しいアプリケーションを起動してください。それでもアプリケーションが起動しない場合は、パソコンを再起動してください。

その他

これ以前のところで質問が見つからなかったときは、ここを見てください。



コンピュータウイルスが検出された

VirusScanなどによってコンピュータウイルスに感染したファイルが検出されたら、すぐにウイルスを駆除し、被害を届け出てください。



チェック!

VirusScanは購入時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、「スタート」ボタン「NEC電子マニュアル」「NEC電子マニュアル」「アプリケーションの追加と削除」の「VirusScan」を参照してVirusScanをインストールしてください。

ウイルスを駆除する

ウイルスを駆除するには、ウイルスが感染したファイルを削除するのがいちばん確実です。アプリケーションのファイルであれば、削除してインストールし直してください。バックアップがあるファイルは、削除した後、コピーし直してください。バックアップデータも感染している可能性があるので、ウイルス検査をしてください。

削除できないファイルの場合は、「VirusScan」などのウイルス除去機能があるソフトウェアでそのファイルのウイルスを除去してください。さらに、2次感染を防ぐため、使っていたハードディスク、フロッピーディスク、DVD-RAM、CD-R、CD-RW、MO(光磁気ディスク)などはすべてウイルス検査してください。

検査結果を届け出る

日本では、コンピュータウイルスを発見したら、企業、個人に関わらず、次の届け出先に届けることが義務づけられています(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)。届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、被害対策のための貴重な情報になるので積極的に報告してください。

届け出先

情報処理振興事業協会(通称IPA)セキュリティセンターウイルス対策室
本部 〒113-6591 東京都文京区本駒込2丁目28番8号
文京グリーンコート センターオフィス16階

電話 03-5978-7509

FAX 03-5978-7518

ホームページアドレス <http://www.ipa.go.jp/>



西暦2000年問題について

西暦2000年問題とは、コンピュータ・通信システムなどの中で、日付の記述が従来一般に西暦年の下2桁で行われていたため、2000年と1900年の区別ができず、2000年以降の日付データについて誤った処理をしたりシステムが動作しなくなるという問題です。少しバージョンの古いソフトや周辺機器を使用するときは、必ず2000年問題への対応状況について各メーカーなどに問い合わせください。



マニュアルをなくしてしまった

本機に添付されているNEC製のマニュアル『はじめにお読みください』と『活用ガイド』は、購入することができます。なお、在庫状況によっては、ご期待に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。お買い求めの際は、NEC PCマニュアルセンターへお問い合わせください。

- ・ 販売方法：電話/FAXによる通信販売
いただいたFAXに対するご回答は、翌営業日以降となります。
- ・ お申し込み先：NEC PCマニュアルセンター
(電話) 03-5476-1900
(FAX) 03-5476-1967
営業時間：月～金曜日
AM10:00～12:00 PM1:00～4:00
(土日祝日年末年始を除く/FAXは24時間受付)

取り扱い品目などの詳細はホームページ上でご案内しております。
ホームページアドレス：<http://www1.mesh.ne.jp/nedox/>

NECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」(<http://121ware.com>)の「レスキュー」「マニュアル」「NECパソコン関連商品添付の販売提供(NEC PC マニュアルセンター)」

なお、『Microsoft Windows Meクイックスタートガイド』は、再入手できませんので、紛失しないように十分ご注意ください。

マニュアルの書名やパソコンの型名は、紛失に備えて控えておくことをおすすめします。



本機を海外で使いたい

海外では使えません。



テレビやラジオに雑音が入る

テレビ、ラジオや他の電子機器は、本機から遠ざけてください。また、本機は、それらの機器とは別のACコンセントにつないでください。



本機を廃棄したい

本機を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。



このパソコンで使えるOSの種類を知りたい

次のOSが使えます。

- ・ このパソコンにあらかじめインストールされているWindows Millennium Edition(市販のWindows Meは、日本語版、英語版、ともに利用できません。)

- ・ Microsoft® Windows® 2000 Professional

Windows 2000を使う場合は、アプリケーションCD-ROMにある次のファイルに書かれている説明をご覧になり、新規にインストールしてください。

<CD-ROM ドライブ名> :%WIN2K%Readme.txt

なお、標準搭載デバイスや増設機器、周辺機器、インストールアプリケーションがWindows 2000ではご利用できない場合があります。それらの情報は、NECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」で、順次ご提供します。

「<http://121ware.com>」で表示されるホームページから、商品情報 98AP情報 Windows®2000対応製品をご覧ください。

なお、弊社製以外の製品については、各メーカーにお問い合わせください。

このパソコンでは次のOSを利用できません。

- ・ Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server
- ・ Microsoft® Windows® 2000 Datacenter Server

またWindows 95、Windows 98、Windows NTをお使いになることはできません。

アフターケアについて



保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、ご購入元、または『121wareガイドブック』の「レスキューサービス」に記載のNECフィールドینگ各支店・営業所で承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは『121wareガイドブック』または本書をご覧ください。

本機に添付されているアプリケーションに関するお問い合わせは、添付の『ソフトウェア使用条件適用一覧』に記載されている「添付ソフトウェアサポート窓口一覧」をご覧ください。各社へお問い合わせください。

また、本機と別に購入した周辺機器やメモリ、アプリケーションに関するお問い合わせは、その製品の問い合わせ先にご相談ください。



消耗品と消耗部品について

本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次の通りです。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自信で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても、有料です。	フロッピーディスク CD-ROM
消耗部品 (有償交換部品)	使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩耗または劣化し、修理再生が不可能な部分です。NECフィールドینگの各支店・営業所などで交換し、お客さまに部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。	CRTディスプレイ(ブラウン管)、CPUのファン、ハードディスクドライブ、キーボード、マウス、DVD-RAMドライブなど、フロッピーディスクドライブ、電源ユニット

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。



添付品の修復、再入手方法について

本機の添付品のうち、次のものについては、修復または再入手が可能です（有料）。

- ・ フロッピーディスク
- ・ CD-ROM
- ・ NEC製のマニュアル

フロッピーディスクの修復、CD-ROMの再入手についてのお問い合わせ先は、添付の『121wareガイドブック』をご覧ください。



本製品の譲渡/廃棄について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件に従ってください。また、譲渡を受けられた場合には、所定の手続きに従って、お客様登録を行ってください。

譲渡するお客様へ

本製品を第三者に譲渡（売却）する場合は、以下の条件を満たす必要があります。

本機に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと

各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと

譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後、譲渡すること（本機に添付されている『ソフトウェア使用条件適用一覧』をご覧ください）



チェック!!

- ・ パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをおすすめします。
- ・ 登録されている製品を第三者に譲渡（売却）する場合は、121ware（ワンタウウェア）登録センター（TEL:042-333-1121）までご連絡の上、必ず登録削除の手続きをお願いいたします。

譲渡を受けるお客様へ

お客様登録(ユーザ登録)に必要な下記の事項を記入し、お手数ですが官製ハガキまたは封書でお送りください。

ご連絡いただいたお客様へは、随時、展示会、イベント、キャンペーンセミナーなどのご案内や、ソフトメーカー様からの新作ソフトの紹介などをお送りいたします。

記載内容

本体型番および保証書番号(本体背面に記載の型番および製造番号)および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の「Serial No. (いずれのソフトも同一)

「Serial No.」がない場合は不要です。

以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号

あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒183-8501 東京都府中市日新町1-10(NEC府中事業場)

121ware登録センター行

本機を廃棄するには

本機を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

付 録

この章の内容

機能一覧	206
割り込みレベルとDMAチャンネル	210
本機のお手入れ	211
データ保護再セットアップを行う際の注意	214
索引	216

機能一覧

仕様一覧

本体機能仕様

型名	VU700N/55D	VU800N/57D	VU850N/57D
型番	PC-VU700N55D	PC-VU800N57D	PC-VU850N57D
CPU	エンハンスト3DNow!™テクノロジ 700MHz AMD Athlon™ プロセッサ (高性能フルスピード・キャッシュ内蔵)	エンハンスト3DNow!™テクノロジ 800MHz AMD Athlon™ プロセッサ (高性能フルスピード・キャッシュ内蔵)	エンハンスト3DNow!™テクノロジ 850MHz AMD Athlon™ プロセッサ (高性能フルスピード・キャッシュ内蔵)
システムバス	200MHz		
キャッシュメモリ	1次	128KB(CPU内蔵)	
	2次	256KB(CPU内蔵)	
BIOS ROM(Flash ROM)	256KB、プラグ&プレイ対応		
メインRAM	64MB(SDRAM-DIMM、PC100対応)		128MB(SDRAM-DIMM、PC100対応)
最大	増設RAMサブボードにより増設可能(最大256MB ¹⁾) [DIMMスロット×2(内1スロットにメモリ実装済み)]		
表示機能	ビデオRAM	8MB	
	グラフィックアクセラレータ	nVIDIA™社製 Vanta™(AGP 2xモード対応)	
	解像度・表示色		
	640×480ドット	最大1,677万色	
	800×600ドット	最大1,677万色	
1,024×768ドット	最大1,677万色		
1,280×1,024ドット	最大1,677万色 ²⁾		
サウンド機能	サウンドアクセラレータ	Creative製 ES1373/Sound Blaster® Audio PCI™	
	音源	PCM録音再生機能内蔵:ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート4 - 48KHz、全二重対応(モノラル、量子化8ビット時)、マイクロソフト社ソフトウェアアシネ対応、Downloadable Sound (DLS)Level-1対応	
	スピーカ	外付けステレオスピーカ	
入力装置	キーボード	USBコネクタに接続、JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、スリープボタン、ワンタッチスタートボタン、CD/DVDプレーヤボタン、テンキ・12ファンクションキー付き、USBバスパスワードハブ(2ポート)付き ^{3) 4)}	
	マウス	USBコネクタに接続(添付のキーボードにあるUSBコネクタに接続)、スクロール機能付き	
補助記憶装置	フロッピーディスクドライブ	3.5型フロッピーディスクドライブ(3モード対応)×1 ⁵⁾	
	固定ディスク ⁶⁾	内蔵(約30GB ⁷⁾ UltraATA-33対応	内蔵(約40GB ⁸⁾ UltraATA-33対応
	CD/DVDドライブ	CD-R/RW with DVD-ROM内蔵 ¹⁶⁾ 読み込み: 最大4倍速(DVD-ROM)、最大2.4倍速(CD-ROM) 書き込み: 最大4倍速(CD-R)、最大4倍速(CD-RW)	DVD-RAM内蔵 ¹⁶⁾ 読み込み: 最大6倍速(DVD-ROM)、最大2.4倍速(CD-ROM) 書き込み: [片面]4.7GB又は2.6GB(DVD-RAM) ⁹⁾

型名	VU700N/55D	VU800N/57D	VU850N/57D	
型番	PC-VU700N55D	PC-VU800N57D	PC-VU850N57D	
インターフェイス	USB ³	5 ¹⁰ (本体×3、キーボード×2 ⁴ 、コネクタ4ピン)		
	パラレル	1(D-sub25ピン)		
	シリアル	2(D-sub9ピン)		
	ディスプレイ	アナログ		
		デジタル		
	PS/2	2(ミニDIN6ピン)		
	FAXモデム	2(LINE、TELEPHONE)、モジュラコネクタ		
	サウンド関連	ライン入力(ステレオ、ミニジャック)、ライン出力(ステレオ、ミニジャック)、マイク入力(モノラル、ミニジャック)、MIDI/JOYSTICK(D-sub15ピン)		
	5型ベイ	2スロット(CD/DVDFドライブで1スロット占有済み) [空きスロット1]		
	内蔵3.5型ベイ	2スロット(HDDで1スロット占有済み [空きスロット1] ¹²)		
拡張スロット	PCIスロット	2スロット(フル×2、[空きスロット2] ¹²)		
	AGPスロット	1スロット(アクセラレータボードで占有済み) [空きスロット0]		
	通信機能	FAXモデムボード標準実装(専用スロットに標準装備)、Resume On Ring機能対応		
データ通信	最大5.6Kbps ¹³ (K5.6flex™、V.90対応)			
	FAX通信	最大14.4Kbps(V.17)		
電源	AC100V±10%、50/60Hz			
消費電力(本体標準構成時)	約64W(最大177W)	約72W(最大185W)	約73W(最大186W)	
エネルギー消費効率	R区分 0.0012	R区分 0.0014		
温湿度条件	10～35℃、20～80%RH(ただし結露しないこと)			
外形寸法	本体	181(W)×389(D)×363(H)mm(ゴム足含む)		
	キーボード	454(W)×186(D)×41(H)mm		
質量	本体	約11.0Kg		
	キーボード	約1.2Kg		
インストールOS	Windows® Millennium Edition ¹⁴ ¹⁵			
サポートOS	Windows® Millennium Edition、Windows® 2000 Professional			
主なインストールソフト	Office 2000 Personal			
主な添付品	キーボード、マウス、ステレオスピーカ、バックアップCD-ROM、アプリケーションCD-ROM、ガイドブック、Microsoft® Windows® Millennium関連マニュアル、電源ケーブル、アース線、回線接続ケーブル、保証書			

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによっては、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

- 1 : 増設RAMサブボード(128MB、DIMM)を2枚実装する必要があります。メインRAMが64MBの場合は、標準実装のメモリを取り外す必要があります。
- 2 : セットの15型CRTでは表示不可です。
- 3 : 接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、本インターフェイスに対応している必要があります。
- 4 : USBコネクタから消費する電流が100mA以下の機器に限ります。
- 5 : 3モード(720KB、1.2MB、1.44MB)に対応しています。ただし1.2MBのフォーマットは不可です。
- 6 : 1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。
- 7 : Windowsのシステムからは、容量が約27.9GBと認識されます。
- 8 : Windowsのシステムからは、容量が約37.2GBと認識されます。
- 9 : 本機で書き込んだDVD-RAMメディアは一般のDVD-ROM機器で読込むことはできません。
- 10 : 本体の1ポートはキーボードで占有、キーボードの1ポートはマウスで占有します。
- 11 : デジタルディスプレイコネクタとアナログディスプレイコネクタの同時出力はできません。
- 12 : 3.5型ベイ増設時はハーフサイズ(176mm)以下のPCIボードのみ実装可能です。
- 13 : 56Kbpsはデータ受信時の速度です。データ送信時は33.6Kbpsになります。
- 14 : 別売のWindows® Millennium Edition パッケージをインストールおよび利用することはできません。
- 15 : 添付のソフトウェアは、インストールされているOSでのみご利用できます。
- 16 : 映像ソフトの再生は、ソフトウェアによるMPEG2再生方式です。

セットスピーカの機能仕様

最大定格出力	1W + 1W
外形寸法	約78(W)×120(D)×180(H)mm(片側)
重量	スピーカ(右)約370g、スピーカ(左)約340g、 ACアダプタ約180g(ケーブル含む)

FAXモデムボード機能仕様(ATコマンドについては『NECマニュアル』をご覧ください)

機能概要

CPU I/F	PCIローカルバスインタフェース
NCU部	・ダイヤルパルス送出機能 ・リング検出機能
モデムチップセット部	・115.2Kbpsまでのデータ・モデム・スループット V.90 K56flex V.34 V.32bis V.32、V.22bis、V.22、V.21 V.42LAPMおよびMNP4エラー訂正 V.42bisおよびMNP5データ圧縮 ・最高14.4Kbpsのファックス・モデム送受信速度 V.17、V.29、V.27ter、V.21チャンネル2 ・HayesATコマンドセット AT、Sレジスタ ・回線品質モニタリングおよびオートリトレイン ・受信ライン信号品質に基づく自動ライン・スピード選択 ・フロー制御およびスピード・バッファリング ・パラレル非同期データ ・自動ダイヤルおよび自動アンサー ・トーンおよびパルスダイヤリング(DTMFトーン、ダイヤルパルス制御)

FAX機能

交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
適用回線	加入電話回線
同期方式	半二重調歩同期方式
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps 注
通信方式	ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2
変調方式	QAM : 14400/12000/9600/7200bps DPSK : 4800/2400bps FSK : 300bps
送信レベル	-10 ~ -15dBm (出荷時-15dBm)
受信レベル	-10 ~ -40dBm
制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド(CLASS1)

注 回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

データモデム機能

適用回線	加入電話回線
同期方式	全二重調歩同期方式
通信速度	送受信： 33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/ 14400/12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps 注 受信のみ： 56000/54667/54000/53333/52000/50667/50000/49333/ 48000/46667/46000/45333/44000/42667/42000/41333/ 40000/38667/38000/37333/36000/34667/34000/33333/ 32000/30667/29333/28000bps 注
通信規格	K56flex ITU-T V.90/V.34/V.32/V.32bis/V.22/V.22bis/V.21
変調方式	TCM： 56000/54667/54000/53333/52000/50667/50000/49333/48000/ 46667/46000/45333/44000/42667/42000/41333/40000/38667/ 38000/37333/36000/34667/34000/33600/33333/32000/31200/ 30667/29333/28800/28000/26400/24000/21600/19200/16800/ 14400/12000/9600/7200bps QAM： 9600/7200bps DPSK： 4800/2400/1200bps FSK： 1200/300bps
エラー訂正	ITU-T V.42 (LAPM) MNP class4
データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
送信レベル	-10 ~ -15dBm (出荷時-15dBm)
受信レベル	-10 ~ -40dBm
制御コマンド	HayesATコマンド準拠

注 回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

NCU機能

適用回線	加入電話回線
ダイヤル方式	パルスダイヤル (10/20PPS) トーンダイヤル (DTMF)
NCU形式	AA (自動発信 / 自動着信型) MA (手動発信 / 自動着信型) MM (手動発信 / 手動着信型) AM (自動発信 / 手動着信型)
制御コマンド	HayesATコマンド準拠 EIA-578拡張ATコマンド (CLASS1)

割り込みレベルとDMAチャンネル

割り込みレベル一覧

購入時の割り込みレベルは、次の通りです。

割り込み優先順位	割り込みデバイス
IRQ00	システムタイマ
IRQ01	キーボード
IRQ02	割り込みコントローラ
IRQ03	(空)
IRQ04	シリアルポート(COM1)
IRQ05	(空)
IRQ06	フロッピーディスクコントローラ
IRQ07	パラレルポート(LPT1)
IRQ08	リアルタイムクロック
IRQ09	ACPI
IRQ10	USBインタフェース/ モデム
IRQ11	サウンド/ グラフィック
IRQ12	マウス
IRQ13	数値演算プロセッサ
IRQ14	IDEコントローラ(プライマリ)
IRQ15	IDEコントローラ(セカンダリ)

DMAチャンネルの割り当て

購入時のDMAチャンネルの割り当ては、次の通りです。

DMA	データ幅	システムリソース
0	8または16ビット	(空)
1	8または16ビット	(空)
2	8または16ビット	標準フロッピーディスクコントローラ
3	8または16ビット	(空)
4		DMAコントローラ
5	16ビット	(空)
6	16ビット	(空)
7	16ビット	(空)

本機のお手入れ

本機のお手入れは、それぞれ次の要領で行ってください。

⚠ 注意



感電注意

お手入れの前には、本機の電源をOFFにして電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。

感電の原因になります。



発火注意

電源ケーブルのプラグにほこりがたまったままの状態、本機を使用しないでください。

電源ケーブルのプラグにほこりがたまったまま長い間清掃しないと、プラグのピンの間で放電（トラッキング現象）が起こり、火災の原因となります。

フロッピーディスクドライブ、DVD-RAMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブなど

クリーニングディスク 別売 を使ってクリーニングします。ひと月に1回を目安にクリーニングしてください。

パソコン本体、スピーカ

布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

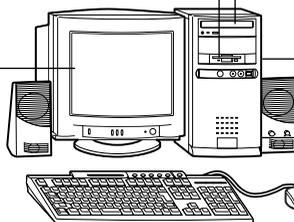
パソコンの内部

長時間使うとほこりがたまるので、定期的に清掃してください。パソコン内部の清掃については、ご購入元、NECフィールドिंगの各支店・営業所に相談してください。

NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』

ディスプレイ

布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。また、ディスプレイの画面は傷などが付かないように軽くふいてください。



電源ケーブル

電源ケーブルのプラグを長時間ACコンセントに接続したままにすると、プラグにほこりがたまる場合があります。定期的に清掃してください。

キーボード

布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。キーのすきまからゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、ご購入元、NECフィールドिंगの各支店・営業所に相談してください。NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』

マウス

布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

マウスの内部

マウスポインタの動きが悪いときは、ボールとローラーをクリーニングしてください。

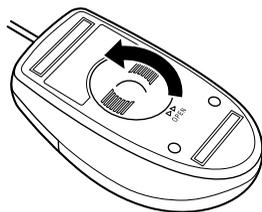
「マウスのクリーニング」(次ページ)

- ☑ **チェック!!**
- ・ 水や中性洗剤は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。
 - ・ シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんは、使用しないでください。本体の外装をいためたり、故障の原因となったりします。

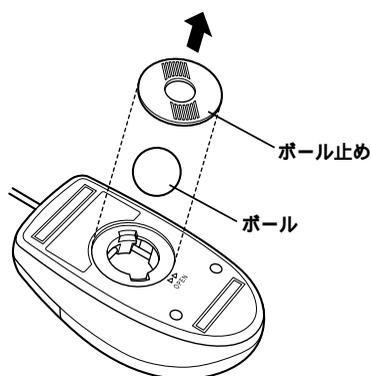
マウスのクリーニング

マウス内部のローラーやボールが汚れると、マウスポインタの動きが悪くなります。とくに汚れがたまりやすいので、定期的にクリーニングしてください。ローラーだけクリーニングするときは、4～6の手順は省略してもかまいません。

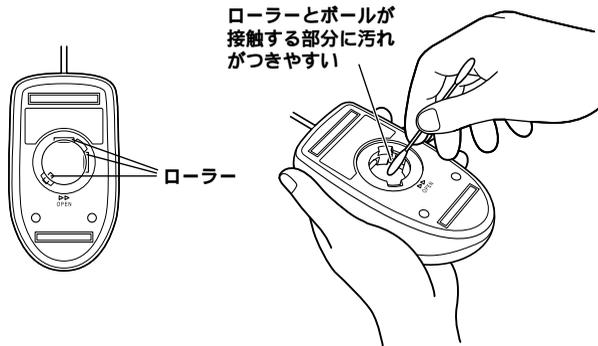
- 1 本機の電源を切り、マウスのケーブルをキーボードから外す
- 2 マウスの裏側のボール止めを、下図の矢印の方向に回転させる



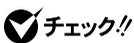
- 3 ボール止めを取り外し、ボールを取り出す



- 4 ボールを中性洗剤で洗い、汚れを落とす
- 5 水で中性洗剤を洗い落とす
- 6 布で水分をふき取り、風通しの良いところで十分に乾燥させる
- 7 マウス内部のローラーの汚れを、水分を含ませた綿棒でこすり落とす
汚れが落ちないときは、柔らかい歯ブラシなどで汚れを取ります
(このとき、歯ブラシに水やはみがき粉などを付けしないでください)



- 8 ボールをマウスに戻す
- 9 ボール止めを取り付け、手順2と逆の方向に回して固定
- 10 マウスのケーブルをキーボードに取り付ける

**チェック!**

- ・ クリーニング中に、マウス内部にゴミが入らないように注意してください。
- ・ クリーニングの際にマウスから取り出した部品は、なくさないようにしてください。
- ・ 水や中性洗剤は、絶対にマウスに直接かけないでください。故障の原因となります。
- ・ シンナーやベンジンなどの有機溶剤は、使用しないでください。マウスの外装をいためたり、故障の原因となったりします。
- ・ ローラーの汚れを取る場合には、絶対に金属ブラシやカッター、ヤスリなどのような硬いものは使用しないでください。ローラーに傷が付き、故障の原因となります。



データ保護再セットアップを行う際の注意

次の場合は、データ保護再セットアップはできません。

- ・ バックアップのためのファイルに、問題がある。
- ・ Cドライブの保護データの総容量が大きい。

データ保護再セットアップ中に次のようなメッセージが表示されることがあります。

「Cドライブに十分な空き容量が無いため、データ保護再セットアップが完了していません。」

そのような場合は、次のように操作して再セットアップを行ってください。

1 Windowsを起動する
「Microsoft Windowsへようこそ」が表示されます。

2 Windowsを設定する

参照 「PART5 再セットアップするには」3.Windowsの設定をする (P.127)

3 バックアップ-NXを使ってデータをDドライブにバックアップする

参照 「バックアップ-NX (P.107)

4 「Cドライブのみ再セットアップ」を行う

参照 「Cドライブのみ再セットアップする カスタム再セットアップ (P.140)

5 先ほどDドライブにとったデータをバックアップ-NXで復元する

「保護するデータを設定したファイルが無いが、無効なため、データ保護再セットアップモードができません。」

この場合、Windowsが起動できる時は、バックアップ-NXでCドライブ以外にデータをバックアップし、カスタムモードからCドライブのみ再セットアップを行ってください。

Windowsが起動できない場合は、データを保護することはできません。標準再セットアップモード、またはカスタムモードで再セットアップを行ってください。

「Cドライブに十分な空き容量が無いため、データ保護再セットアップができません。」

データを保護することはできません。

標準再セットアップモード、またはカスタムモードで再セットアップを行ってください。

索引

英数字

2000年問題	200	NEC Soft MPEG1.0	103
3.5インチフロッピーディスクドライブ	2	Num Lock	24
5インチベイ	88	Num Lockランプ	23
ACPIモード	21	Nキーロールオーバー	29
AC電源コネクタ	6	PCIスロット	8, 80
APMモード	21	PCIボード	80, 194
BIOSセットアップメニュー	180	PCIボードの取り付け	81
Caps Lock	24	PCポータル	104
Caps Lockランプ	22	PK-KB009	30
CD-R/RW with DVD-ROMドライブ	49	PK-MC201	30
CRT	174	PK-MC202	30
DirectCD	114	PK-UP001	30
DMAチャンネル	66, 210	PK-UP004	30
DVD-RAMドライブ	41	PS/2互換マウスポート	66
DVDプレーヤ	110	PS/2接続キーボードコネクタ	6
Easy CD Creator	112	PS/2接続マウスコネクタ	6
FAT16ファイルシステム	146	Readme	65
FAT32ファイルシステム	146	RGBケーブル	173
FAX通信機能	54	Scroll Lock	24
FAXモデムボード	7, 54	Scroll Lockランプ	22
Invalid system disk Replace the disk...	178	USBコネクタ	5, 6
MIDI/ジョイスティックコネクタ	8	USBハブ	30
MS-IME2000	28	VirusScan	101
		Windows	176
		Windows 2000	201

Windows NT	201
Windowsキー	27

ア行

アース端子	6
赤い「×」	65
アナログRGBコネクタ	7
アフターケア	202
アプリケーション	100, 196
アプリケーションキー	27
異常	187
インストーラ-NX	108
エラーメッセージ	179
音量ボリューム	53

カ行

海外	200
解像度	32
拡張MS-DOS領域	145, 146
カスタムモード	122, 137, 140, 143
加入電話回線	55
カバーをロック	8
画面	188
画面の表示位置	188
キーボード	22, 190
黄色い「！」	65
起動ディスク	168
基本MS-DOS領域	145, 146
休止状態	9, 10, 15
強制的に電源を切る方法	182

コンピュータウイルス ...	101, 168, 199
----------------	---------------

サ行

再セットアップ	118
再入手方法	203
サウンド機能	52
雑音	201
システムインストールディスク ...	121
修復	203
周辺機器	62, 68, 191
重要な情報	65
出力コネクタ	53
消磁	174
省電力機能	175, 183
譲渡	203
消耗品と消耗部品	202
初期化(フォーマット)	158
シリアルコネクタ	6
スーパーバイザパスワード	180
垂直走査周波数	32, 33
水平走査周波数	32
スキップセクタ	36
スタンバイ状態	9, 11, 16
砂時計	189, 190
スピーカケーブル	53
セーフモード	176
セキュリティロック	8
接続可否	62
接続前の確認	62
増設RAMサブボード	75

増設RAMサブボードの取り付け	78
増設RAMサブボードの取り外し	77
外付けスピーカ	52

夕行

通風孔	8
データ通信機能	54
データ保護再セットアップモード	133
ディスクアクセスランプ	2
ディスクイジェクトボタン	5
ディスクトレイイジェクトボタン	5
ディスプレイ	32
デガウス	174
デジタルRGBコネクタ	7
デバイスドライバ	63
デバイスマネージャ	62
電源	9, 172, 173
電源ケーブル	83
電源コネクタ	53
電源スイッチ	3, 52
電源の状態	9, 10
電源ランプ	3, 53
電子マニュアル	60
添付品	203
電話回線	55
電話回線用モジュラーコネクタ	8
電話機用モジュラーコネクタ	7
ドライブ番号	34
トラブル	65
トラブルチェックシート	170

ナ行

内蔵3.5インチベイ	85
名前	172
日本語入力	28
日本語入力システム	190

ハ行

パーティション	34
ハードディスクアクセスランプ	5
ハードディスクドライブ	34
ハイワードデバイス	30
廃棄	201
パスワード	97, 180
バックアップ	36, 107, 167
バックアップ-NX	107
バックアップCD-ROM	121
パラレルコネクタ	8
表示位置	188
表示色	32
標準再セットアップモード	123
ファイルベイ	5
ファイルベイカバー	2
ファイルベイカバーの取り外し	74
ファイルベイ用内蔵機器	83
フォーマット	39, 44
プラグ&プレイ	62
フリーズ	172, 190
ふりがな	172
不良セクタ	36

プレーヤ-NX	109
プログラムの強制終了	181
フロッピーディスクドライブ	38
フロントマスク	5
フロントマスクの取り外し	73
ヘッドホン端子	4
ヘッドホンボリューム	4
ヘルプとサポート	59
補修性能部品	202
保守サービス	202

マ行

マイクロホン端子	7
マウス	189
マウスポインタ	189
マニュアル	200
マニュアルセンター	200
メモリ	75
メンテナンスウィザード	168
文字	190

ヤ行

ユーザパスワード	180
----------------	-----

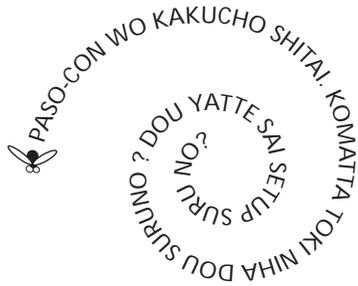
ラ行

ライトプロテクト	39
ライトプロテクトノッチ	39
ライン出力端子	7
ライン入力端子	7
リソース	62

リソースの競合	65
リフレッシュレート	33
レフトカバーの取り付け	71
レフトカバーの取り外し	70
ローパスワードデバイス	30
論理MS-DOSドライブ	146

ワ行

割り込みレベル	66, 210
---------------	---------



このマニュアルは再生紙(古紙率:表紙50%、
本文100%)を使用しています。

VALUESTAR

活用ガイド

初版 2000年9月

NEC

P

808-895732-001-A